



# Engineered Sound Wireless Systems

ESワイヤレスシステム




---

取扱説明書


Japanese

# 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 <b>危険</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
 <b>警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 <b>注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## レシーバー／トランスミッターについて

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の場所では使用しない</b> ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。</li><li>● <b>本製品を医療機器の近くで使用しない</b> 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。</li><li>● <b>本製品を航空機内で使用しない</b> 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</li><li>● <b>自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない</b> 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</li><li>● <b>指定の電池以外使用しない</b> 故障、不具合の原因になります。</li><li>● <b>異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない</b> 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない</b> 火災の原因になります。</li><li>● <b>分解や改造はしない</b> 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>強い衝撃を与えない</b> 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>濡れた手で触れない</b> 感電によるけがの恐れがあります。</li><li>● <b>水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない</b> 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない</b> 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>じゅうたんや布などで覆わない</b> 過熱による火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない</b> 事故や火災の原因になります。</li><li>● <b>電源電圧設定を変えない</b> 火災の原因になります。</li></ul>
---	---

## 安全上の注意

<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>不安定な場所に置かない</b> 本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。</li><li>● <b>換気の良い場所に置く</b> 本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。</li><li>● <b>直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない</b> 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。</li><li>● <b>本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない</b> 万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。</li><li>● <b>ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない</b> 変形、故障の原因になります。</li></ul>
-------------	--

## 充電式電池について

付属の充電式電池は、当社トランスミッター専用です。

<b>⚠ 危険</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>電池の液が目に入ったときは目をこすらない</b> すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。</li><li>● <b>電池の液が漏れたときは素手で液を触らない</b> 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。</li></ul>
-------------	--

<b>⚠ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない</b> 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li><li>● <b>釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない</b> 発熱、破損、発火の原因になります。</li><li>● <b>幼児の手の届く所に置かない</b> 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。</li></ul>
-------------	--

<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>落下させたり強い衝撃を与えない</b> 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li><li>● <b>以下の場所で使用、放置、保管しない</b> 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 炎天下の車内 ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。</li><li>● <b>水に濡らさない</b> 発熱、破裂、発火の原因になります。</li><li>● <b>本製品の充電器以外で充電しない</b> 故障や火災の原因になります。</li><li>● <b>変形させたりハンダ付けしない</b> 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li></ul>
-------------	---

- **機器を使用したあとは必ずスイッチを切る**  
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

### 充電式電池のリサイクルについて

充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子（金属部分）にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ<http://www.baj.or.jp>をご覧ください。

## 充電器について

### ⚠ 警告

- **付属のACアダプターと付属のACコード以外使用しない**  
電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障・不具合の原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**  
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない**  
火災の原因になります。
- **分解や改造はしない**  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**  
感電によるけがの恐れがあります。
- **水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない**  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **じゅうたんや布などで覆わない**  
過熱による火災など事故の原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**  
事故や火災の原因になります。
- **電源電圧設定を変えない**  
火災の原因になります。

### ⚠ 注意

- **不安定な場所に置かない**  
本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- **換気の良い場所に置く**  
本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。
- **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。

- 本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない  
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない  
変形、故障の原因になります。

## ACアダプター／ACコードについて

### ⚠ 警告

- 表示している電源電圧以外で使用しない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない  
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする  
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない  
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る  
過熱による火災など事故の原因になります。
- すぐにコンセントからACアダプターを抜くことができるようにする  
万一の事故防止のため、本製品をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントからACアダプターを抜くことができるようにしてください。

### ⚠ 注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く  
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。また、省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない  
故障や事故の原因になります。
- 通電中のACアダプターに長時間触れない  
低温やけどの原因になることがあります。

# 使用上の注意

## 本システム

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 周囲の電波環境などにより、干渉ノイズが発生することがありますので注意してください。
- 本システムは自動車のスパークノイズ、照明用調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置して使用してください。
- 本システムは必ず当社指定の機器との組み合わせで使用してください。
- 本システムを設置する際、レーザーとトランスミッターの間に電波をさえぎるような障害物がないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品を分解して改造を行うことは、法規上禁止されています。また、本製品は精密にできており、分解すると感電や故障、火災の原因にもなります。絶対に行わないでください。
- 複数台同時に使用する場合は、トランスミッター同士は1m以上、レーザー同士は2m以上、トランスミッターとレーザーは2m以上離してください。記載している距離は目安です。設置環境、RF POWER、実際の運用状況によって変動します。複数台設置して使用する場合は、事前にプロフェッショナルSS課までお問い合わせください。
- 使用時にハウリング（ピー、あるいはキーンと言う音）が発生した場合、接続しているミキサー／アンプなどの出力ボリュームを絞ってください。

## レーザー

- 接続するケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。

## トランスミッター

- トランスミッターの近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があるとトランスミッターにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 充電式電池の消耗を防ぐため、使用しないときや充電器に設置しないときはトランスミッターの電源をOFFにしてください。

## 充電器

- 接続するケーブルのプラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 充電器を使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

# お手入れ

汚れたときやほこりが付いたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



- お手入れの際は、必ず電源をOFFにしてください。
- トランスミッター・充電器の充電端子は汚れが付着しやすい部分です。汚れが付着したまま使用すると充電できない場合があります。充電端子が汚れた場合は、力を加えすぎないように注意して綿棒などで汚れを拭いてください。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しないでください。変形、破損、故障の原因になります。

# 本システムについて

本システム（Engineered Sound Wireless System）は、DECT規格に則った高音質ワイヤレスシステムです。今までのワイヤレスシステムにおける制約であった、周波数のコーディネーションを無くし、免許申請なく多数のマイクロホン（トランスミッター）を使用することが可能です。

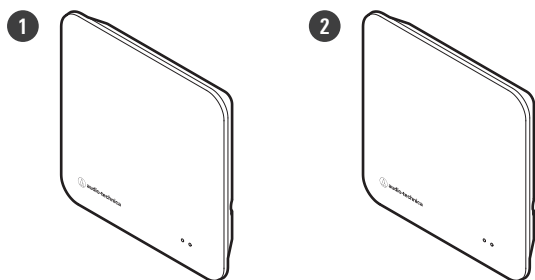
マイクロホン（トランスミッター）を充電器から取り出したらすぐに使用でき、会議室の規模に左右されることなく、簡単に運用することができます。配線も簡素化されているため、複数のアンテナ設置で苦勞するようなことはありません。

当社専用アプリケーション「ワイヤレスマネージャー」を使用することで簡単に設定ができます。

# 本システムの対応機器

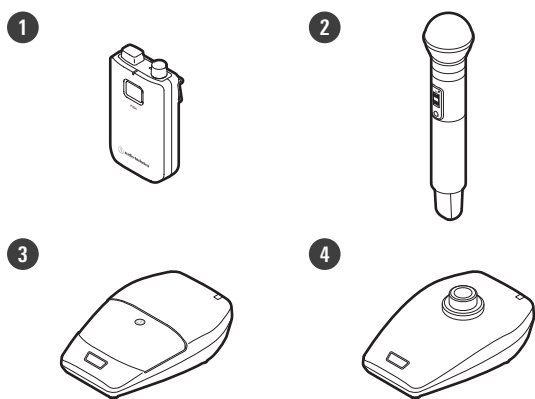
本システムは次の機器で構成されています。

## レシーバー



- ① ESW-R4180LK  
8chレシーバー (Audio-Technica LINK対応)
- ② ESW-R4180DAN  
8chレシーバー (Dante対応)

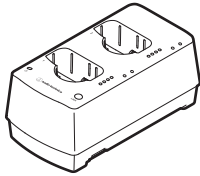
## トランスミッター



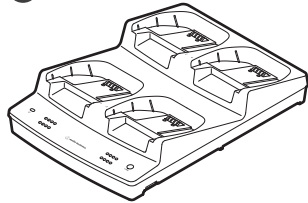
- ① ESW-T4101  
ボディパケットランスミッター
- ② ESW-T4102/C510  
ハンドヘルドトランスミッター
- ③ ESW-T4106  
バウンダリーマイクロホントランスミッター
- ④ ESW-T4107  
デスクスタンドトランスミッター

## 充電器

①



②



① ESW-CHG4

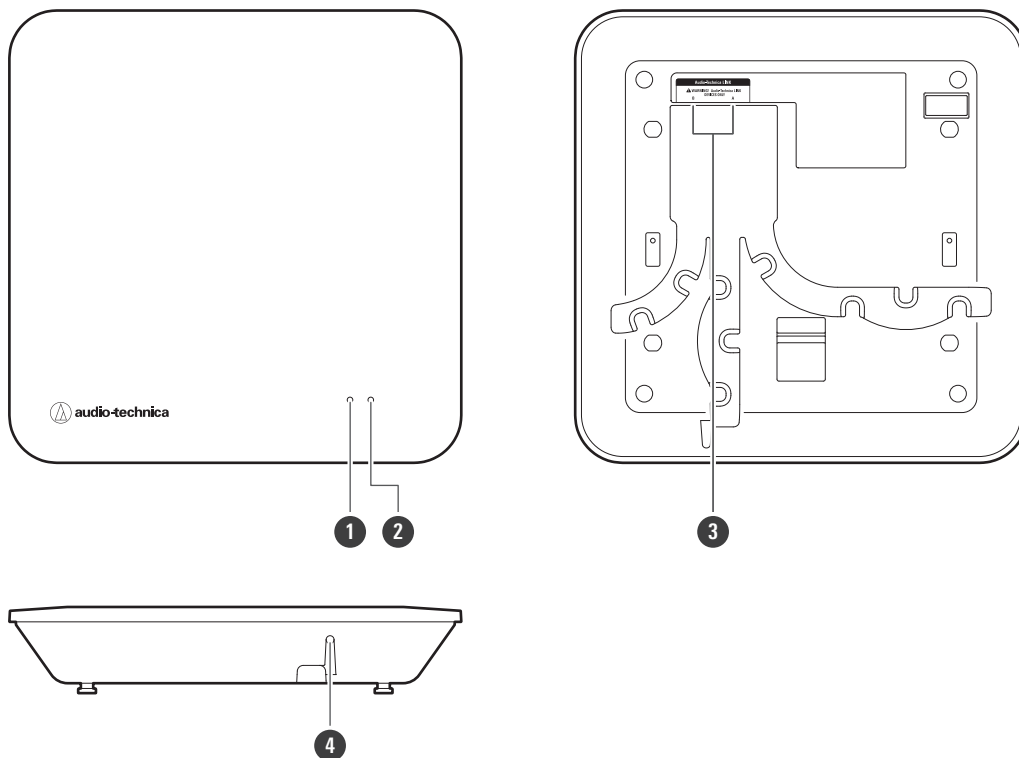
2ch充電器 (ESW-T4101/ESW-T4102/C510用)

② ESW-CHG5

4ch充電器 (ESW-T4106/ESW-T4107用)

# 各部の名称と機能

## ESW-R4180LK



### ① ステータスインジケータ

電源がONになると点灯します。また、本レシーバーの状態を表示します。詳しくは、「インジケータ表示について」(p.136)を確認してください。

### ② リンクインジケータ

トランスミッターとのリンク状態を表示します。詳しくは、「インジケータ表示について」(p.136)を確認してください。

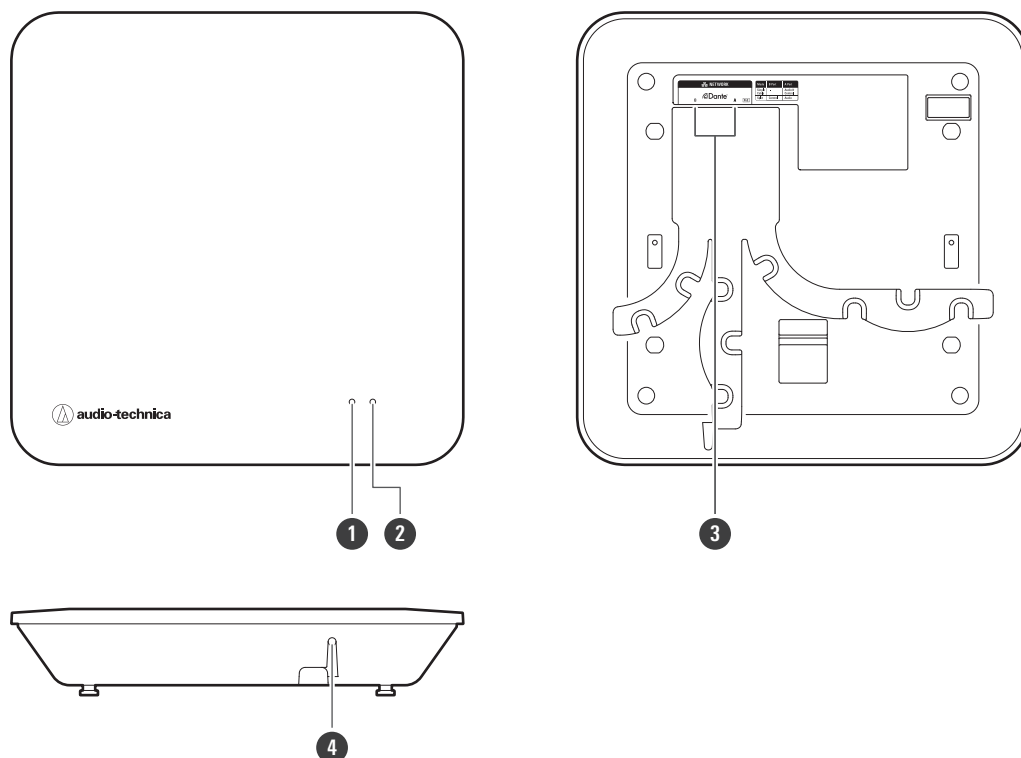
### ③ Audio-Technica LINK A/B端子

Audio-Technica LINKで使用します。LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを必ず使用）を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部制御を行います。

### ④ リセットボタン

ファクトリーリセットする際に使用します。

## ESW-R4180DAN



**1 ステータスインジケータ**

電源がONになると点灯します。また、本レシーバーの状態を表示します。詳しくは、「インジケータ表示について」(p.136)を確認してください。

**2 リンクインジケータ**

トランスミッターとのリンク状態を表示します。詳しくは、「インジケータ表示について」(p.136)を確認してください。

**3 ネットワークA/B端子**

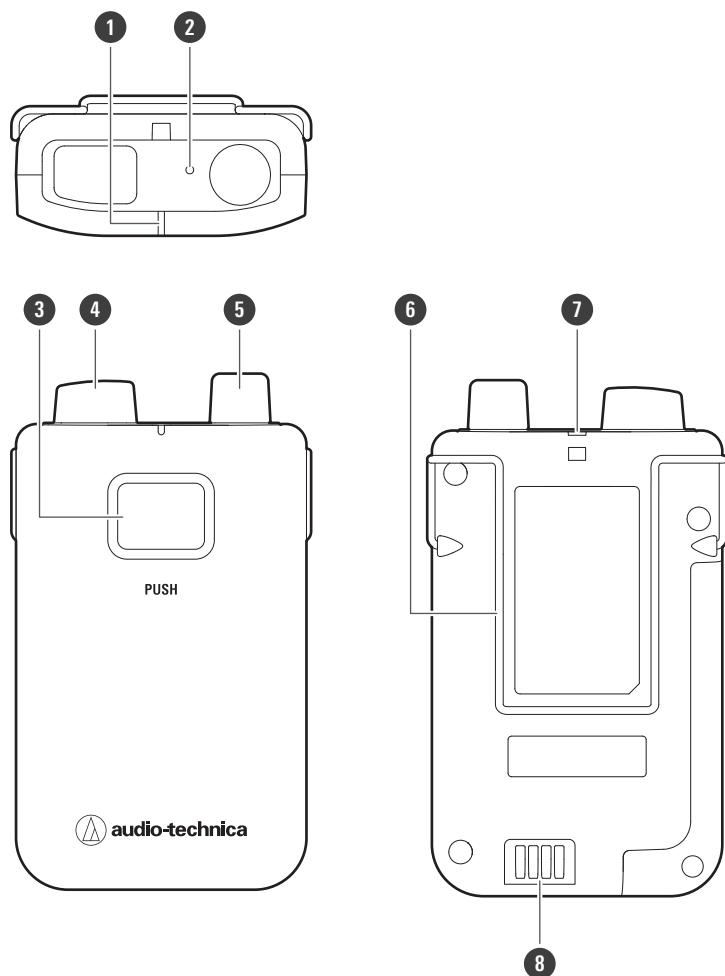
Dante規格のネットワーク端子です。LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用）を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部制御を行います。ネットワークA端子をPoE対応スイッチングハブに接続すると電源がONになります。

モード	A端子 (PoE入力) / B端子
Single Cableモード	ネットワークA端子：IP/Dante ネットワークB端子：使用しません。
Splitモード	ネットワークA端子：Dante ネットワークB端子：IP

**4 リセットボタン**

ネットワークモード確認、ネットワークリセット、ファクトリーリセットする際に使用します。

# ESW-T4101



**1** ステータスインジケータ

電源がONになると点灯します。また、本トランスミッターの状態を表示します。

**2** 内蔵マイクロホン

**3** プッシュボタン

電源をON/OFF、ミュート/ミュート解除を切り替えます。

**4** 送信用アンテナ

**5** 入力コネクタ

外部マイクロホンを接続します。

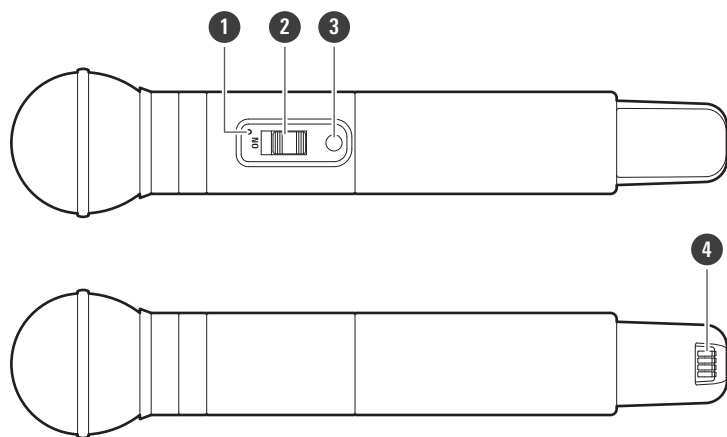
**6** クリップ

ベルトなどに取り付けて装着します。

**7** ストラップホール

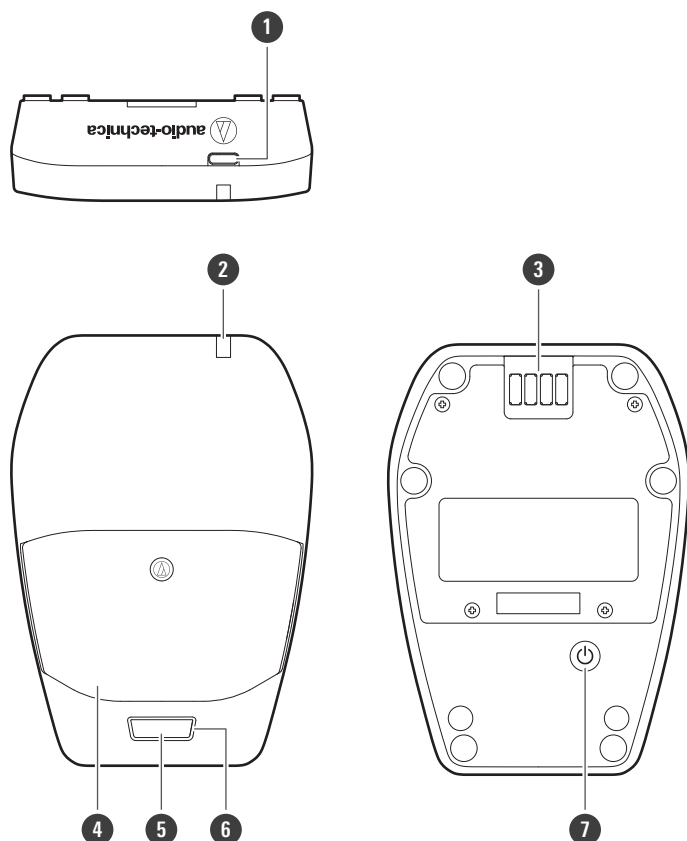
**8** 充電端子

## ESW-T4102/C510



- ① ステータスインジケータ  
電源がONになると点灯します。また、本トランスミッターの状態を表示します。
- ② ミュートスイッチ  
ミュート／ミュート解除を切り替えます。
- ③ 電源ボタン  
電源をON／OFFします。
- ④ 充電端子

## ESW-T4106



**1** USB端子 (USB Type-C™)

USBケーブルで充電する際に使用します。

**2** ステータスインジケータ

電源がONになると点灯します。また、本トランスミッターの状態を表示します。

**3** 充電端子

**4** マイクホン

**5** トークスイッチ

ミュート/ミュート解除を切り替えます。

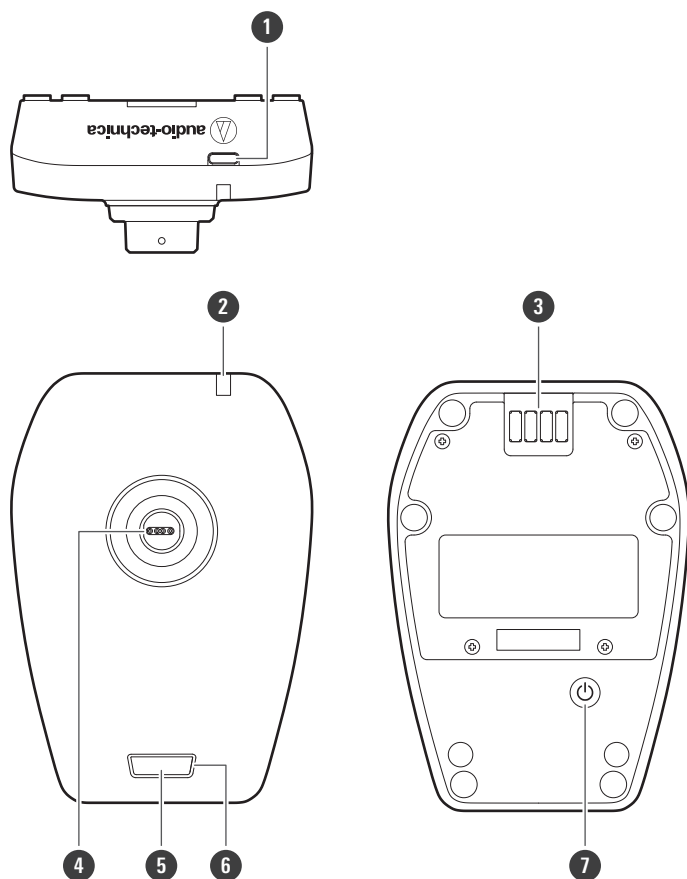
**6** トークインジケータ

ミュート/ミュート解除の状態を表示します。

**7** 電源ボタン

電源をON/OFFします。

## ESW-T4107



**1** USB端子 (USB Type-C)

USBケーブルで充電する際に使用します。

**2** ステータスインジケータ

電源がONになると点灯します。また、本トランスミッターの状態を表示します。

**3** 充電端子

**4** 入力コネクタ

グースネックマイクロホンを接続します。

**5** トークスイッチ

ミュート/ミュート解除を切り替えます。

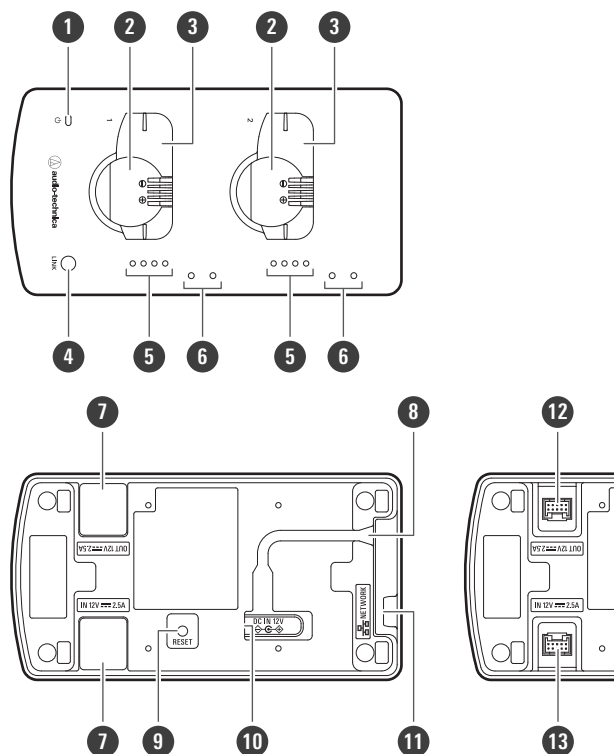
**6** トークインジケータ

ミュート/ミュート解除の状態を表示します。

**7** 電源ボタン

電源をON/OFFします。

## ESW-CHG4



### 1 電源インジケータ

電源がONになると点灯します。また、ネットワークの接続状態を表示します。

### 2 充電ポート (ESW-T4102/C510用)

### 3 充電ポート (ESW-T4101用)

### 4 リンクボタン

リンク設定を行います。

### 5 ステータスインジケータ

充電状態を表示します。

### 6 マイクホルダー取付穴

マイクホルダーを取り付ける場合に使用します。

### 7 DC端子用キャップ

充電器を複数台連結して使用する際に取り外します。

### 8 コード引出口

ACアダプターの電源コードを通します。

### 9 リセットボタン

ネットワークモード確認、ネットワークリセット、ファクトリーリセットする際に使用します。

### 10 DC入力端子

ACアダプターを接続します。

## 各部の名称と機能

### 11 ネットワーク端子

LANケーブル（CAT5e以上、シールド付きを使用）を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部制御を行います。

### 12 連結時DC出力端子

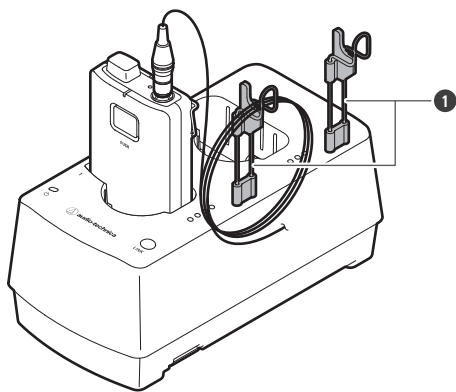
充電器を複数台連結する際に使用します。連結した充電器へ通信と電源供給を行います。

### 13 連結時DC入力端子

充電器を複数台連結する際に使用します。連結した充電器から通信と電源供給が行われます。

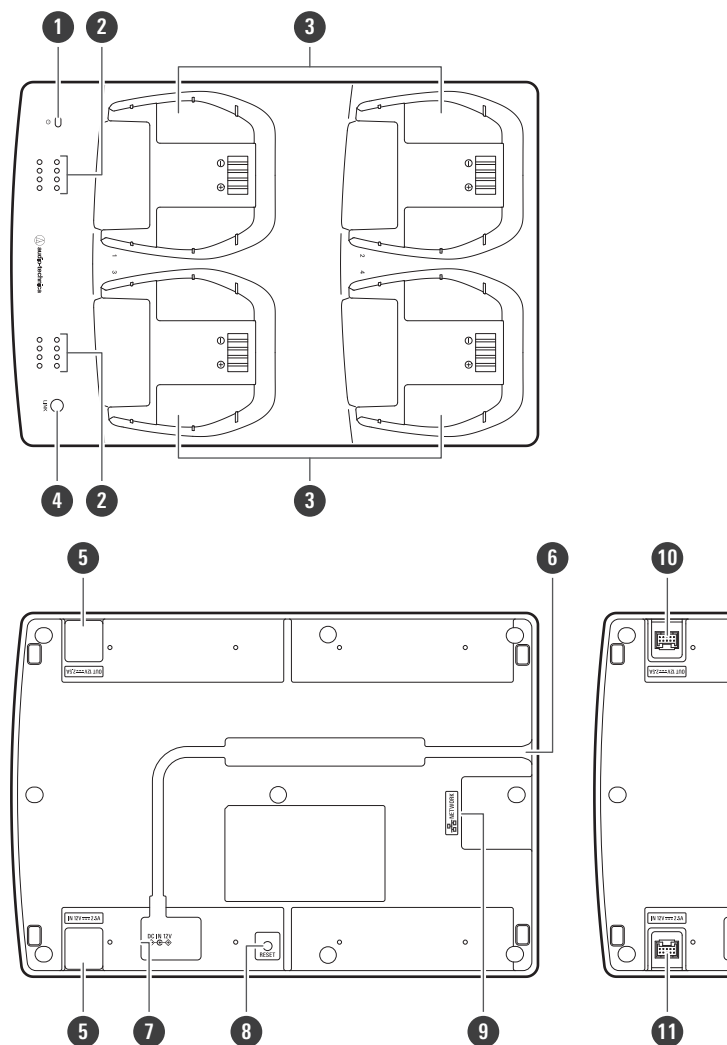
## マイクホルダーについて

付属のマイクホルダーを取り付けて、充電時にピンマイクのコードを掛けておくことができます。



1 マイクホルダー

## ESW-CHG5



- 1 電源インジケータ**  
電源がONになると点灯します。また、ネットワークの接続状態を表示します。
- 2 ステータスインジケータ**  
充電状態を表示します。
- 3 充電ポート (ESW-T4106/ESW-T4107用)**
- 4 リンクボタン**  
リンク設定を行います。
- 5 DC端子用キャップ**  
充電器を複数台連結して使用する際に取り外します。
- 6 コード引出口**  
ACアダプターの電源コードを通します。

## 各部の名称と機能

### 7 DC入力端子

ACアダプターを接続します。

### 8 リセットボタン

ネットワークモード確認、ネットワークリセット、ファクトリーリセットする際に使用します。

### 9 ネットワーク端子

LANケーブル（CAT5e以上、シールド付きを使用）を接続します。ローカルエリアネットワークに接続し、アプリケーションによる外部制御を行います。

### 10 連結時DC出力端子

充電器を複数台連結する際に使用します。連結した充電器へ通信と電源供給を行います。

### 11 連結時DC入力端子

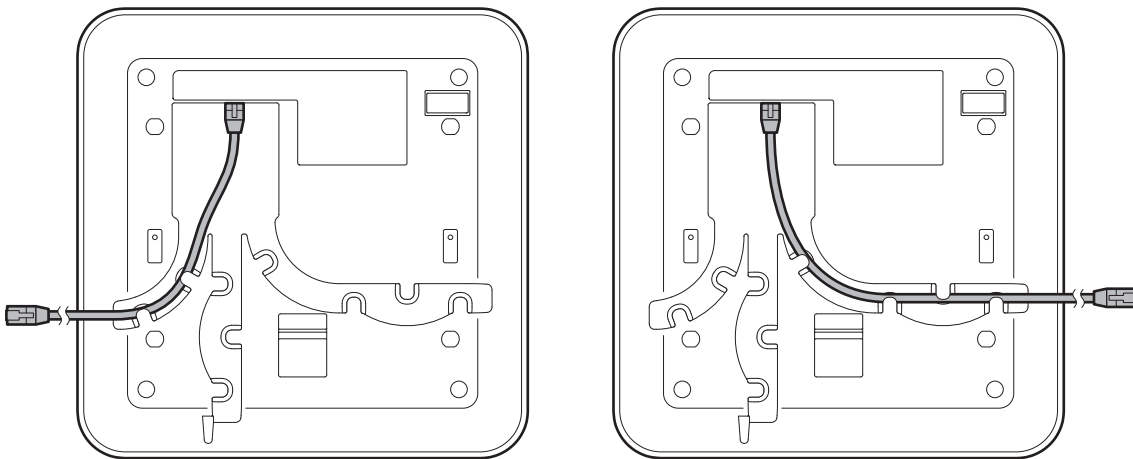
充電器を複数台連結する際に使用します。連結した充電器から通信と電源供給が行われます。

# レシーバーの設置のしかた

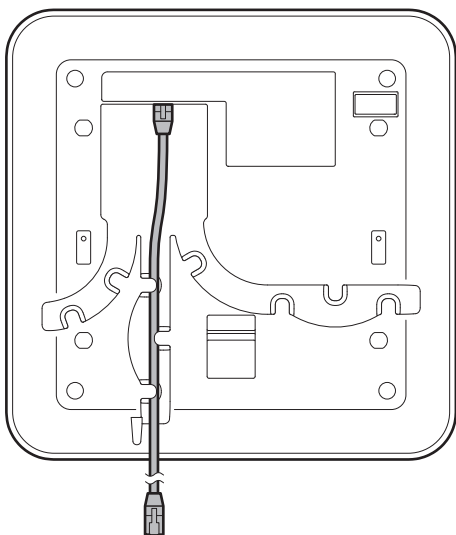
## LANケーブルの配線パターン

設置する環境に応じて、LANケーブルを適切に配線してください。

### 側面から配線する

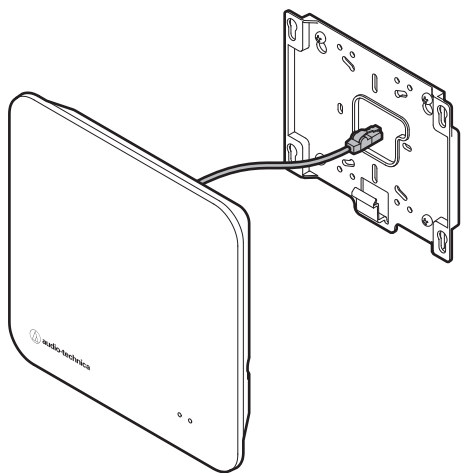


### 下部から配線する



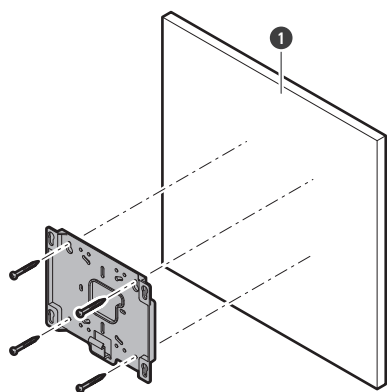
# レシーバーの設置のしかた

## 背面から配線する



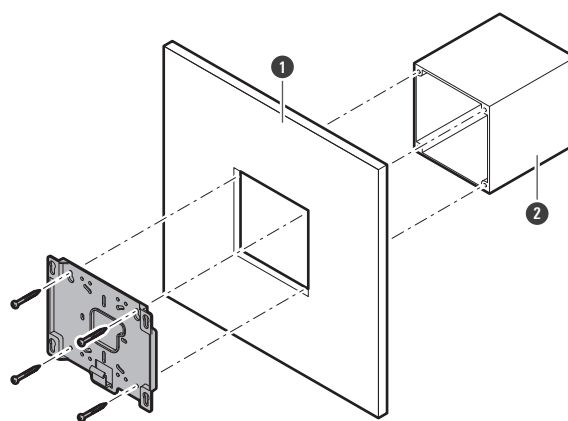
## 取り付けかた

**1** 付属品のブラケットをねじで取り付けます。



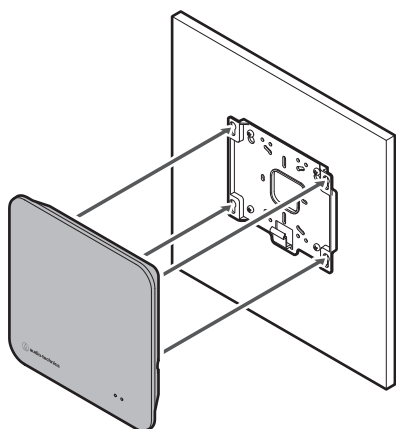
① 壁・天井

② 電工ボックス・アウトレットボックス



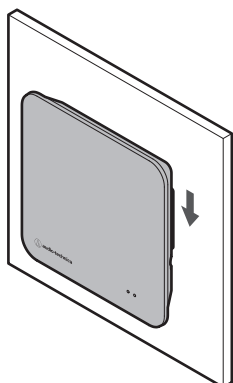
**2** レシーバーをブラケットに引っ掛けます。

## レシーバーの設置のしかた



### 3 レシーバーをスライドして取り付けます。

- レシーバーを「カチッ」と音がするまでスライドさせ、ブラケットにしっかりと掛かっているか確認してください。

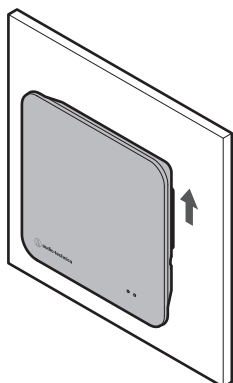


- 安定した受信のために、見通しの良い場所に設置してください。レシーバーとトランスミッターの間に障害物があると、電波が充分届かない場合があります。

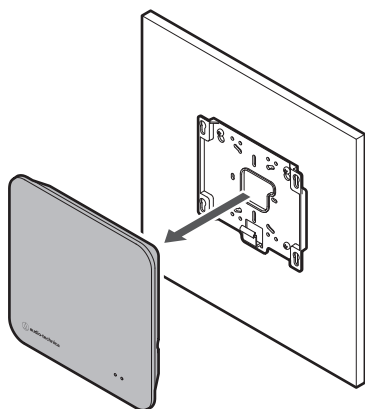
## 取り外しかた

### 1 レシーバーをスライドします。

## レシーバーの設置のしかた



**2** レシーバーをブラケットから取り外します。



- レシーバーを取り外す際に、接続しているケーブルを引っ張らないよう注意してください。

# 本システムを使用するまでの基本的な流れ

ここでは、すぐにお使いになるための基本的な操作を説明しています。詳細な操作や設定方法については、それぞれの説明ページを確認してください。

## Audio-Technica LINK対応の場合（ESW-R4180LK）

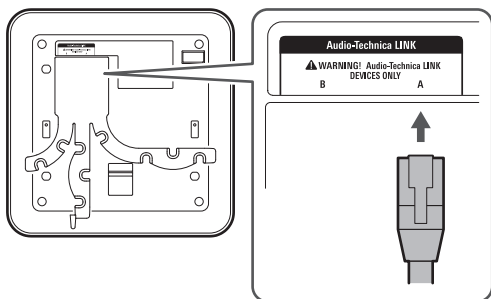
本システムは、レシーバー1台でトランスミッター8台の信号を受信し、Audio-Technica LINKで出力することができます。

### 1 ワイヤレスマネージャーをパソコンにインストールします。

- 当社ホームページ（<https://www.audio-technica.com/>）からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウンロードしてください。

### 2 レシーバーとAudio-Technica LINK対応のミキサーをLANケーブルで接続します。

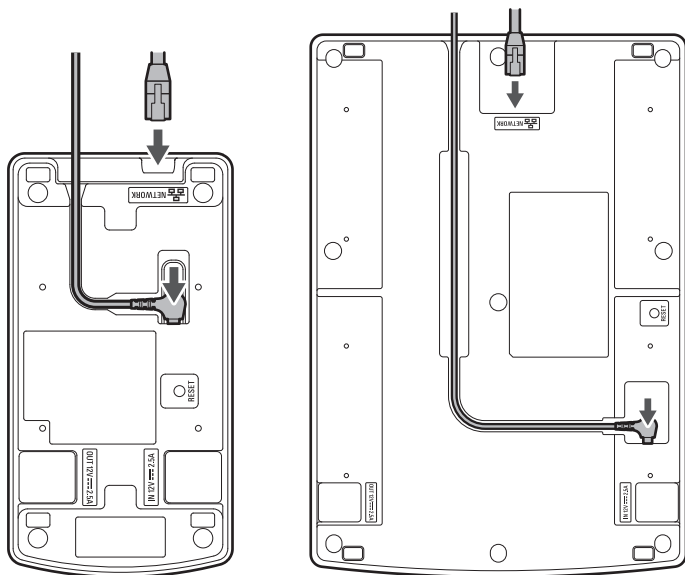
- レシーバーの取り付けかたについては、「レシーバーの設置のしかた」（p.20）を確認してください。
- LANケーブルは、CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きのものを使用してください。
- レシーバーの電源がONになり、数十秒後にステータスインジケータが点灯します。



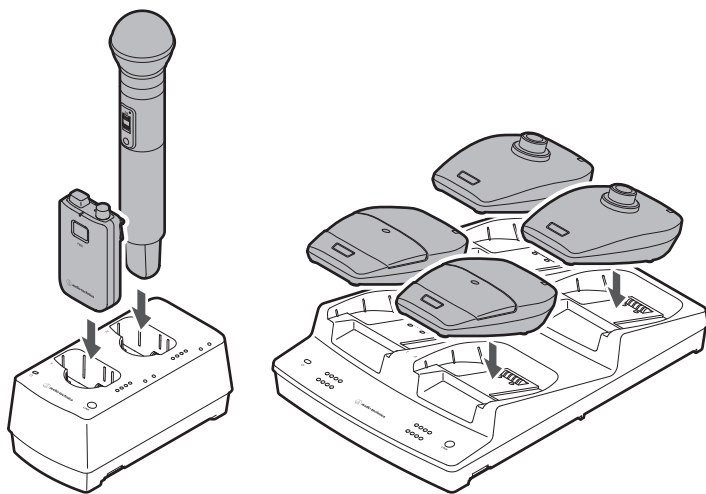
### 3 充電器にLANケーブルとACアダプターの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

- LANケーブルは、CAT5e以上、シールド付きのものを使用し、レシーバーと同じネットワークに接続してください。
- 充電器の電源がONになり、電源インジケータが点灯します。

## 本システムを使用するまでの基本的な流れ



### 4 使用するトランスミッターを充電器に差し込みます。



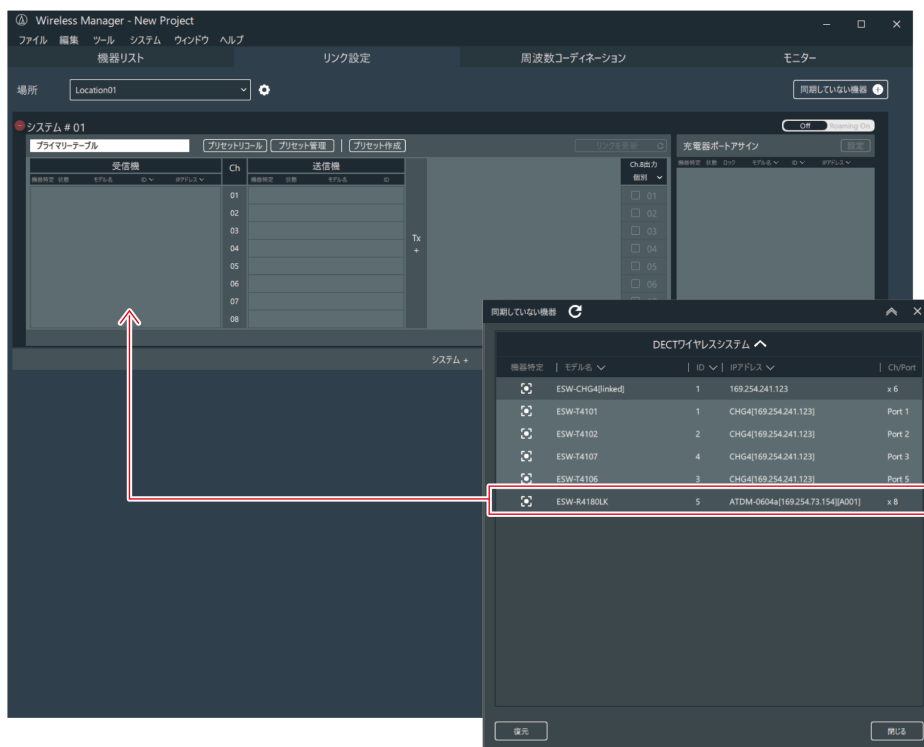
### 5 パソコンをミキサー、充電器と同じネットワークに接続します。

- 工場出荷時、充電器のIPアドレスは「Auto」に設定されています。ミキサーのIPアドレスが「Auto」に設定されていることを確認し、パソコンのIPアドレス設定を自動取得にしてください。

### 6 ワイヤレスマネージャーを起動し、各機器にリンク設定します。

- 詳しくは、「機器をリンク設定する」(p.80)を確認してください。

## 本システムを使用するまでの基本的な流れ



**7** ミキサーのオーディオ出力を設定します。

**8** 充電器からトランスミッターを取り出します。

**9** トランスミッターの電源ボタン（ESW-T4101はプッシュボタン）を長押し（約2秒）し、指を離します。

- レシーバーとトランスミッターのリンクが確立すると、レシーバーのリンクインジケータとトランスミッターのステータスインジケータが点灯します。
- 最初のリンクが確立するまで、しばらく時間（約10秒）がかかることがあります。

**10** 音声入力を確認します。

**11** ワイヤレスマネージャーで各機器をモニターします。

## Dante対応の場合（ESW-R4180DAN）

本システムは、レシーバー1台でトランスミッター8台の信号を受信し、Dante出力オーディオで出力することができます。

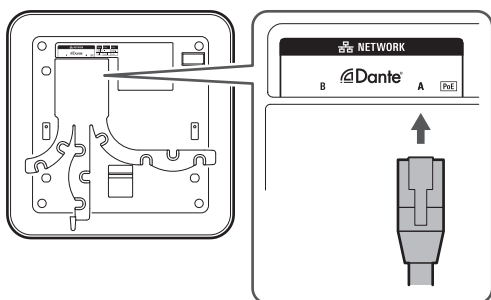
## 本システムを使用するまでの基本的な流れ

### 1 ワイヤレスマネージャーをパソコンにインストールします。

- 当社ホームページ (<https://www.audio-technica.com/>) からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウンロードしてください。

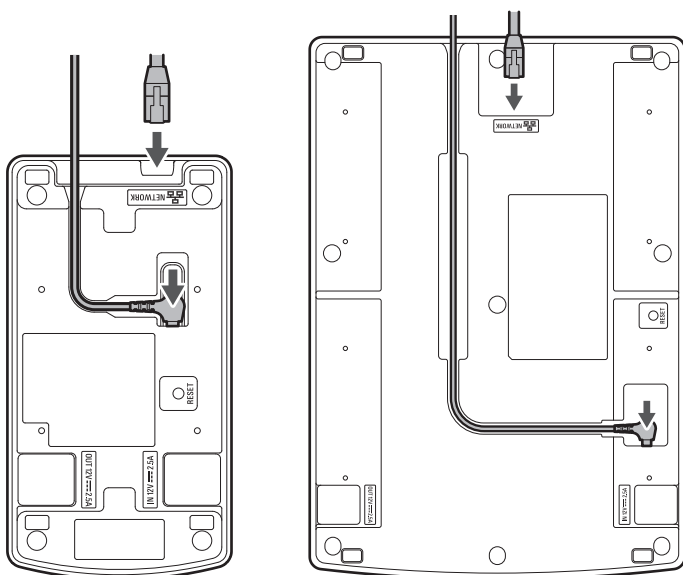
### 2 レシーバーとDante対応のミキサーをLANケーブルで接続します。

- レシーバーの取り付けかたについては、「レシーバーの設置のしかた」(p.20)を確認してください。
- LANケーブルはCAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きのものを使用してください。
- LANケーブルをPoE給電スイッチに接続すると、レシーバーの電源がONになり、数十秒後にステータスインジケーターが点灯します。



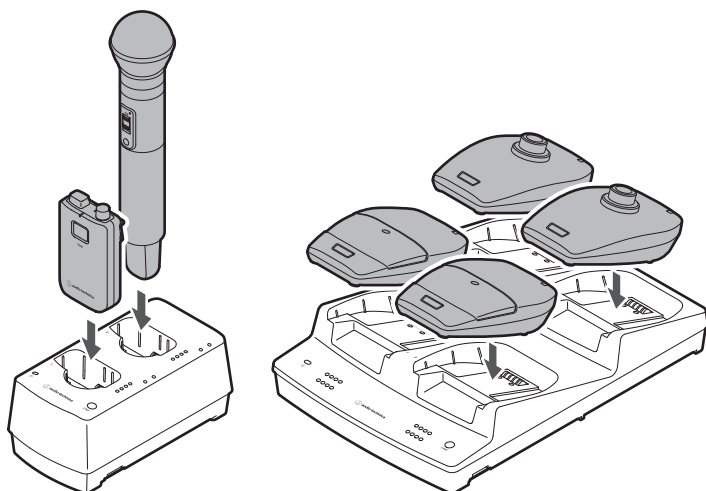
### 3 充電器にLANケーブルとACアダプターの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

- LANケーブルは、CAT5e以上、シールド付きのものを使用し、レシーバーと同じネットワークに接続してください。
- 充電器の電源がONになり、電源インジケーターが点灯します。



### 4 使用するトランスミッターを充電器に差し込みます。

## 本システムを使用するまでの基本的な流れ

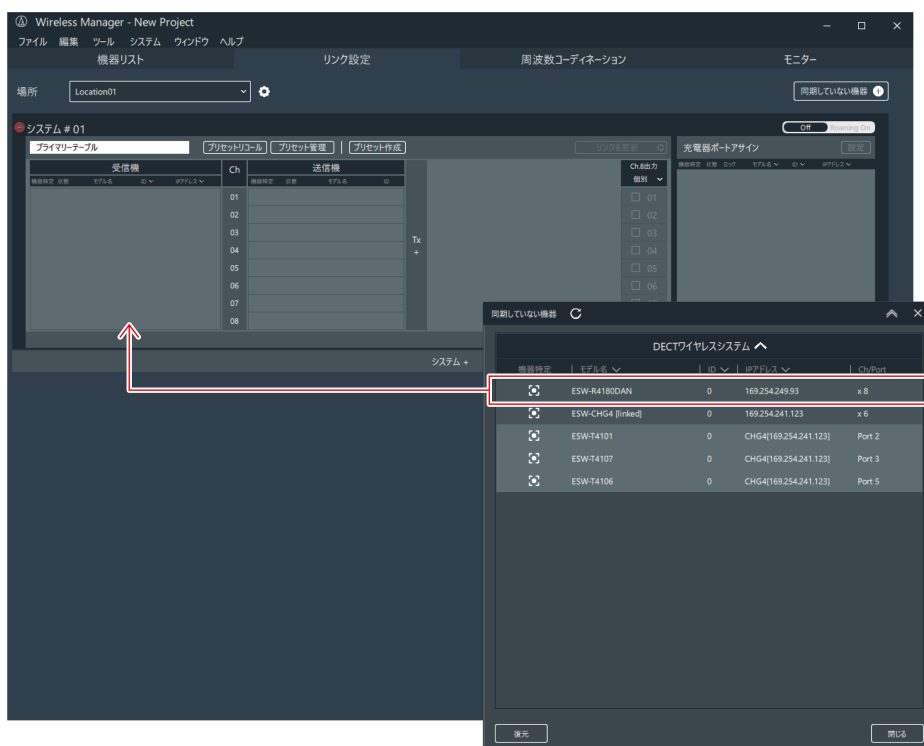


### 5 パソコンをレシーバー、充電器と同じネットワークに接続します。

- 工場出荷時、レシーバーと充電器のIPアドレスは「Auto」に設定されています。パソコンのIPアドレス設定を自動取得にしてください。

### 6 ワイヤレスマネージャーを起動し、各機器にリンク設定します。

- 詳しくは、「機器をリンク設定する」(p.80)を確認してください。



## 本システムを使用するまでの基本的な流れ

**7** Dante Controllerでアサインしてオーディオ出力を設定します。

- Dante ControllerはAudinate社ホームページ (<https://www.audinate.com/>) でダウンロードできます。

**8** 充電器からトランスミッターを取り出します。

**9** トランスミッターの電源ボタン (ESW-T4101はプッシュボタン) を長押し (約2秒) し、指を離します。

- レシーバーとトランスミッターのリンクが確立すると、レシーバーのリンクインジケータとトランスミッターのステータスインジケータが点灯します。
- 最初のリンクが確立するまで、しばらく時間 (約10秒) がかかる場合があります。

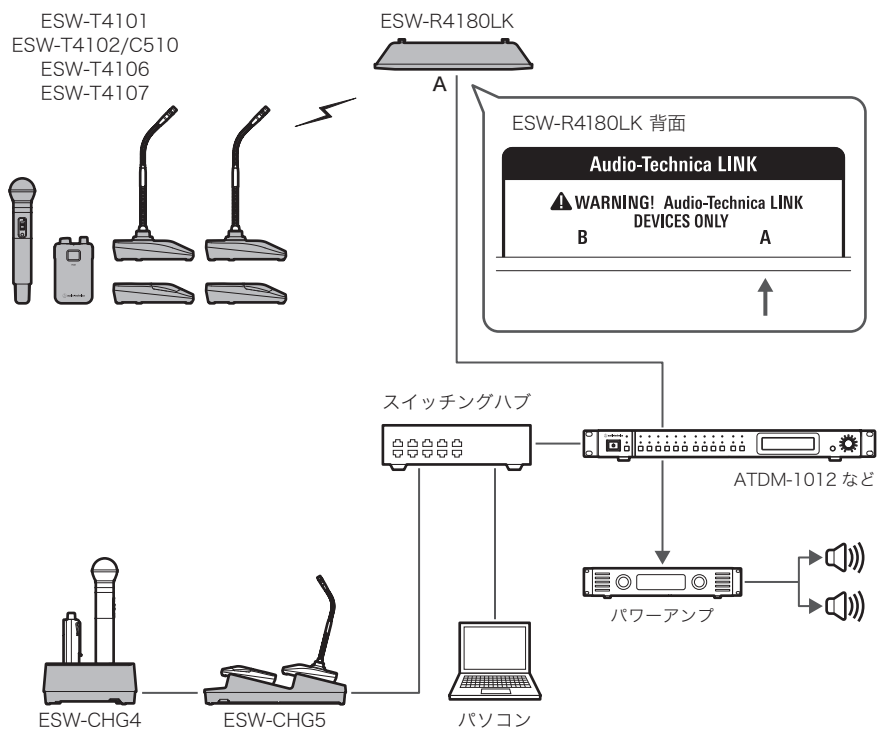
**10** 音声入力を確認します。

**11** ワイヤレスマネージャーで各機器をモニターします。

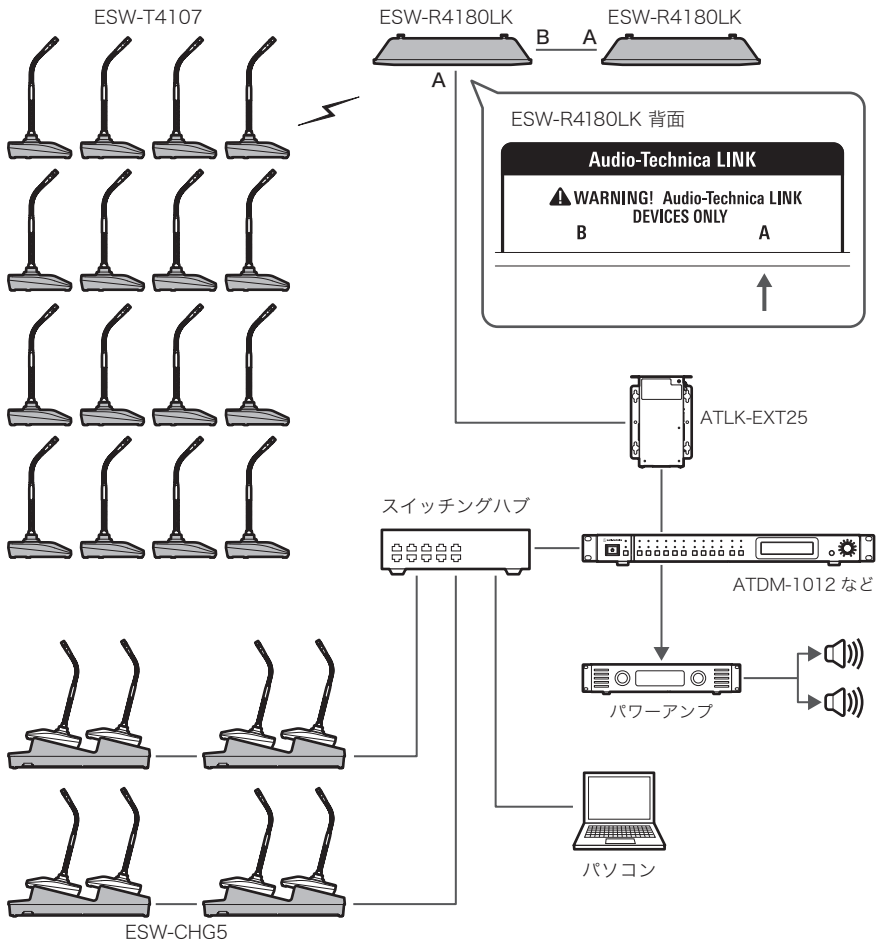
# システム構成例

## ESW-R4180LK

### 1台のみ接続



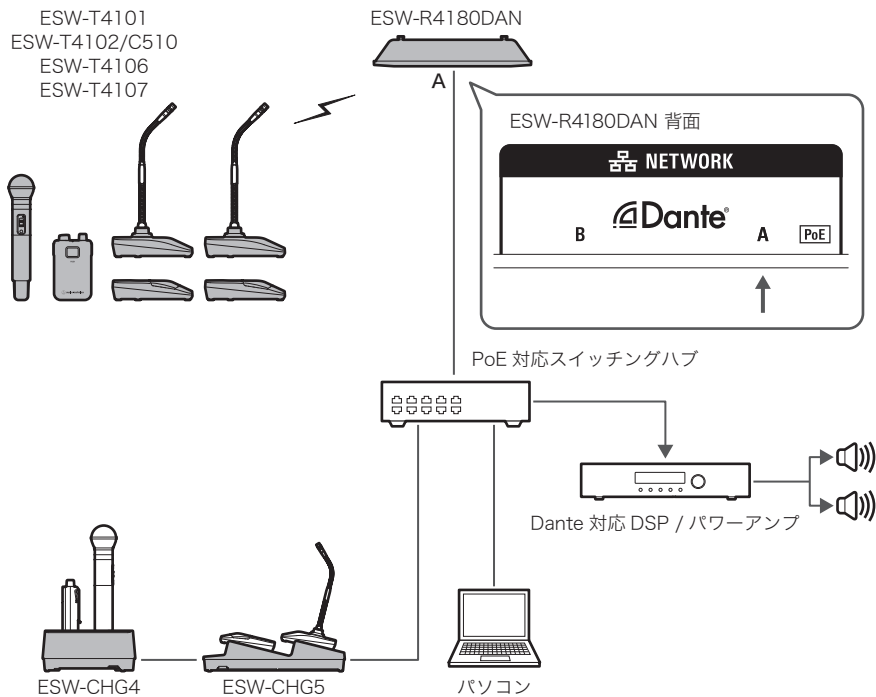
## 複数台接続



- 接続構成によっては、ATLK-EXT25などのリンクエクステンダーが必要になる場合があります。リンクエクステンダーの使用については、プロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

## ESW-R4180DAN

### 1台のみ接続

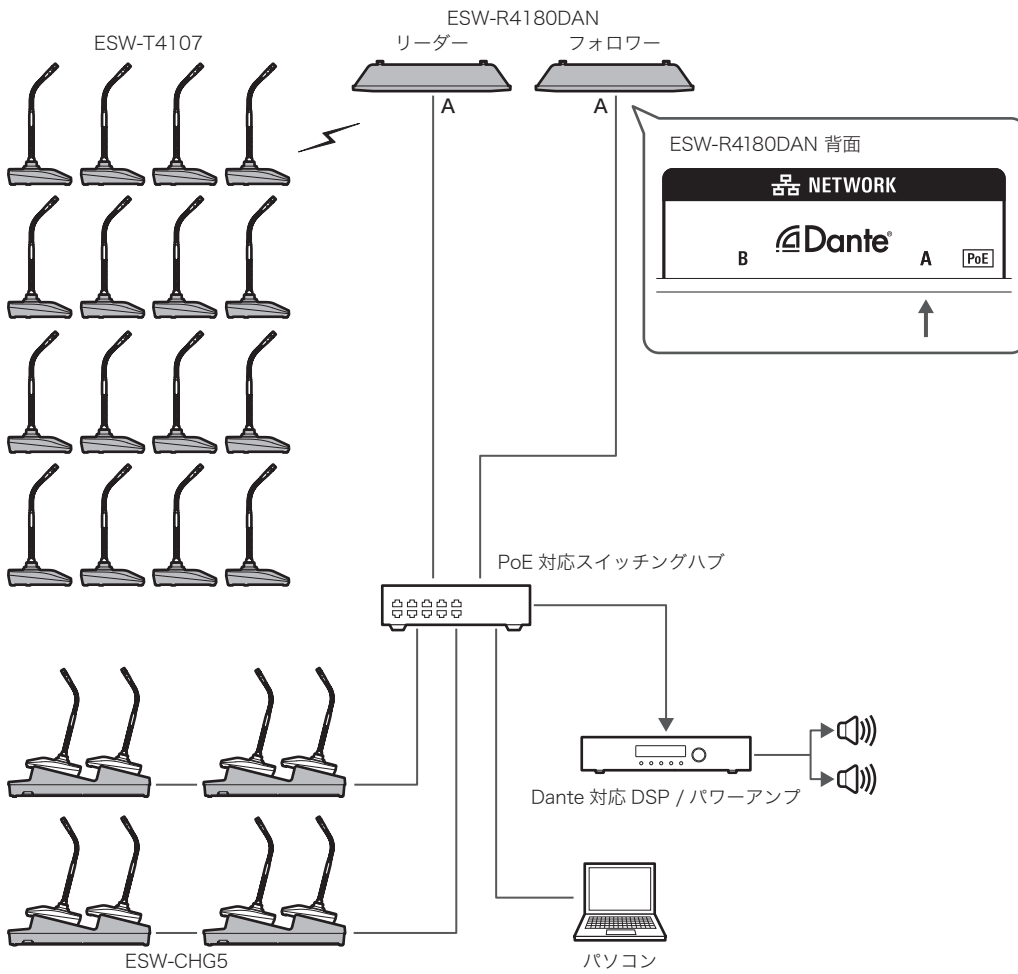


### 複数台接続

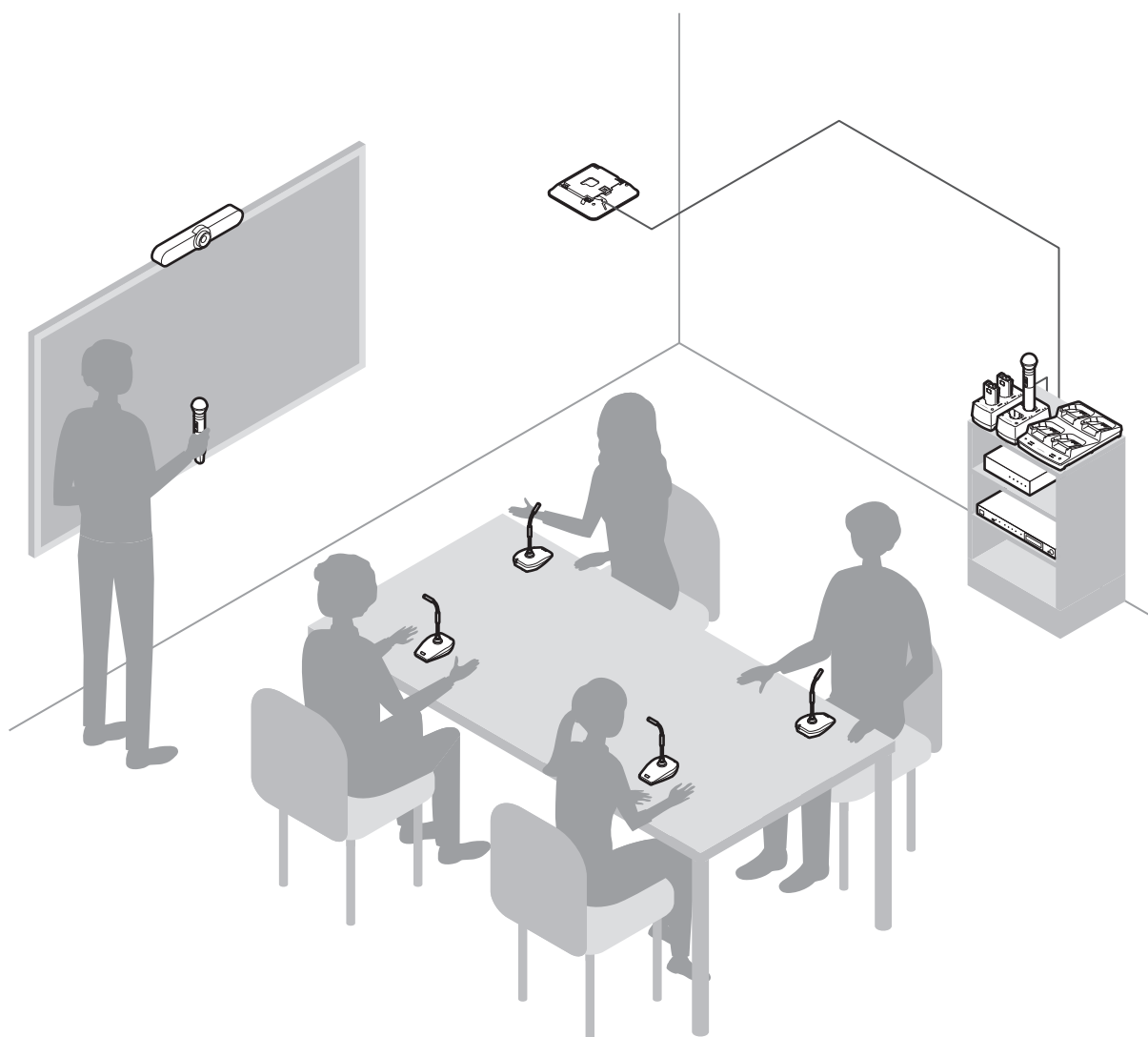
複数台のレシーバーが同一ネットワーク上にある場合、安定した運用を行えるようにレシーバー間で同期信号を取り合い、自動でリーダーとフォロワーに設定されます。レシーバーがトランスミッターとリンク中に同一ネットワーク内で次のことを行うと同期が外れ、再度同期が確立するまでネットワーク内の全てのリンクが切断する可能性があります。

- リーダーのレシーバーの電源をOFFにする。
- リーダーのレシーバーでRFモードを変更する。
- リーダーのレシーバーでDECT RFスキャンする。
- 同じネットワークに新しいレシーバーを追加する。

# システム構成例



## 使用イメージ



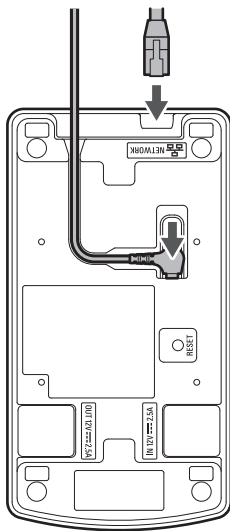
# 充電のしかた

## ESW-T4101 / ESW-T4102 / C510を充電する

充電器のESW-CHG4を使用して充電します。

### 1 充電器にLANケーブルとACアダプターの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

- ACアダプターの電源コードを充電器の溝に沿って通し、コード引出口から出します。
- LANケーブルは、CAT5e以上、シールド付きのものを使用してください。
- 充電器の電源がONになり、電源インジケータが点灯します。

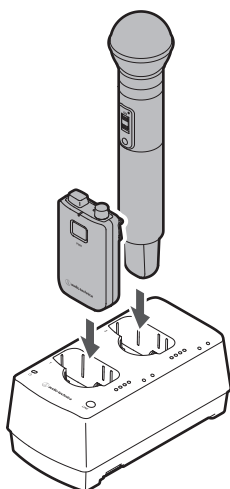


電源インジケータ表示	動作状態
緑色点灯	電源ON (ネットワーク接続あり)
青色点灯	電源ON (ネットワーク接続なし)

### 2 充電するトランスミッターを充電器の充電ポートに差し込みます。

- 充電器1台で最大2台までのトランスミッターを同時に充電できます。
- トランスミッターの向きを確認して充電器に差し込んでください。向きが合っていないと充電できません。
- ハンドヘルドトランスミッターを充電する際は、マイクロホンカプセルを取り付けたまま充電してください。
- トランスミッターの充電が開始されると、充電器のステータスインジケータが点灯します。

## 充電のしかた



ステータスインジケータ表示	充電状態
4つが順番に赤色点滅	充電準備中
1つが赤色点灯	充電中（0%～25%未満）
2つが赤色点灯	充電中（25%～50%未満）
3つが赤色点灯	充電中（50%～75%未満）
4つすべてが赤色点灯	充電中（75%～100%未満）
4つすべてが緑色点灯	満充電
1つが赤色点滅	通信不良 <sup>[1]</sup> ／予備充電 <sup>[2]</sup>
4つすべてが赤色点滅	充電異常

[1] 約30分間通信不良状態が続くと充電異常状態になります。

[2] 完全放電後に充電を開始した場合や充電式電池が低温の状態での充電を開始した場合は予備充電状態になります。数分後に通常充電状態に戻ります。



- トランスミッターの充電式電池は、充電回数で約300回繰り返して使用できますが、使用状況によって変化します。ワイヤレスマネージャーで充電サイクル回数やヘルスステータス（電池の劣化度合い）を確認することができます。詳しくは、「充電器モニターの見かた」(p.88)を確認してください。
- トランスミッターを充電器に差し込んで、ステータスインジケータの4つすべてが赤色点滅する場合は、充電異常の可能性がります。一度ACアダプターを取り外して、再度、ACアダプターを取り付けてください。それでも継続して点滅する場合は、トランスミッターの充電式電池の寿命の可能性がります。新しい充電式電池と交換してください。
- トランスミッター・充電器の充電端子は汚れが付着しやすい部分です。汚れが付着したまま使用すると充電できない場合、充電が途中で完了してしまう場合やワイヤレスマネージャーでの電池残量の表示が正しく表示されない場合があります。充電端子が汚れた場合は、力を加えずに注意して綿棒などで汚れを拭いてください。

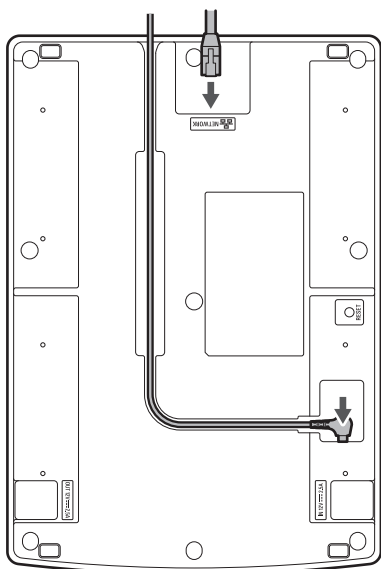
## ESW-T4106/ESW-T4107を充電する

### 充電器を使用する場合

充電器のESW-CHG5を使用して充電します。

#### 1 充電器にLANケーブルとACアダプターの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

- ACアダプターの電源コードを充電器の溝に沿って通し、コード引出口から出します。
- LANケーブルは、CAT5e以上、シールド付きのものを使用してください。
- 充電器の電源がONになり、電源インジケータが点灯します。

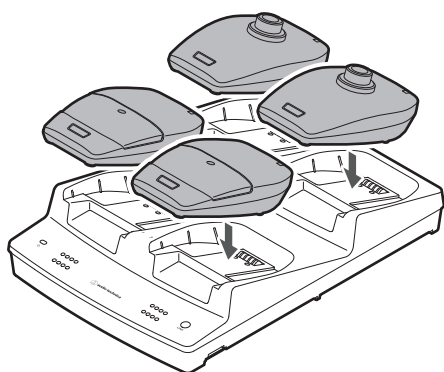


電源インジケータ表示	動作状態
緑色点灯	電源ON（ネットワーク接続あり）
青色点灯	電源ON（ネットワーク接続なし）

#### 2 充電するトランスミッターを充電器の充電ポートに差し込みます。

- 充電器1台で最大4台までのトランスミッターを同時に充電できます。
- トランスミッターの向きを確認して充電器に差し込んでください。向きが合っていないと充電できません。
- トランスミッターの電源がOFFの状態での充電を推奨していますが、電源がONの状態でも充電することができます。その場合は、トランスミッターの電源が自動的にOFFになります。
- トランスミッターの充電が開始されると、充電器のステータスインジケータが点灯します。

## 充電のしかた



ステータスインジケータ表示	充電状態
4つが順番に赤色点滅	充電準備中
1つが赤色点灯	充電中 (0%~25%未満)
2つが赤色点灯	充電中 (25%~50%未満)
3つが赤色点灯	充電中 (50%~75%未満)
4つすべてが赤色点灯	充電中 (75%~100%未満)
4つすべてが緑色点灯	満充電
1つが赤色点滅	通信不良 <sup>[1]</sup> / 予備充電 <sup>[2]</sup>
4つすべてが赤色点滅	充電異常
点灯しない	充電がされていません。正しく設置しているか確認してください。

[1] 約30分間通信不良状態が続くと充電異常状態になります。

[2] 完全放電後に充電を開始した場合や充電式電池が低温の状態での充電を開始した場合は予備充電状態になります。数分後に通常充電状態に戻ります。



- トランスミッターの充電式電池は、充電回数で約300回繰り返して使用できますが、最大充電容量は使用状況によって変化します。ワイヤレスマネージャーのモニターで最大充電容量を確認してください。詳しくは、「充電器モニターの見かた」(p.88)を確認してください。
- トランスミッターは、できる限り満充電になってからご使用ください。
- トランスミッターを充電器に差し込んで、ステータスインジケータの4つすべてが赤色点滅する場合は、充電異常の可能性があります。一度ACアダプターを取り外して、再度、ACアダプターを取り付けてください。それでも継続して点滅する場合は、トランスミッターの充電式電池の寿命の可能性があります。新しい充電式電池と交換してください。
- トランスミッター・充電器の充電端子は汚れが付着しやすい部分です。汚れが付着したまま使用すると充電できない場合があります。充電端子が汚れた場合は、力を加えずに注意して綿棒などで汚れを拭いてください。

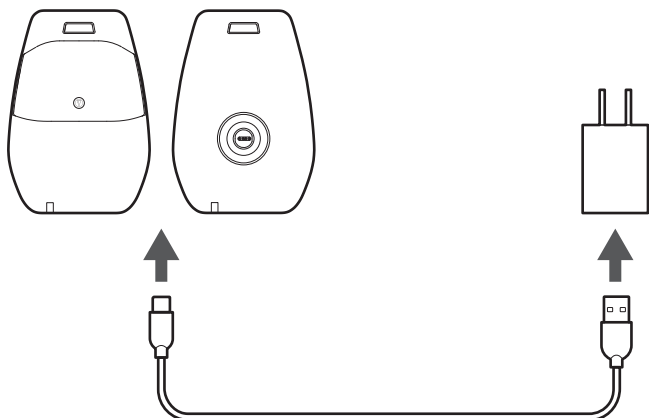
### USB接続で充電する場合

トランスミッターのUSB端子 (USB Type-C) に市販のUSBケーブル・USB電源アダプター (5V/1Aに対応) を接続すると、充電器を使わずに充電できます。

## 充電のしかた

### 1 トランスミッターとUSB電源アダプターにUSBケーブルで接続します。

- USBケーブルをUSB端子に差し込む際は、まっすぐ（水平に）差し込んでください。
- 充電が開始されると、ステータスインジケータが点灯します。
- パソコンのUSB端子に接続して充電することもできます。



ステータスインジケータ表示	充電状態
赤色点灯	充電中
緑色点灯	満充電
遅い赤色点滅	高温異常
点灯しない	充電がされていません。正しく設置しているか確認してください。



- PD対応している市販のUSBケーブルを使用する場合は、ケーブル内のICチップの影響でトランスミッターが充電できない場合があります。

# 充電器の連結

ESW-CHG4とESW-CHG5はネットワーク対応の充電器です。複数台を連結して使用することができます。

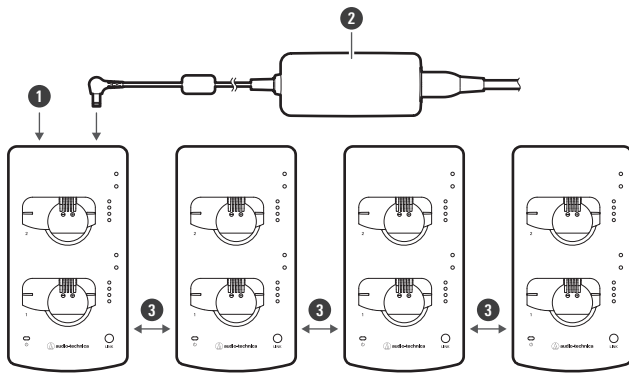
## 連結の組み合わせ

充電ポートが最大8ポートになる組み合わせの台数まで連結できます。

- 8ポートを超える台数を連結すると、8ポートを超えた充電器では充電が行われず、電源インジケータが緑色／青色で交互に点灯します。

### ESW-CHG4のみを連結する場合の接続例

最大4台まで連結できます。1台目（図の左端）の充電器にACアダプターとLANケーブルを接続します。

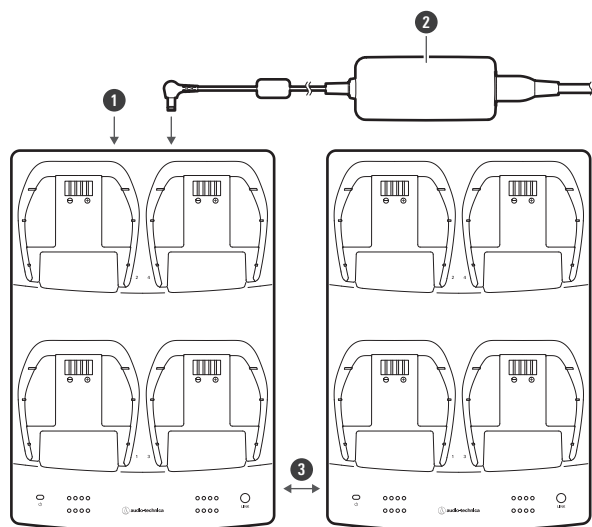


- ① LANケーブル
- ② ACアダプター
- ③ リンクケーブル

### ESW-CHG5のみを連結する場合の接続例

最大2台まで連結できます。1台目（図の左端）の充電器にACアダプターとLANケーブルを接続します。

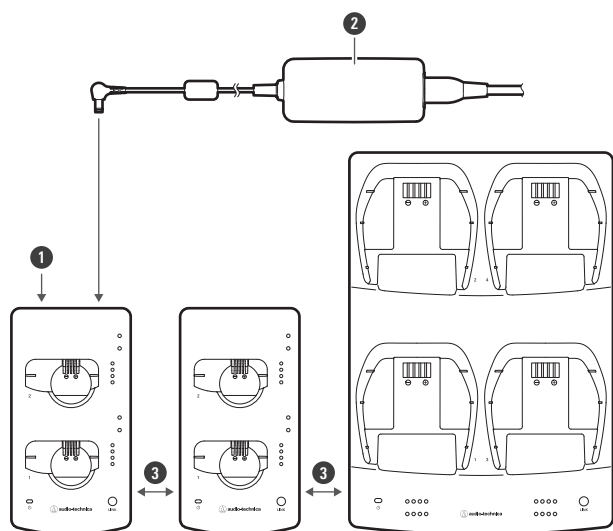
## 充電器の連結



- ① LANケーブル
- ② ACアダプター
- ③ リンクケーブル

### ESW-CHG4とESW-CHG5を連結する場合の接続例

最大3台（ESW-CHG4：2台、ESW-CHG5：1台）まで連結できます。1台目（図の左端）の充電器にACアダプターとLANケーブルを接続します。

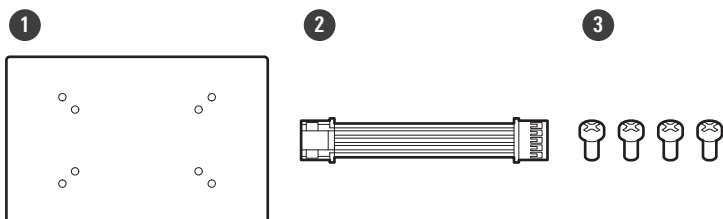


- ① LANケーブル
- ② ACアダプター
- ③ リンクケーブル

# 連結のしかた

### 連結に使用する付属品

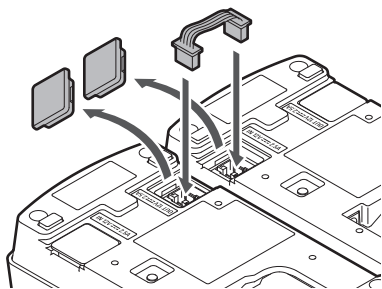
充電器の連結には、付属のリンクキットを使用します。



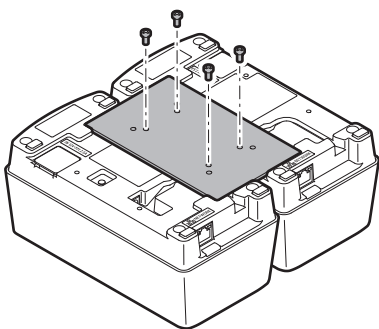
- ① リンクプレート
- ② リンクケーブル
- ③ リンクプレート用ねじセット

### ESW-CHG4とESW-CHG4の連結

- 1 DC端子用キャップを取り外し、リンクケーブルを接続します。

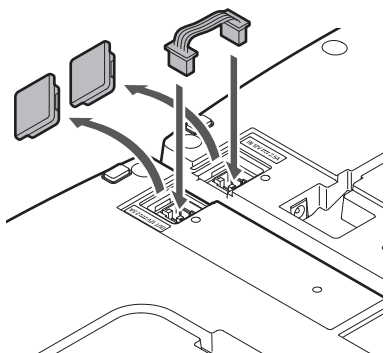


- 2 リンクプレートをリンクプレート用ねじで取り付けます。

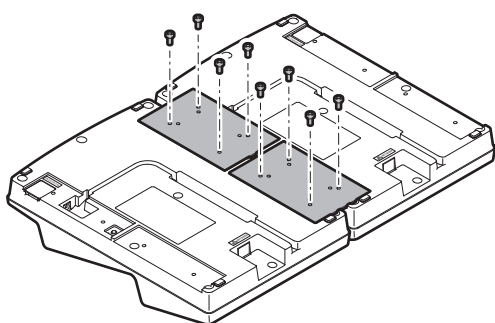


### ESW-CHG5とESW-CHG5の連結

- 1 DC端子用キャップを取り外し、リンクケーブルを接続します。

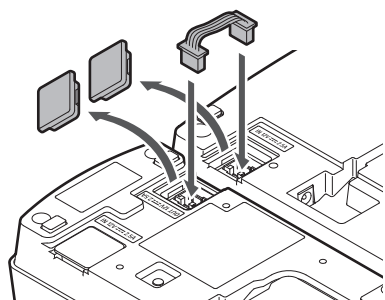


- 2 リンクプレート（2枚）をリンクプレート用ねじで取り付けます。



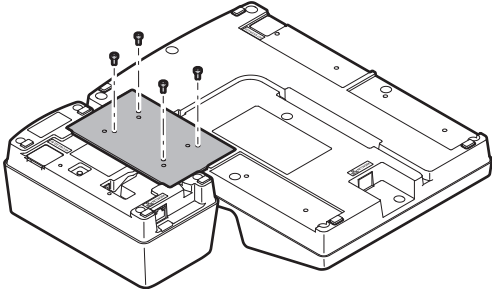
### ESW-CHG4とESW-CHG5の連結

- 1 DC端子用キャップを取り外し、リンクケーブルを接続します。



- 2 リンクプレートをリンクプレート用ねじで取り付けます。

# 充電器の連結



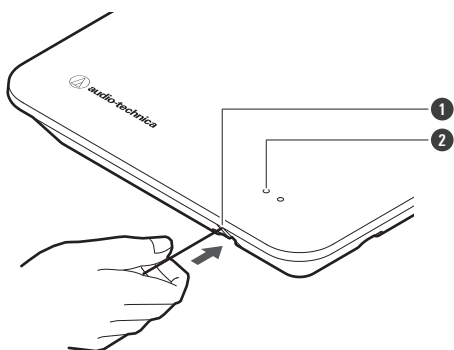
# 機器の使いかた

## ESW-R4180LK/ESW-R4180DAN

### ネットワークモードを確認する (ESW-R4180DANのみ)

**1** リセットボタンを先の細いピンをまっすぐゆっくりと差し込んで短押しします。

- ステータスインジケータが点滅します。



- ① リセットボタン
- ② ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	ネットワークモード
緑色点滅 (5回)	Auto
橙色点滅 (5回)	Static

### ネットワークリセットをする (ESW-R4180DANのみ)

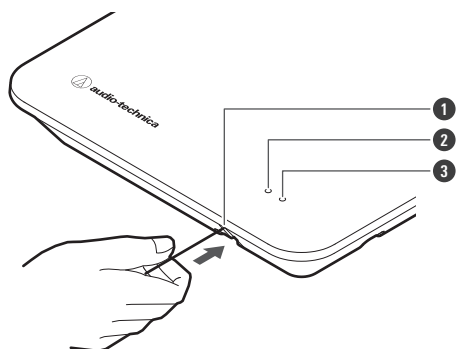
次のネットワーク設定が工場出荷状態に戻ります。IPアドレスが不明な場合に、ネットワークモードを「Auto」に戻すときなどに使用すると便利です。

- IP設定
- リモート制御
- Syslog
- NTP設定

**1** リセットボタンを先の細いピンをまっすぐゆっくりと差し込んで長押し (約3秒) します。

- ステータスインジケータとリンクインジケータが赤色/橙色で交互に点灯します。

## 機器の使いかた



- ① リセットボタン
- ② ステータスインジケータ
- ③ リンクインジケータ

### 2 ステータスインジケータとリンクインジケータが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。

- ステータスインジケータとリンクインジケータが交互に点灯してから約5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

≫ ネットワークリセットが実行されます。ネットワークリセット後は自動的に再起動します。



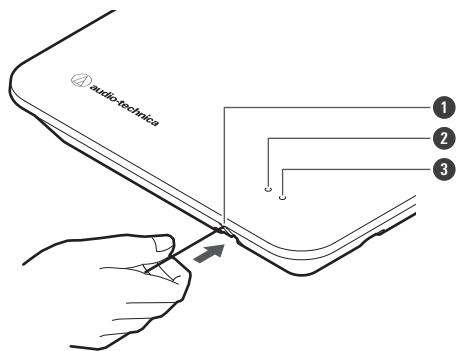
- リセット中や再起動中は、レシーバーに接続しているケーブルを抜かないでください。

## ファクトリーリセットをする

すべての設定が工場出荷状態に戻ります。

### 1 リセットボタンを先の細いピンをまっすぐぐゅっくりと差し込んで長押し（8秒以上）します。

- ステータスインジケータとリンクインジケータが緑色／橙色で交互に点灯します。



- ① リセットボタン

## 機器の使いかた

- ② ステータスインジケータ
- ③ リンクインジケータ

### 2 ステータスインジケータとリンクインジケータが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。

- ステータスインジケータとリンクインジケータが交互に点灯してから約5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

≫ ファクトリーリセットが実行されます。ファクトリーリセット後は自動的に再起動します。



- ファクトリーリセットはワイヤレスマネージャーで行うこともできます。

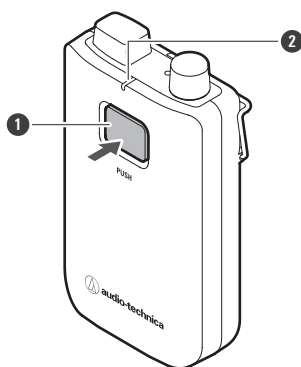


- リセット中や再起動中は、レシーバーに接続しているケーブルを抜かないでください。

## ESW-T4101

### 電源をON/OFFする

#### 1 電源がOFFの状態ですッシュボタンを長押し（約2秒）します。



- ① プッシュボタン
- ② ステータスインジケータ

≫ 電源がONになり、レシーバーとのリンクが確立すると、ステータスインジケータが点灯します。

#### 2 電源がONの状態ですッシュボタンを長押し（約2秒）し、指を離します。

≫ 電源がOFFになります。

## 機器の使いかた

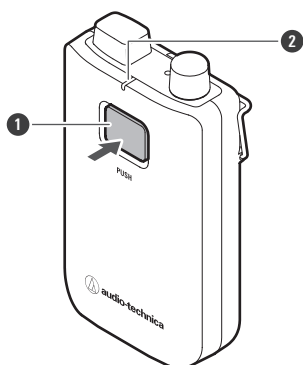


- レシーバーとトランスミッターにリンク設定していない状態（工場出荷状態）で電源をONにすると、ステータスインジケータが速い赤色点滅になり、約10秒後に電源がOFFになります。
- レシーバーとトランスミッターにリンク設定している状態で電源をONにすると、リンク先を探している状態になり、ステータスインジケータが赤色点滅になります。点滅が1分間続き、リンク先が見つからないと自動で電源がOFFになります。
- 充電器からトランスミッターを取り出してすぐに電源をONにすると、起動までにはしばらく時間（約5秒）がかかる場合があります。

### ミュート／ミュート解除を切り替える

#### 1 電源がONの状態です押しボタンを短押しします。

- 短押しするたびにミュート／ミュート解除が切り替わります。
- ステータスインジケータが点灯します。



- ① プッシュボタン
- ② ステータスインジケータ

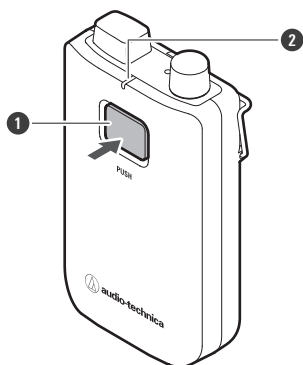
ステータスインジケータ表示	動作状態
赤色点灯	ミュート
緑色点灯	ミュート解除

### 電池残量を確認する

#### 1 電源がONの状態です押しボタンを長押し（5秒以上）します。

- ステータスインジケータが点滅します。

## 機器の使いかた

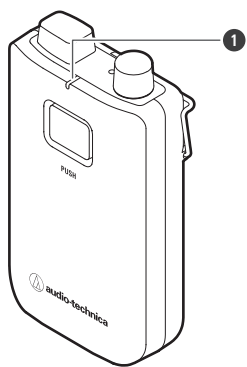


- ① プッシュボタン
- ② ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	電池残量
緑色点滅 (1回)	0%~25%未満
緑色点滅 (2回)	25%~50%未満
緑色点滅 (3回)	50%~75%未満
緑色点滅 (4回)	75%以上

### 電池残量アラートについて

電池残量が少なくなるとステータスインジケータが点滅します。充電を行ってください。



- ① ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	電池残量アラート
橙色点滅	電池残量がありません。30分以内に電源がOFFになります。[1]
ミュート/ミュート解除時の点灯色で点滅	電池残量が少なくなっています。60/90/120分以内に電源がOFFになります。[1][2]

[1] 時間は目安です。使用条件により異なります。

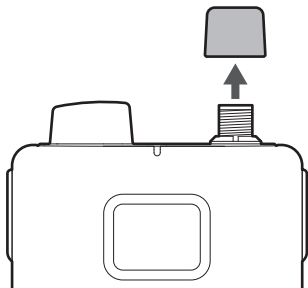
[2] 工場出荷時、この機能はOFFになっています。「機器設定」の「電池残量アラート」で60/90/120分の時間を設定できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

## 外部マイクロホンの取り付けかた

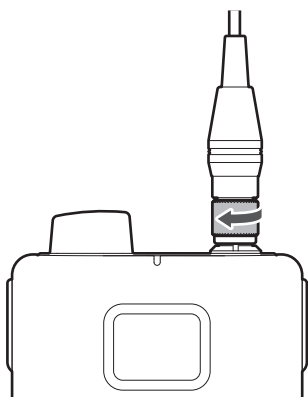
cHコネクター対応の外部マイクロホンを取り付けます。

- ギターケーブルは対応していません。

**1** 入力コネクターのキャップを取り外します。



**2** 入力コネクターに外部マイクロホンを接続し、ねじ部分を締め込みます。

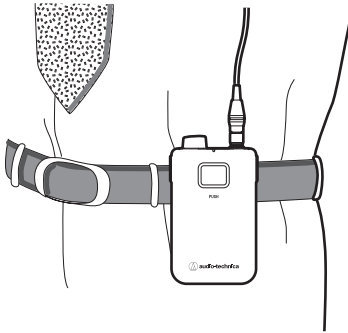


- 対応しているマイクロホンについては、プロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

## 装着のしかた

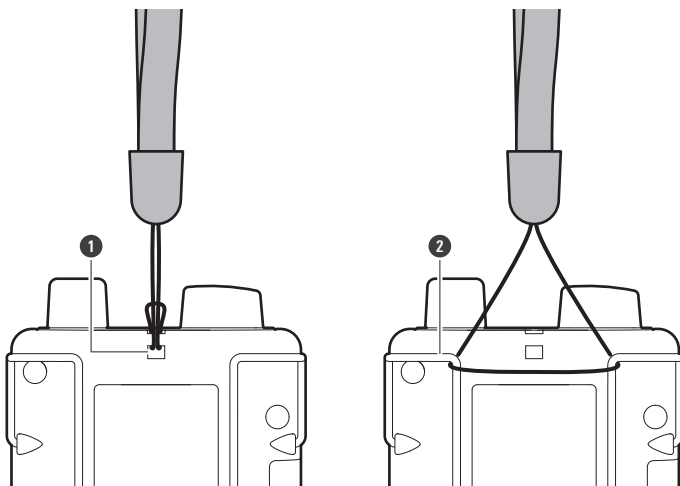
ボディパケットランスミッターのクリップをベルトなどに取り付けて使用することができます。

## 機器の使いかた



### ネックストラップの取り付けかた

付属のネックストラップをボディパケットトランスミッターのストラップホールまたはクリップに取り付け、首から提げて使用することができます。



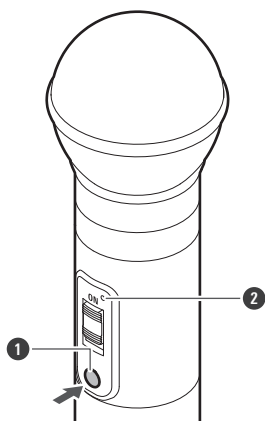
- ① ストラップホール
- ② クリップ

## ESW-T4102/C510

### 電源をON/OFFする

- 1 電源がOFFの状態です電源ボタンを長押し（約2秒）します。

## 機器の使いかた



- ① 電源ボタン
- ② ステータスインジケータ

≫ 電源がONになり、レーザーとのリンクが確立すると、ステータスインジケータが点灯します。

### 2 電源がONの状態ですべての電源ボタンを長押し（約2秒）し、指を離します。

≫ 電源がOFFになります。



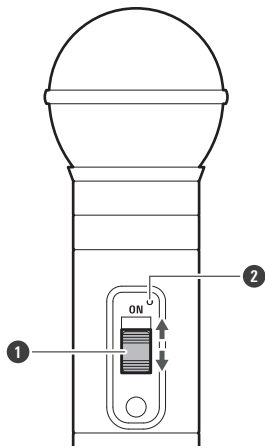
- レーザーとトランスミッターにリンク設定していない状態（工場出荷状態）で電源をONにすると、ステータスインジケータが速い赤色点滅になり、約10秒後に電源がOFFになります。
- レーザーとトランスミッターにリンク設定している状態で電源をONにすると、リンク先を探している状態になり、ステータスインジケータが赤色点滅になります。点滅が1分間続き、リンク先が見つからないと自動で電源がOFFになります。
- 充電器からトランスミッターを取り出してすぐに電源をONにすると、起動までにはしばらく時間（約5秒）がかかる場合があります。

## ミュート/ミュート解除を切り替える

### 1 ミュートスイッチをスライドします。

- ミュートスイッチを下方にスライドするとミュート、上方（ON）にスライドするとミュート解除になります。

# 機器の使いかた



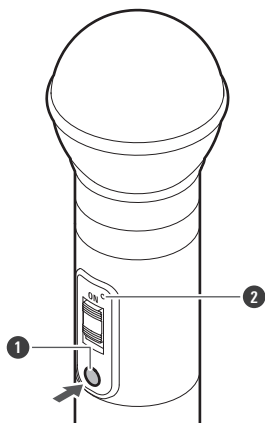
- ① ミュートスイッチ
- ② ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	動作状態
赤色点灯	ミュート
緑色点灯	ミュート解除

## 電池残量を確認する

**1** 電源がONの状態ですべての電源ボタンを長押し（5秒以上）します。

- ステータスインジケータが点滅します。



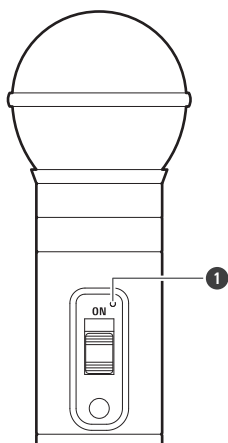
- ① 電源ボタン
- ② ステータスインジケータ

## 機器の使いかた

ステータスインジケータ表示	電池残量
緑色点滅 (1回)	0%~25%未満
緑色点滅 (2回)	25%~50%未満
緑色点滅 (3回)	50%~75%未満
緑色点滅 (4回)	75%以上

### 電池残量アラートについて

電池残量が少なくなるとステータスインジケータが点滅します。充電を行ってください。



① ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	電池残量アラート
橙色点滅	電池残量がありません。30分以内に電源がOFFになります。[1]
ミュート/ミュート解除時の点灯色で点滅	電池残量が少なくなっています。60/90/120分以内に電源がOFFになります。[1][2]

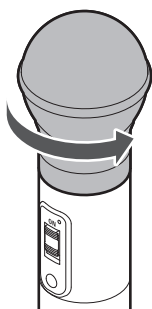
[1] 時間は目安です。使用条件により異なります。

[2] 工場出荷時、この機能はOFFになっています。「機器設定」の「電池残量アラート」で60/90/120分の時間を設定できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

### マイクロホンカプセルの取り外しかた

- 1 マイクロホンカプセルを回転させて取り外します。

## 機器の使いかた

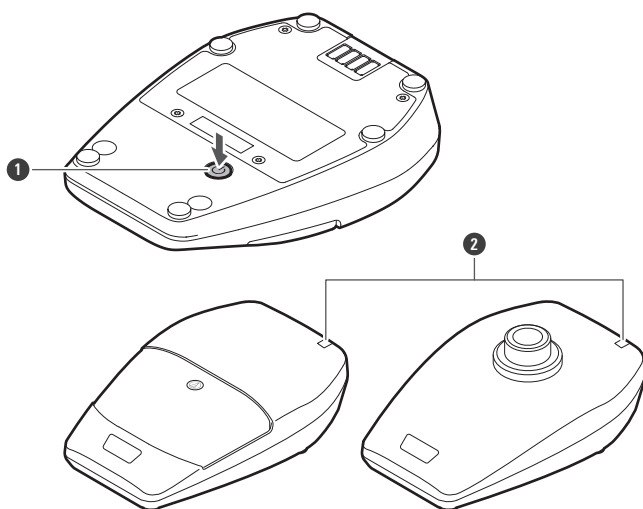


- マイクロホンカプセルとハンドヘルドトランスミッターの接続面に直接触れたり、傷を付けたりしないでください。
- マイクロホンカプセルを取り外す前に、ハンドヘルドトランスミッターの電源を必ずOFFにしてください。
- マイクロホンカプセルを取り付ける際、強い力で無理に締め付けしないでください。ハンドヘルドトランスミッターまたはマイクロホンカプセルが破損する場合があります。

## ESW-T4106/ESW-T4107

### 電源をON/OFFする

- 1 電源がOFFの状態ですべての電源ボタンを長押し（約2秒）します。



- 1 電源ボタン
- 2 ステータスインジケータ

≫ 電源がONになり、レシーバーとのリンクが確立すると、ステータスインジケータが点灯します。

# 機器の使いかた

## 2 電源がONの状態です電源ボタンを長押し（約2秒）し、指を離します。

≫ 電源がOFFになります。

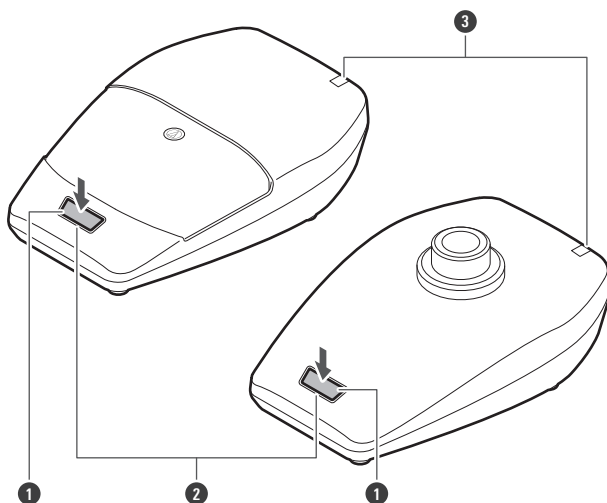


- レシーバーとトランスミッターにリンク設定していない状態（工場出荷状態）で電源をONにすると、ステータスインジケータが速い赤色点滅になり、約10秒後に電源がOFFになります。
- レシーバーとトランスミッターにリンク設定している状態で電源をONにすると、リンク先を探している状態になり、ステータスインジケータが赤色点滅になります。点滅が1分間続き、リンク先が見つからないと自動で電源がOFFになります。
- 充電器からトランスミッターを取り出してすぐに電源をONにすると、起動までしばらく時間（約5秒）がかかる場合があります。

## ミュート/ミュート解除を切り替える

### 1 トークスイッチを短押しします。

- 短押しするたびにミュート/ミュート解除が切り替わります。
- 「機器設定」の「ミュートモード」で設定を変更できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマナーの機器設定」(p.92)を確認してください。
- トークインジケータとステータスインジケータが点灯します。



- ① トークスイッチ
- ② トークインジケータ
- ③ ステータスインジケータ

インジケータ表示	動作状態
赤色点灯	ミュート
緑色点灯	ミュート解除

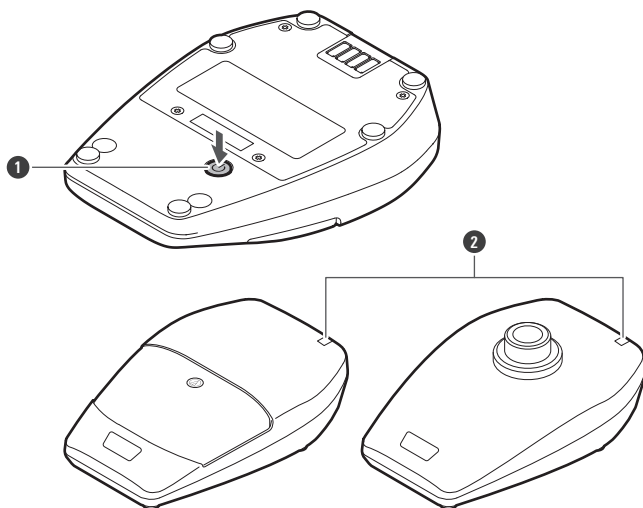
- 「機器設定」の「ミュートLED色」/「ミュート解除LED色」で表示色を変更できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマナーの機器設定」(p.92)を確認してください。

# 機器の使いかた

## 電池残量を確認する

1 電源がONの状態ですてータスインジケータを長押し（5秒以上）します。

- ステータスインジケータが点滅します。



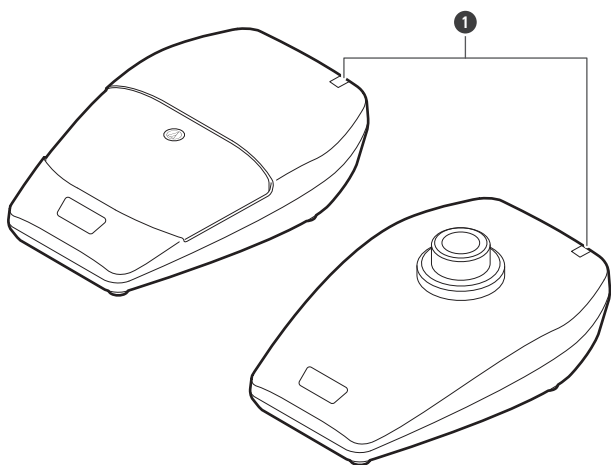
- ① 電源ボタン
- ② ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	電池残量
緑色点滅（1回）	0%～25%未満
緑色点滅（2回）	25%～50%未満
緑色点滅（3回）	50%～75%未満
緑色点滅（4回）	75%以上

## 電池残量アラートについて

電池残量が少なくなるとステータスインジケータが点滅します。充電を行ってください。

## 機器の使いかた



### ① ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	電池残量アラート
橙色点滅	電池残量がありません。30分以内に電源がOFFになります。[1]
ミュート/ミュート解除時の点灯色で点滅	電池残量が少なくなっています。60/90/120分以内に電源がOFFになります。[1][2]

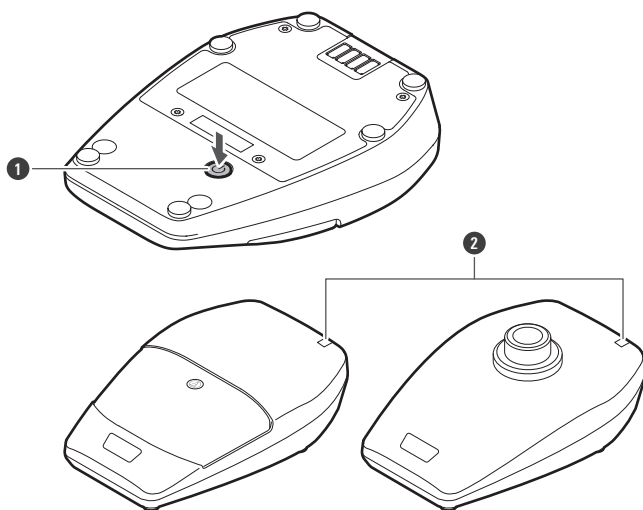
[1] 時間は目安です。使用条件により異なります。

[2] 工場出荷時、この機能はOFFになっています。「機器設定」の「電池残量アラート」で60/90/120分の時間を設定できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

## マイクロホンの指向性を確認する (ESW-T4106のみ)

### 1 電源ボタンを短押しします。

- ステータスインジケータが点滅します。



### ① 電源ボタン

## 機器の使いかた

### ② ステータスインジケータ

ステータスインジケータ表示	マイクロホンの指向性
青色点滅 (3回)	カーディオイド
白色点滅 (3回)	無指向性

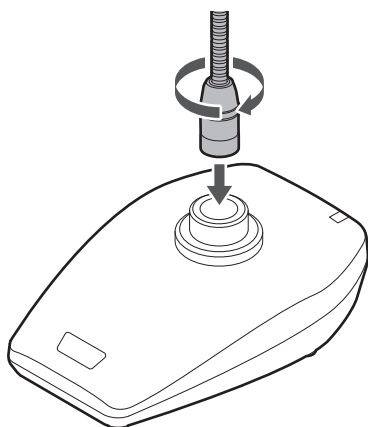
- 「機器設定」の「指向特性」で設定を変更できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

## グースネックマイクロホンの取り付けかた (ESW-T4107のみ)

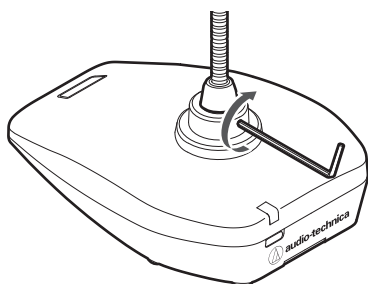
グースネックマイクロホンをデスクスタンドトランスミッターに取り付けて使用します。

### 1 グースネックマイクロホンをデスクスタンドトランスミッターに回しながら差し込みます。

- グースネックマイクロホンが回らなくなるまで締め込んでください。



### 2 六角レンチを使って固定ねじを締めて、グースネックマイクロホンとデスクスタンドトランスミッターを固定します。



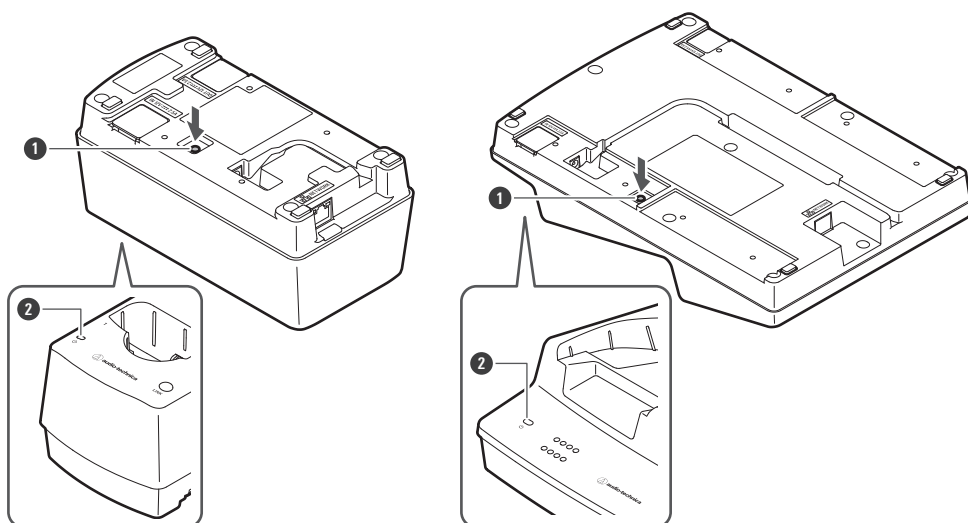
- グースネックマイクロホンの組み立てかたや取り扱いについては、グースネックマイクロホンの取扱説明書を確認してください。
- 対応しているグースネックマイクロホンについては、プロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

# ESW-CHG4/ESW-CHG5

## ネットワークモードを確認する

**1** リセットボタンを短押しします。

- 電源インジケータが点滅します。



- ① リセットボタン
- ② 電源インジケータ

電源インジケータ表示	ネットワークモード
緑色点滅 (5回)	Auto
シアン色点滅 (5回)	Static

## ネットワークリセットをする

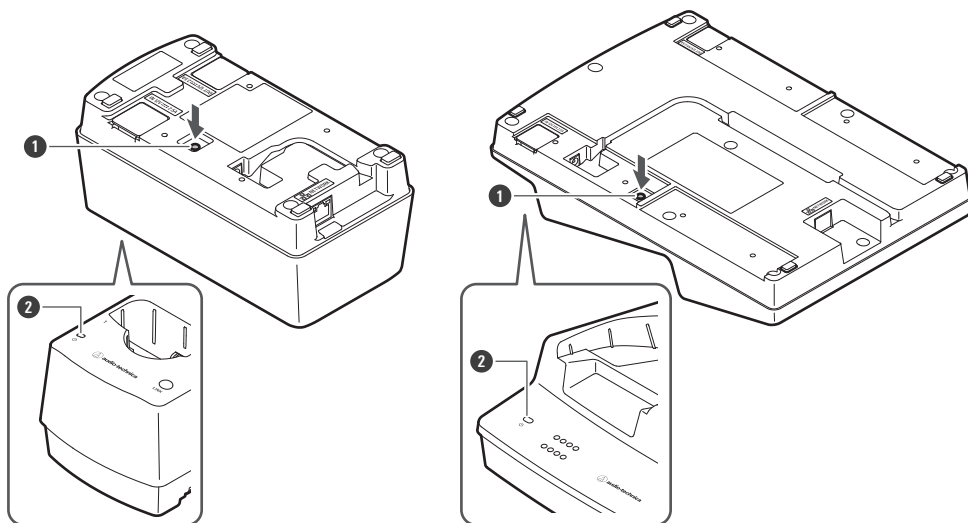
次のネットワーク設定が工場出荷状態に戻ります。IPアドレスが不明な場合に、ネットワークモードを「Auto」に戻すときなどに使用すると便利です。

- IP設定
- リモート制御
- Syslog
- NTP設定

**1** リセットボタンを長押し（約3秒）し、指を離します。

- 電源インジケータが青色/シアン色で交互に点灯します。

## 機器の使いかた



- ① リセットボタン
- ② 電源インジケータ

### 2 電源インジケータが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。

- 電源インジケータが交互に点灯してから約5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

≫ ネットワークリセットが実行されます。ネットワークリセット後は自動的に再起動します。



- リセット中や再起動中は、充電器に接続しているケーブルを抜かないでください。

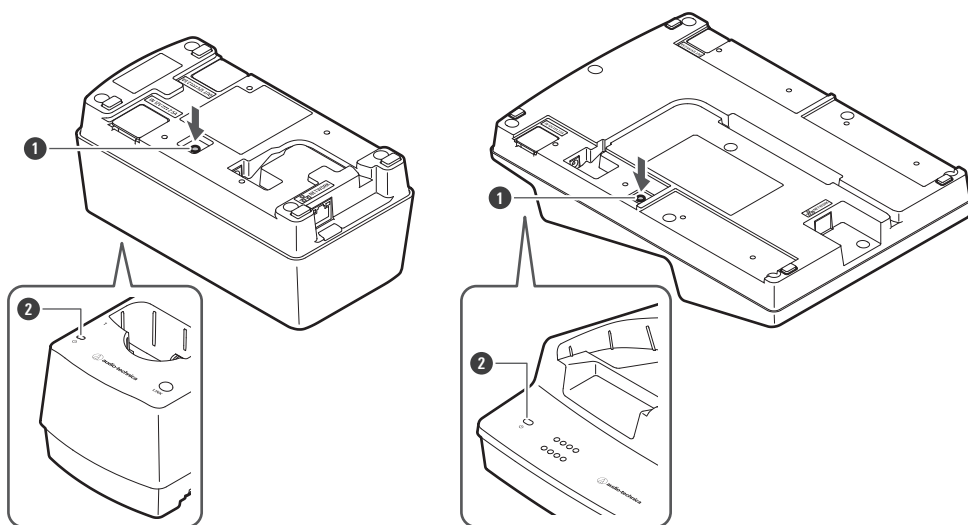
## ファクトリーリセットをする

すべての設定が工場出荷状態に戻ります。

### 1 リセットボタンを長押し（8秒以上）します。

- 電源インジケータが緑色／シアン色で交互に点灯します。

## 機器の使いかた



- ① リセットボタン
- ② 電源インジケータ

### 2 電源インジケータが交互に点灯している間にリセットボタンを短押しします。

- 電源インジケータが交互に点灯してから約5秒間操作がないと通常動作モードに戻ります。

≫ ファクトリーリセットが実行されます。ファクトリーリセット後は自動的に再起動します。



- ファクトリーリセットはワイヤレスマネージャーで行うこともできます。



- リセット中や再起動中は、充電器に接続しているケーブルを抜かないでください。

## 省エネモードに切り替える

消費電流を抑える省エネモードで使用することができます。

- 省エネモード時はネットワークに接続しないため、ファームウェアアップデート、ネットワークモード確認、リセット機能などが動作しません。
- 消費電流を抑えるため、電源インジケータやステータスインジケータの表示が暗めになります。
- 省エネモードに切り替えると、トランスミッターが満充電になった際のステータスインジケータの表示が消灯します。
- 省エネモードに切り替えると、トランスミッターの充電を開始するまでにしばらく時間（約10秒）がかかる場合があります。リンクボタンを短押しすると、すぐに充電を開始することができます。

### 1 充電器がネットワーク接続されていないことを確認します。

- ネットワーク接続されていない場合は、電源インジケータが青色点灯します。

## 機器の使いかた

**2** リンクボタンとリセットボタンを同時に長押し（約3秒）します。

**3** 電源インジケータが点滅したら、ボタンから指を離します。

≫ 省エネモードに切り替わります。



- ACアダプターを取り外し、再度ACアダプターを取り付けると、省エネモードが解除されます。

# トランスミッターのリンクについて

この取扱説明書ではレシーバーとトランスミッターが無線接続されることを「リンク」と記載しています。

- ワイヤレスマネージャーでリンク設定を行っておく必要があります。詳しくは、「機器をリンク設定する」(p.80)を確認してください。

## レシーバーとトランスミッターのリンクのしかた

**1** 充電器からトランスミッターを取り出します。

**2** トランスミッターの電源ボタン（ESW-T4101はプッシュボタン）を長押し（約2秒）し、指を離します。

- トランスミッターの電源をONにしたまま充電器に差し込むと、充電器から取り出した際に自動的に電源がONになります。
- 充電器からトランスミッターを取り出してすぐに電源をONにすると、起動までしばらく時間（約5秒）がかかる場合があります。

» 電源がONになり、自動的にリンク先を探します。リンクが確立すると、レシーバーのリンクインジケーターとトランスミッターのステータスインジケーターが点灯します。

# ワイヤレスマネージャーについて

## ワイヤレスマネージャーとは

本システムの設定に必要なソフトウェアアプリケーションです。機器と接続してリンク設定や機器設定ができるだけでなく、オフラインで事前に作成した設定を、オンライン上にある機器に反映させることもできます。その他にも、周辺の周波数環境のスキャン、機器のステータスマonitoringやログ出力を行うことができます。



- ワイヤレスマネージャーではDanteに関する設定はできません。

## 推奨環境

ワイヤレスマネージャーはパソコン用です。タブレットやスマートフォンでは使用できません。最新のOS対応状況について、詳しくは、当社ホームページを確認してください。

項目名	内容
動作可能OS	Microsoft Windows 10 64bit Microsoft Windows 11 64bit macOS Big Sur (Version 11) macOS Monterey (Version 12)
インストールサイズ	210MB
ディスプレイ解像度	1920×1080以上
CPU	Intel® Core™ i5、i7相当以上
メモリ	4GB以上 (多数の機器を扱う場合は8GB以上を推奨)



- ワイヤレスマネージャーを使用する際は、必ず機器のファームウェアを最新にしてご使用ください。

## ワイヤレスマネージャーをインストールする

### Windowsの場合

- ご使用のWindows PCにワイヤレスマネージャーのインストーラーをダウンロードします。
  - 当社ホームページ (<https://www.audio-technica.com/>) からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウンロードしてください。
- ダウンロードした圧縮ファイル (Zip) を解凍し、「WirelessManagerInstaller\_vXXX\_XXbit.exe」を実行します。
  - ≫ セットアップウィザードが表示されます。

## ワイヤレスマネージャーについて

- 3 画面上に表示された指示に従い、ワイヤレスマネージャーをインストールします。  
» インストールが完了すると、デスクトップにワイヤレスマネージャーのショートカットが作成されます。

### Macの場合

- 1 ご使用のMacにワイヤレスマネージャーのインストーラーをダウンロードします。
  - 当社ホームページ (<https://www.audio-technica.com/>) からご使用の国または地域を選択し、各サイトよりダウンロードしてください。
- 2 ダウンロードしたファイル (WirelessManagerInstaller\_vXXX.dmg) を開きます。
- 3 インストーラー (WirelessManagerInstaller\_vXXX.pkg) を実行します。  
» セットアップウィザードが表示されます。
- 4 画面上に表示された指示に従い、ワイヤレスマネージャーをインストールします。  
» ワイヤレスマネージャーは「アプリケーション」フォルダにインストールされます。

# ワイヤレスマネージャーと機器の接続

## 機器との接続のしかた

- 1 パソコンのファイアウォール設定を行います。
- 2 パソコンと機器のネットワーク設定を行います。
- 3 ワイヤレスマネージャーがインストールされたパソコンと機器を接続します。
- 4 ワイヤレスマネージャーを起動します。
  - 対応した機器を検出すると、自動的に「同期していない機器」画面が表示されます。詳しくは、「ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた」(p.78)を確認してください。



- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアによっては、セットアップの途中で通信の許可を求める確認画面が表示されます。その場合は、通信を許可してください。

## 機器と接続できない場合

機器と接続できない場合は、次の点について確認してください。

- お使いのパソコンのファイアウォールやセキュリティソフトのファイアウォールの影響によって、ワイヤレスマネージャーが正しく動作しない場合があります。その場合は、ファイアウォールの設定を確認し、ワイヤレスマネージャーの通信を許可してください。
- ワイヤレスマネージャーはIPマルチキャストを使用しています。お使いのネットワーク環境で、マルチキャストのIPアドレス/ポート番号がブロックされていないか確認してください。

## ファイアウォールの設定について (Windows 11/Windows 10の場合)

- 1 スタートメニューから「Windowsセキュリティ」をクリックします。
- 2 「ファイアウォールとネットワーク保護」をクリックします。
- 3 「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」をクリックします。
- 4 「Wireless Manager」のドメイン、プライベート、パブリックのすべての項目にチェックが入っているか確認します。
  - チェックが入っていない場合は、すべての項目にチェックを入れてください。

## ワイヤレスマネージャーと機器の接続

### 5 「OK」をクリックします。



- 「Wireless Manager」が一覧に出ていない場合は、「別のアプリの許可」をクリックして、「Wireless Manager」を追加してください。リストに出てこない場合は場所を指定する必要があります。次の場所のファイルを指定してください。  
C:\Program Files\Audio-Technica\Wireless Manager  
ファイル名：WirelessManager.exe

## ファイアウォールの設定について（Macの場合）

- 1 Dockまたはアプリケーションフォルダから「システム環境設定」をクリックします。
- 2 「セキュリティとプライバシー」をクリックし、「ファイアウォール」タブをクリックします。
  - 変更する前に、パスワードの入力を求められる場合があります。その際は、カギ（lock）をクリックして、パスワードを入力してください。
- 3 「ファイアウォールオプション...」をクリックします。
- 4 ワイヤレスマネージャーが、ファイアウォール経由での接続を許可されているか確認します。
  - 「Wireless Manager」が表示されていない場合は、リストの下にある「+」ボタンをクリックします。
- 5 アプリケーションのリストから「Wireless Manager」を選択し、「追加」をクリックします。
  - » リスト内の「Wireless Manager」のインジケーターが緑色になり、接続が許可されます。

## ネットワークの設定について

工場出荷時、レシーバー（ESW-R4180DAN）、ミキサー（Audio-Technica LINK対応）、充電器のIPアドレスは「Auto」に設定されていますので、IPアドレスを自動的に取得して接続します。IPアドレスを固定して接続する場合は次の操作を行ってください。

### IPアドレスを固定して使用する

- 1 パソコンのIPアドレス設定を自動取得にして、イーサネット接続でネットワークに接続します。
- 2 ワイヤレスマネージャーを起動します。

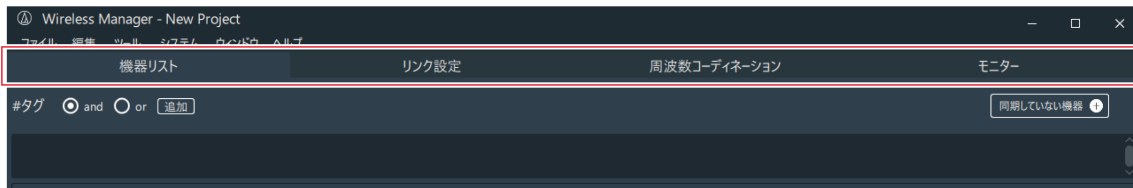
## ワイヤレスマネージャーと機器の接続

- 3** ワイヤレスマネージャーがインストールされたパソコンと機器を接続します。
- 4** ワイヤレスマネージャーの「機器設定」>「ネットワーク」>「IP設定」の各項目を設定します。
  - 「モード」を「Static」にします。
  - 各機器に固有のIPアドレスを割り当てます。
  - すべての機器に特定のサブネットマスクを割り当てます。
  - 機器のIPアドレスがIPv4の設定基準を満たしていることを確認します。

≫ 設定変更後、メッセージが表示されて機器が自動的に再起動されます。
- 5** パソコンのIPアドレス設定を固定にして、IPアドレスとサブネットマスクを割り当てます。
- 6** 再度ワイヤレスマネージャーを起動します。

# ワイヤレスマネージャーの主な画面の見かた

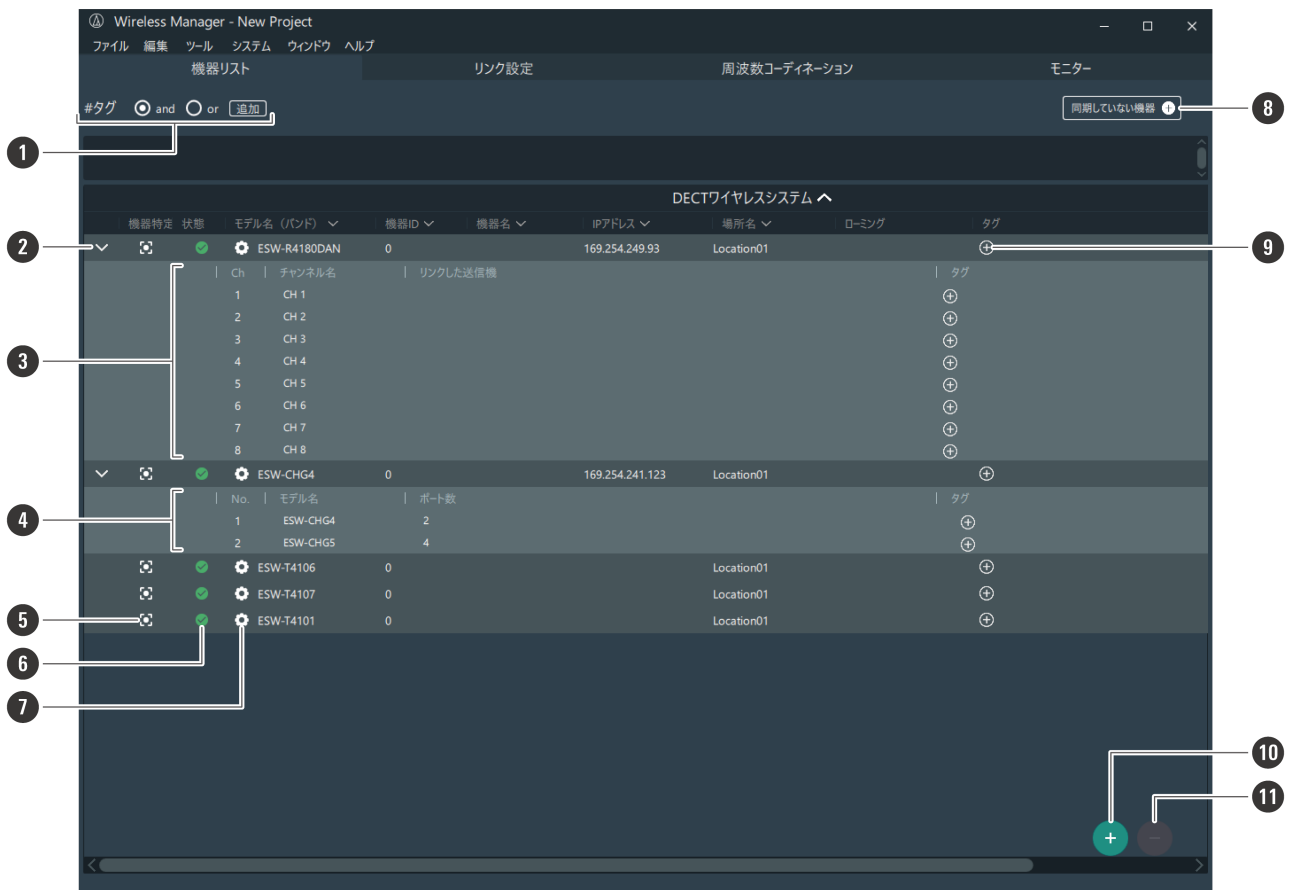
タブをクリックすると、各画面に切り替えることができます。



- 本システムでは、「周波数コーディネーション」画面は使用しません。

## 「機器リスト」画面

機器リストの作成や機器設定を行います。オンライン接続時は、機器との同期操作により、設定値を同期できます。



### 1 タグ

タグを作成できます。作成したタグを機器やチャンネルに追加することで、機器リストの絞り込みができます。

and：複数選択したタグがすべて含まれている機器やチャンネルが絞り込まれます。

or：複数選択したタグのうち、いずれかが含まれている機器やチャンネルが絞り込まれます。

## ワイヤレスマネージャーの主な画面の見かた

### 2 機器情報開閉

クリックするたびに、機器情報が閉じたり開いたりします。

### 3 機器情報（レシーバー）

レシーバーの機器情報が表示されます。

Ch：チャンネル番号が表示されます。

チャンネル名：チャンネル名が表示されます。クリックすると、編集することができます。

リンクした送信機：各チャンネルにリンクしたトランスミッターが表示されます。

タグ：作成したタグを各チャンネルに割り当てることができます。

### 4 機器情報（充電器）

充電器の機器情報が表示されます。

モデル名：モデル名が表示されます。

ポート数：充電ポート数が表示されます。

タグ：作成したタグを割り当てることができます。

### 5 機器特定

接続している機器を識別します。クリックすると、該当する機器のインジケーターが点滅します。

### 6 状態

接続している機器の同期状態が表示されます。



：機器とワイヤレスマネージャーが同期していない状態です。



：機器とワイヤレスマネージャーが同期している状態です。



：トランスミッターがレシーバーとリンクしている状態です。



：通信エラーです。アイコンを右クリックして「設定を機器へ再送」をクリックしてください。ワイヤレスマネージャーの設定が機器に反映されます。



：トランスミッターを充電器から取り出している間に、リンク設定が変更された状態です。トランスミッターを充電器に差し込むとリンクが更新されます。

### 7 機器設定

クリックすると、機器設定を行うことができます。詳しくは、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

### 8 同期していない機器

オンラインで認識できる接続機器のうち、機器リストに同期されていない機器が表示されます。

### 9 タグ

作成したタグを機器に割り当てることができます。

### 10 追加 (+) ボタン

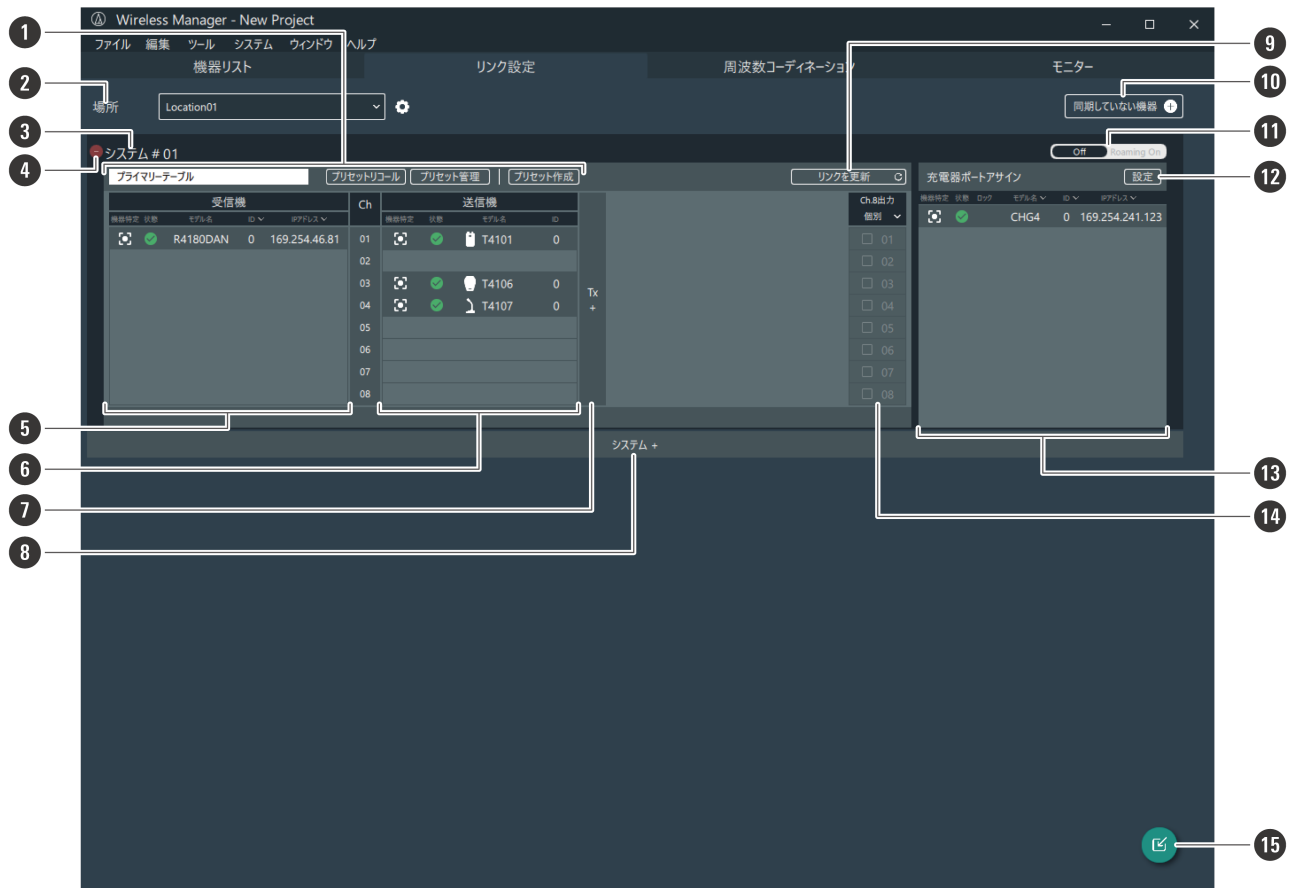
クリックすると、機器リストに機器を追加できます。詳しくは、「機器リストを作成する」(p.78)を確認してください。

### 11 削除 (-) ボタン

機器を選択してクリックすると、選択した機器を削除できます。

## 「リンク設定」画面

システムごとに機器のリンク設定を行います。ミックスアウトの設定、充電器のポートアサインの設定、ローミング使用モードへの切り替えもできます。



### 1 プリセット

適用しているプリセットが表示されます。また、プリセットの呼び出し・管理・新規作成・編集を行います。詳しくは、「プリセットについて」(p.107)を確認してください。

### 2 場所

必要に応じて、本システムを設置する場所名を設定します。詳しくは、「場所名を設定する」(p.116)を確認してください。

### 3 システム

システムごとにリンク設定を行います。

### 4 削除（-）ボタン

クリックすると、システムを削除できます。

### 5 レシーバーエリア

レシーバーを登録するエリアです。

### 6 トランスミッターエリア

トランスミッターを登録するエリアです。

## ワイヤレスマネージャーの主な画面の見かた

### 7 エリア追加ボタン

クリックすると、トランスミッターエリアを追加できます。

### 8 システム追加ボタン

クリックすると、システムを追加できます。

### 9 リンクを更新

レシーバーとトランスミッターのリンク設定を更新します。正しくリンクされないときに、このボタンをクリックすると改善される場合があります。

### 10 同期していない機器

オンラインで認識できる接続機器のうち、機器リストに同期されていない機器が表示されます。

### 11 Off/Roaming On

クリックすると、ローミング使用モードに切り替えることができます。詳しくは、「ローミング使用モードについて (ESW-R4180DANのみ)」(p.112)を確認してください。

### 12 設定

充電器のポートアサインを設定します。詳しくは、「充電器のポートアサインを設定する」(p.117)を確認してください。

### 13 充電器エリア

充電器を登録するエリアです。

### 14 ミックスアウト設定エリア

ミックスアウトを設定します。詳しくは、「ミックスアウトを設定する」(p.83)を確認してください。

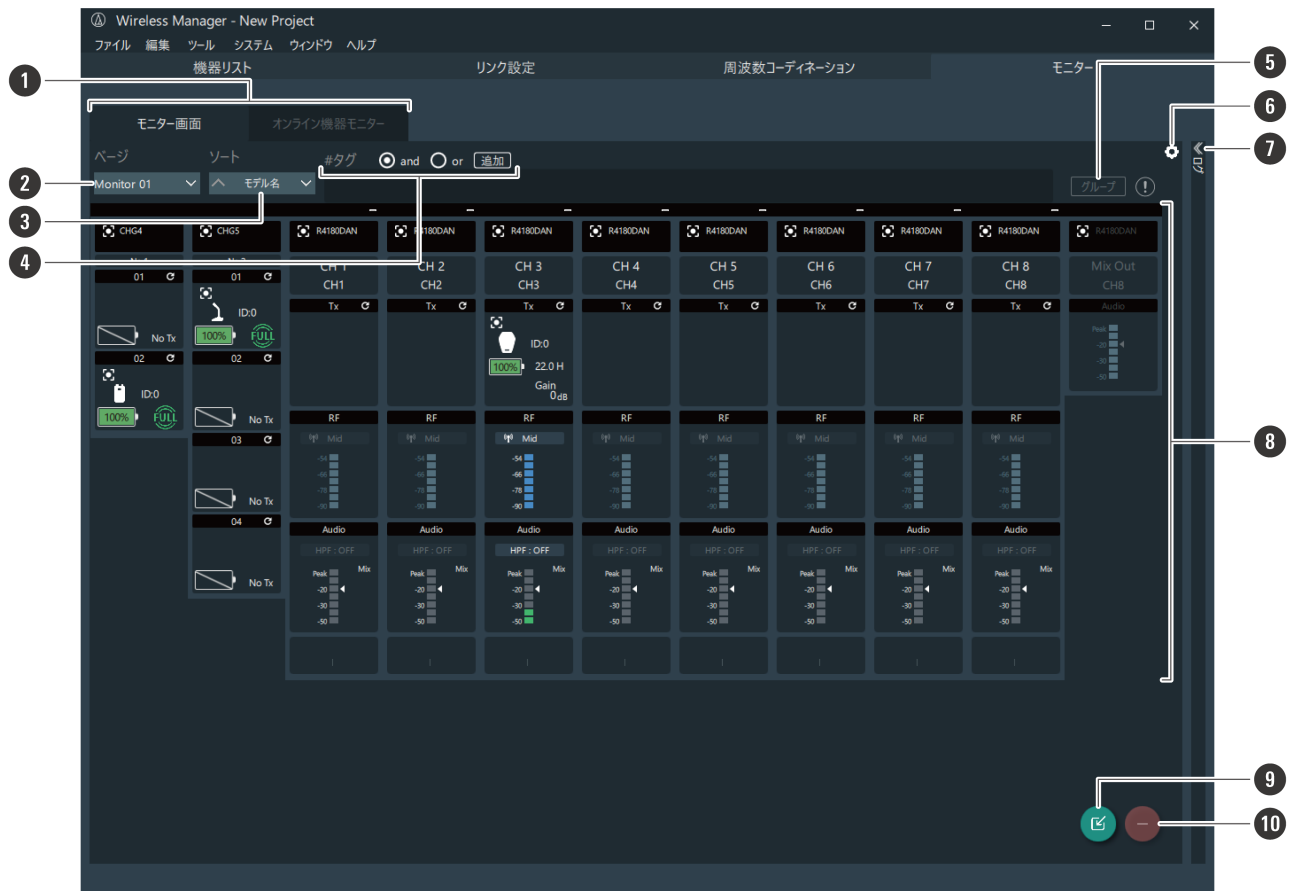
### 15 インポートボタン

作成した機器リストから機器をリンク設定します。詳しくは、「機器リストに追加された機器にリンク設定する」(p.81)を確認してください。

## 「モニター」画面

チャンネルの名称、受信レベルやオーディオ出力レベルがモニタリングできます。トランスミッターの電池残量なども表示されます。また、充電器に差し込んでいるトランスミッターの充電状況も表示されます。

# ワイヤレスマネージャーの主な画面の見かた



## 1 画面切り替えタブ

クリックして、画面を切り替えます。

「モニター画面」：機器リストで任意に選択した機器をモニターします。

「オンライン機器モニター」：機器リスト上で、オンライン状態になっている機器のみをモニターします。

## 2 ページ

「モニター設定」画面で作成したモニターページに切り替えることができます。

## 3 ソート

チャンネルの表示を並び替えます。

## 4 タグ

タグを作成できます。作成したタグを機器やチャンネルに追加することで、機器リストの絞り込みができます。

and：複数選択したタグがすべて含まれている機器やチャンネルが絞り込まれます。

or：複数選択したタグのうち、いずれかが含まれている機器やチャンネルが絞り込まれます。

## 5 グループ

チャンネルを複数選択してクリックすると、グループ化できます。詳しくは、「モニターをグループ化する」(p.89)を確認してください。

## 6 モニター設定

クリックすると、モニター設定を行うことができます。詳しくは、「モニター設定をする」(p.90)を確認してください。

## ワイヤレスマネージャーの主な画面の見かた

### 7 ログ

接続している機器のログが表示されます。

### 8 モニター

各チャンネルのステータスが表示されます。各チャンネルをドラッグ&ドロップで任意の配置に変更できます。詳しくは、「機器をモニターする」(p.85)を確認してください。

### 9 インポートボタン

クリックすると、モニターするチャンネルを追加できます。詳しくは、「モニターを追加する」(p.85)を確認してください。

### 10 削除 (-) ボタン

チャンネルを選択してクリックすると、選択したチャンネルを削除できます。

# ワイヤレスマネージャーの使いかたの流れ

ここではオンライン環境とオフライン環境の基本的な使いかたの流れを説明します。

ネットワークの状態	説明
オンライン環境	パソコンと機器が同じネットワークに接続されている状態です。ネットワーク内で検出された機器から簡単に機器リストの作成やリンク設定を行うことができます。また、設定を機器に反映したり、モニターを行ったりすることができます。
オフライン環境	パソコンと機器が同じネットワークに接続されていない状態です。機器リストの作成やリンク設定を行うことができます。

## オンライン環境で使用する

「機器との接続のしかた」(p.67)を確認してパソコンと機器をあらかじめ設定してください。

### 機器リストを作成する

オンライン環境で「同期していない機器」画面から機器リストを作成します。

- 1 「同期していない機器」から機器リストを作成します（「機器リスト」画面）。
- 2 「機器のインポート」からリンク設定します（「リンク設定」画面）。
- 3 機器をモニターします（「モニター」画面）。

### 機器リストを作成しないで直接リンク設定を行う

オンライン環境で「同期していない機器」画面からリンク設定を行います。

- 1 「同期していない機器」からリンク設定します（「リンク設定」画面）。
- 2 機器をモニターします（「モニター」画面）。

## オフライン環境で使用する

オフライン環境で機器リストの作成とリンク設定を行っておき、オンライン環境で機器に反映します。

## ワイヤレスマネージャーの使いかたの流れ

- 1 「機器追加」から機器リストを作成します（「機器リスト」画面）。
- 2 「機器のインポート」からリンク設定します（「リンク設定」画面）。
- 3 オンライン環境で接続機器に設定を反映させます。
- 4 機器をモニターします（「モニター」画面）。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

## 機器リストを作成する

「同期していない機器」から機器リストを作成する

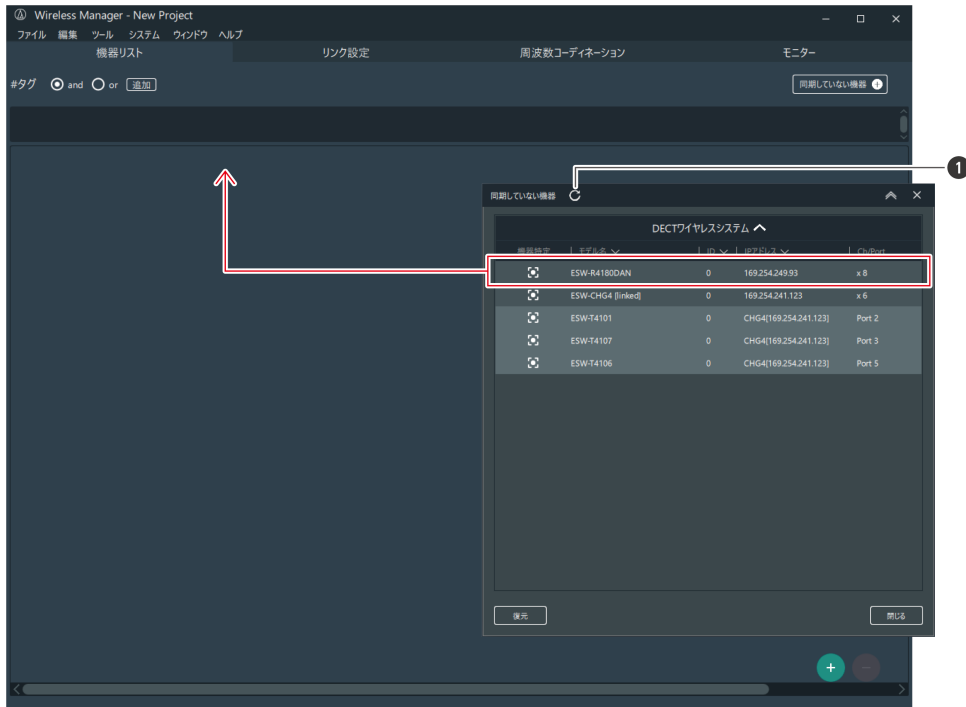
1 「機器リスト」画面の「同期していない機器」をクリックします。

- オンライン環境で接続機器を検出すると、自動的に「同期していない機器」画面が表示されます。オンラインで認識できる接続機器のうち、機器リストに同期されていない機器が表示されます。



2 機器リストに追加したい機器を選択したままドラッグし、「機器リスト」画面にドロップします。

- 更新ボタンをクリックすると、同じネットワーク内にある機器の表示を更新できます。
- 「復元」をクリックすると、機器側の情報を読み込んでワイヤレスマネージャーに反映させます。機器リストに機器を追加していない状態で行ってください。



① 更新ボタン

≫ 選択した機器が「機器リスト」画面に追加されます。

3 「同期していない機器」画面の「閉じる」をクリックして、画面を閉じます。

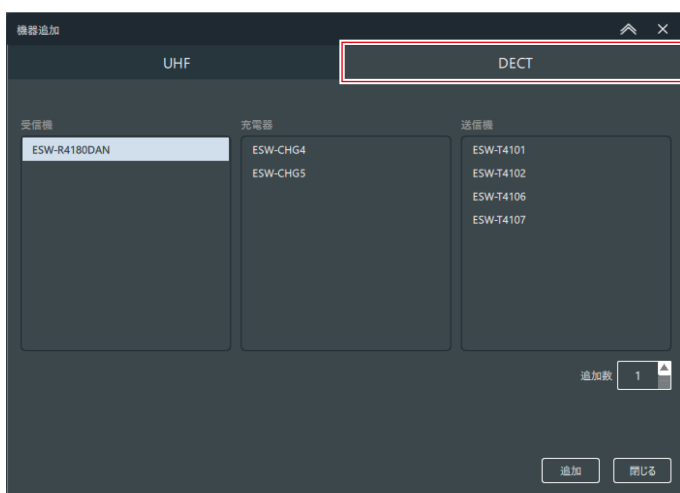
# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

## 「機器追加」から機器リストを作成する

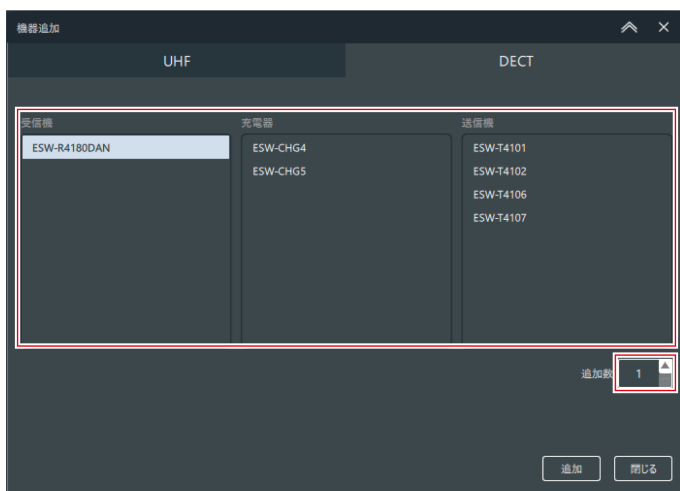
- 1 「機器リスト」画面の追加（+）ボタンをクリックします。



- 2 「DECT」をクリックして、表示を切り替えます。



- 3 「受信機」・「充電器」・「送信機」から機器リストに追加する機器を選択し、「追加数」を入力します。



- 4 「追加」をクリックします。  
≫ 選択した機器が「機器リスト」画面に追加されます。

## ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

- 5 「閉じる」をクリックして、「機器追加」画面を閉じます。

### 機器をリンク設定する

「リンク設定」画面でレシーバーとトランスミッターを同じシステムに登録します（リンク設定）。充電器に登録すると、リンクボタンのポートアサイン設定を行うことができます。

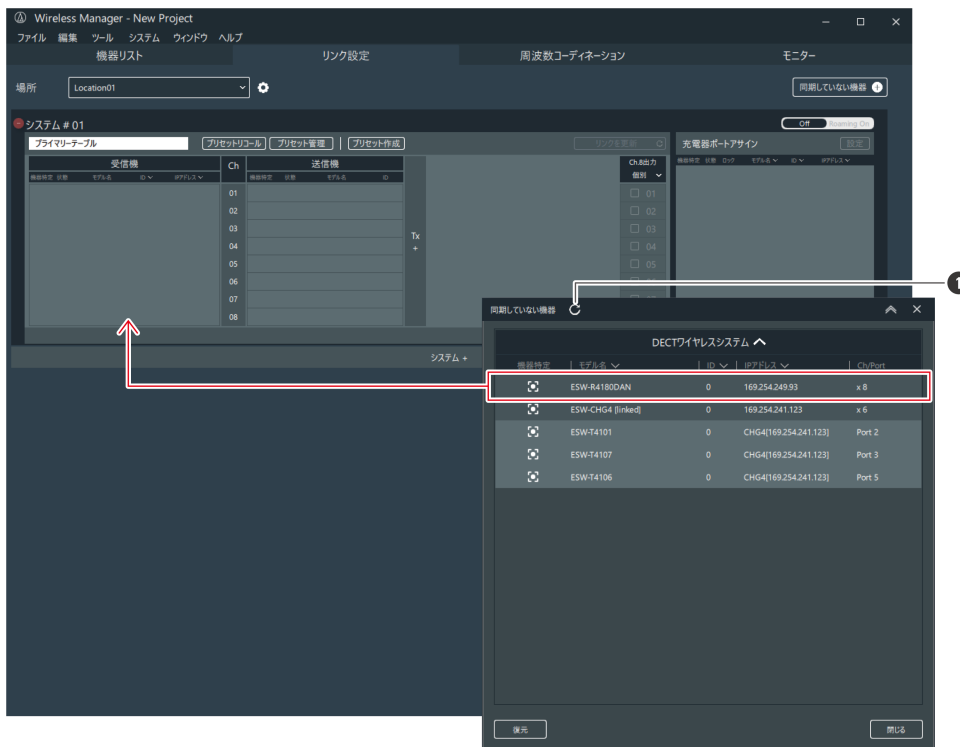
#### 「同期していない機器」からリンク設定する

- 1 「リンク設定」画面の「同期していない機器」をクリックします。
  - オンライン環境で接続機器を検出すると、自動的に「同期していない機器」画面が表示されます。オンラインで認識できる接続機器のうち、機器リストに同期されていない機器が表示されます。



- 2 リンク設定したい機器を選択したままドラッグして、「リンク設定」画面の各エリアにドロップします。
  - 更新ボタンをクリックすると、同じネットワーク内にある機器の表示を更新できます。
  - 1つの機器を複数登録することはできません。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた



① 更新ボタン

≫ 機器がリンク設定されます。

3 「同期していない機器」画面の「閉じる」をクリックして、画面を閉じます。



- 「同期していない機器」からリンク設定すると、機器リストにも機器が追加されます。
- 一度リンク設定したトランスミッターを、ドラッグ&ドロップして別のチャンネルにリンク設定し直すことができます。
- リンク設定した機器を右クリックして「登録を解除」をクリックすると、リンク設定が解除されます（登録を解除しても機器リストからは削除されません）。



- 処理中の画面が表示されているときは、トランスミッターを取り出さないでください。
- リンク設定の編集を行う場合は、必ずトランスミッターをオンライン状態の充電器に置いた状態で行い、レシーバーとトランスミッターのリンク情報が同時に更新されるようにしてください。暗号化キーが一致せず、正常にリンクされないことがあります。

## 機器リストに追加された機器にリンク設定する

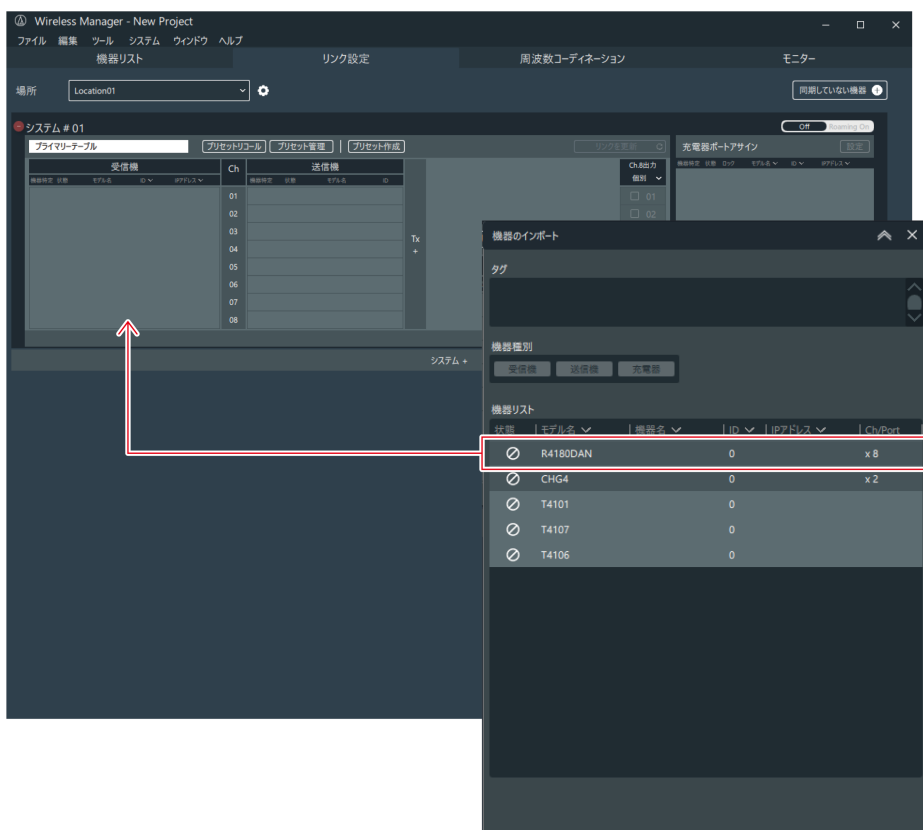
1 「リンク設定」画面のインポートボタンをクリックします。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた



## 2 登録したい機器を選択したままドラッグし、「リンク設定」画面の各エリアにドロップします。

- 「タグ」や「機器種別」で、「機器リスト」に表示される機器の絞り込みができます。
- 1つの機器を複数登録することはできません。



≫ 機器がリンク設定されます。

## 3 「機器のインポート」画面の赤枠部分をクリックして、画面を閉じます。



- 一度リンク設定したトランスミッターを、ドラッグ&ドロップして別のチャンネルにリンク設定し直すことができます。
- リンク設定した機器を右クリックして「登録を解除」をクリックすると、リンク設定が解除されます（登録を解除しても機器リストからは削除されません）。

## ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

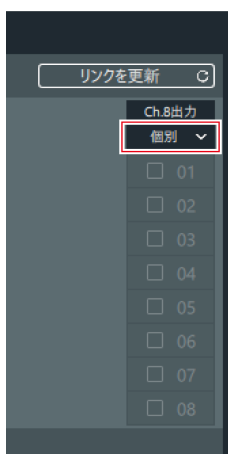


- 処理中の画面が表示されているときは、トランスミッターを取り出さないでください。
- リンク設定の編集を行う場合は、必ずトランスミッターをオンライン状態の充電器に置いた状態で行い、レシーバーとトランスミッターのリンク情報が同時に更新されるようにしてください。暗号化キーが一致せず、正常にリンクされないことがあります。

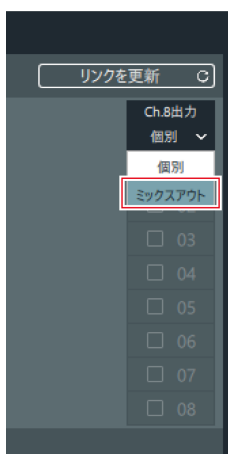
## ミックスアウトを設定する

- ESW-R4180DANでは「ミックスアウト」と「個別」でch.8から出力される音声が異なります。「ミックスアウト」に設定すると、ch.1～ch.8の中で選択したチャンネルの音声がch.8からミックスして出力されます。「個別」に設定すると、ch.8の音声が出力されます。
- ESW-R4180LKではch.9がミックスアウト用チャンネルとなっており、ch.1～ch.8の中で選択したチャンネルの音声がch.9からミックスして出力されます。

1 「リンク設定」画面の赤枠部分をクリックします。（ESW-R4180DANのみ）

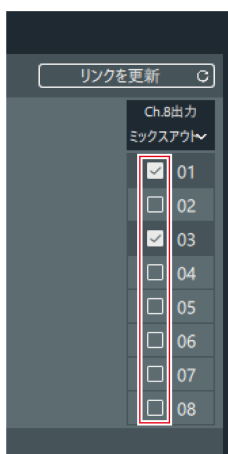


2 プルダウンから「ミックスアウト」をクリックします。（ESW-R4180DANのみ）



## ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

- 3 チェックボックスをクリックして、ミックスアウトに設定するチャンネルを選択します。



- ミックスアウトに設定した場合も、Ch.1～Ch.7は個別で出力されます。

## オンラインの接続機器に設定を反映させる

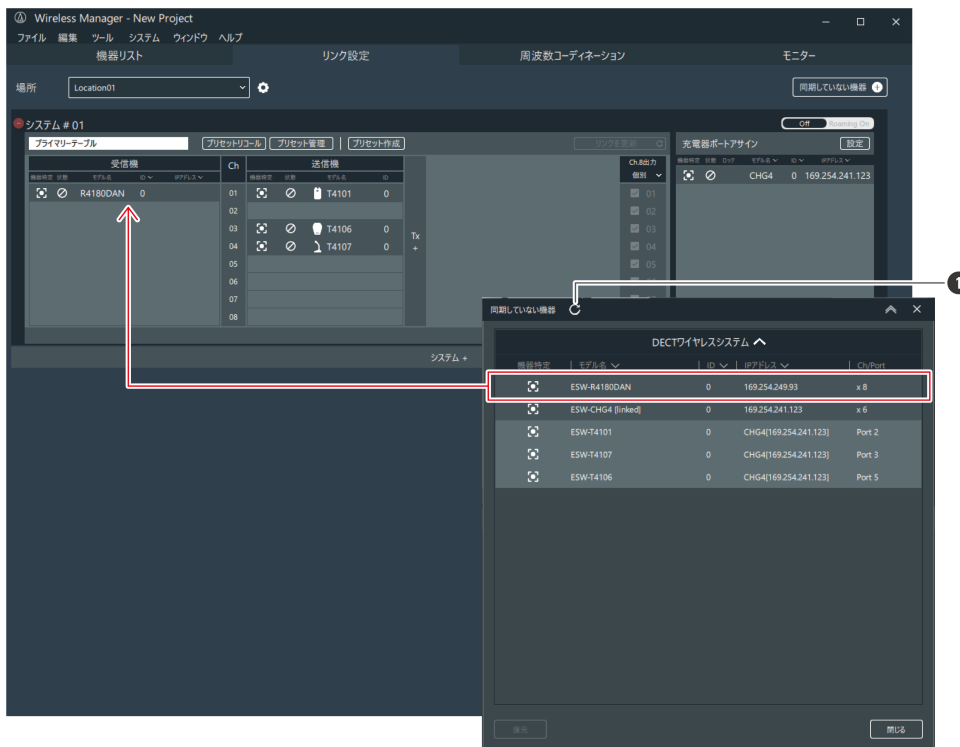
オフライン環境で事前に機器リストの作成やリンク設定を行ったあと、実際の運用環境でオンラインの接続機器への設定反映が必要です。

- 実際の運用環境でオンラインの接続機器を検出すると「同期していない機器」画面が表示されます。

- 1 リストから接続機器を選択したまま、ドラッグして「機器リスト」または「リンク設定」画面の設定を反映させたい接続機器にドロップします。

- 更新ボタンをクリックすると、同じネットワーク内にある機器の表示を更新できます。
- 異なるモデル、あるいは異なる機器IDやIPアドレスが設定されている場合にはドロップすることができません。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた



1 更新ボタン

2 反映させる項目を設定します。

項目名	説明
ソフトウェア（ネットワーク設定を除く）	あらかじめ作成していた機器設定を保持します。ただし、ネットワーク設定は反映されません。ネットワーク設定を変更したい場合は、機器設定画面での変更が必要です。
接続機器	オンラインの接続機器側の設定を反映します。

• リンク設定の情報は、必ずワイヤレスマネージャーの設定が反映されます。

## 機器をモニターする

### モニターを追加する

機器リストで任意に選択した機器をモニターします。

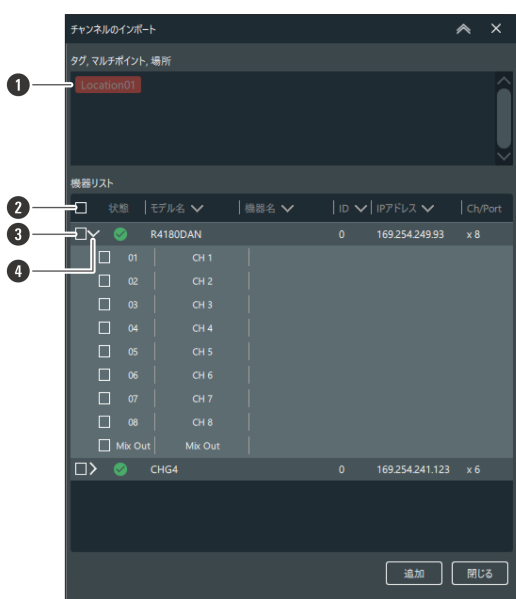
- 「オンライン機器モニター」画面では使用できません。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

- 1 「モニター」画面のインポートボタンをクリックします。



- 2 モニターしたい機器・チャンネルを選択します。



- 1 表示される機器をタグや場所で絞り込みできます。
- 2 すべてを選択/選択解除します。
- 3 追加する機器・チャンネルを選択します。
- 4 機器のリストを開きます。機器のリストを開くと、チャンネルを選択できます。

- 3 「追加」をクリックします。

≫ 「モニター」画面に選択した機器・チャンネルのモニターが追加されます。

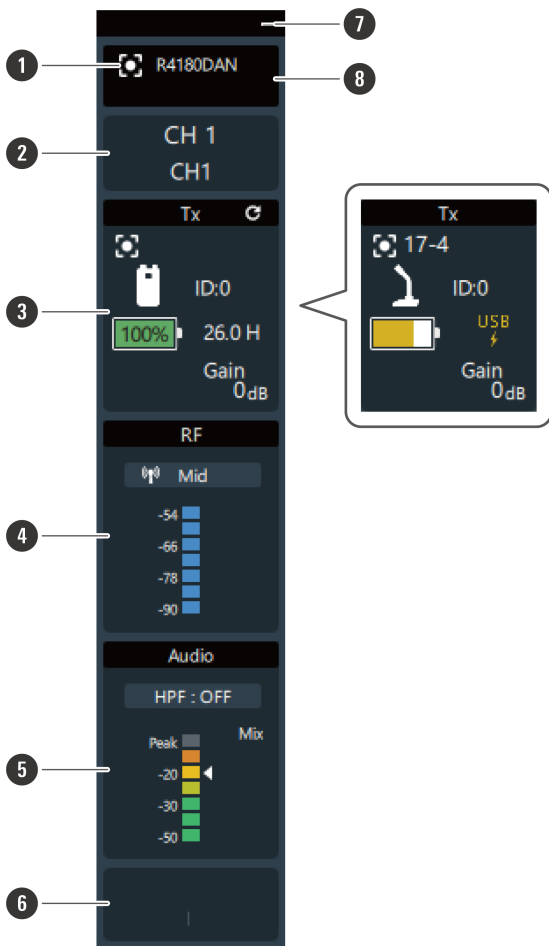
- 4 「閉じる」をクリックして、「チャンネルのインポート」画面を閉じます。



• 各モニターをドラッグ&ドロップして、任意に配置することができます。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

## レシーバーモニターの見かた



### 1 機器特定

接続している機器を識別します。クリックすると、該当する機器のインジケーターが点滅します。

### 2 チャンネル

チャンネル名・チャンネル番号が表示されます。

### 3 Tx

リンクしているトランスミッターの機器名・機器ID・ゲイン・電池残量・使用可能時間・ミュート状態が表示されます。右クリックすると、トランスミッターの機器設定を開くことができます。

USB充電時は電池残量のパーセンテージは表示されません。

### 4 RF

「送信出力」の設定・RFレベルが表示されます。右クリックすると、レシーバーの機器設定を開くことができます。

### 5 Audio

ハイパスフィルターのOFF/カットオフ周波数とレシーバーのオーディオレベルが表示されます。右クリックすると、レシーバーの機器設定を開くことができます。

### 6 設定状況

プリセット名・RFモード・ローミング設定が表示されます。

## ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

### 7 表示サイズ切り替え

クリックすると、表示サイズを切り替えることができます。

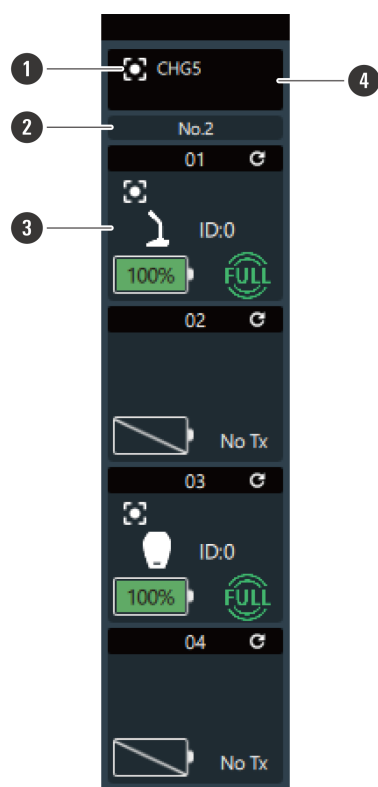
### 8 モデル名

レシーバーのモデル名が表示されます。



- 表示される使用可能時間は目安です。表示される時間の使用を、必ずしも保証するものではありません。

## 充電器モニターの見かた



### 1 機器特定

接続している機器を識別します。クリックすると、該当する機器のインジケーターが点滅します。

### 2 充電器番号

充電器の番号が表示されます。連結している場合、ACアダプターが接続されている充電器から順番に番号が割り当てられます。

### 3 充電状況

充電器のポート番号とトランスミッターの機器名・機器ID・充電状況・満充電までの充電時間が表示されます。右クリックすると、トランスミッターまたは充電器の機器設定を開くことができます。電池マークを右クリックすると、「充電サイクル回数」、「ヘルスステータス」、「温度」が表示されます。

充電サイクル回数：ある一定量の充電を行うと回数がカウントされます。

ヘルスステータス：電池の劣化の度合い

温度：充電時の電池の温度

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた

## 4 モデル名

充電器のモデル名が表示されます。



- 表示される充電時間は目安です。充電しているトランスミッターの台数によって、表示される時間が変わる場合があります。
- 充電サイクル回数、ヘルスステータス、温度は目安です。
- 表示される充電時間、パーセンテージ表示は目安です。そのため、充電時の充電器モニターに表示されるパーセンテージ表示と、使用時にレシーバーモニターに表示される電池残量のパーセンテージ表示は差がある場合があります。

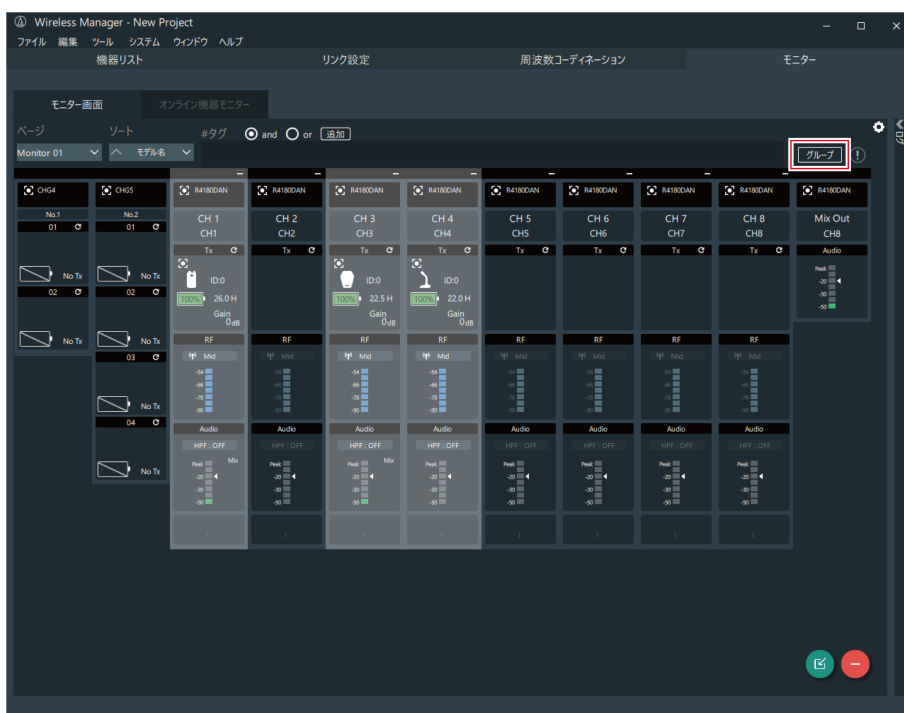
## モニターをグループ化する

任意のモニターをグループ化して、グループ名と色を付けることができます。

- 「オンライン機器モニター」画面では使用できません。

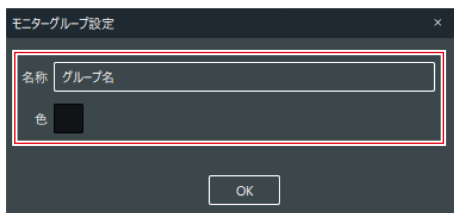
1 Ctrlキーまたはcommandキーを押しながらクリックして、グループ化するモニターを複数選択します。

2 「グループ」をクリックまたは選択しているモニターを右クリックします。



3 グループの名称を入力し、色を選択します。

## ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた



**4** 「OK」をクリックします。

≫ 選択したモニターがグループ化されます。



- グループ化したモニターを右クリックすると、グループ化を解除できます。
- グループの歯車マークをクリックすると、「モニターグループ設定」画面が表示されます。

### モニター設定をする

モニターの表示のしかたを設定できます。

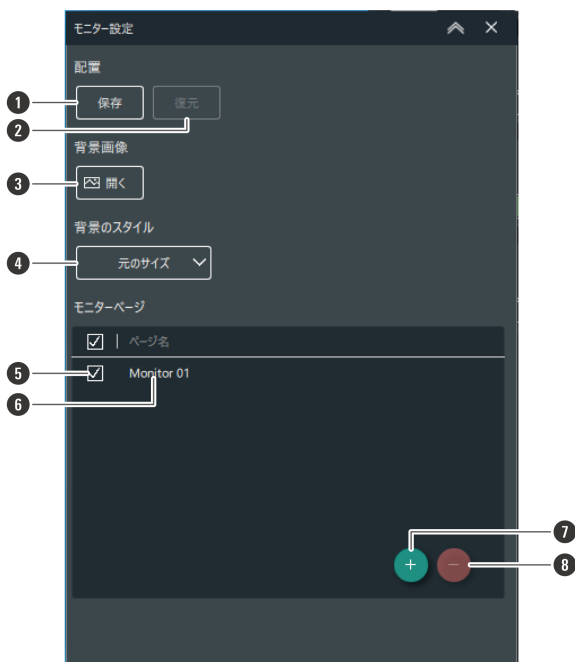
- 「オンライン機器モニター」画面では使用できません。

**1** 赤枠部分をクリックします。



**2** モニター設定を行います。

# ワイヤレスマネージャーの基本的な使いかた



- 1 現在の配置を保存します。
- 2 保存した配置に戻します。
- 3 モニターの背景に表示される画像ファイルを選択します。「x」をクリックすると、表示された背景画像を削除できます。
- 4 背景画像の表示のしかたを設定します。  
元のサイズ：背景画像が元のサイズのまま表示されます。  
画面サイズ：背景画像が画面サイズに合わせて表示されます。  
繰り返し：背景画像が元のサイズのまま繰り返し表示されます。
- 5 チェックボックスで選択しているモニターページを「モニター画面」の「ページ」で切り替えることができます。
- 6 クリックすると、ページ名を変更できます。
- 7 モニターページを追加します。
- 8 選択しているモニターページを削除します。

## 3 「モニター設定」画面の赤枠部分をクリックして、画面を閉じます。



# ワイヤレスマネージャーの機器設定

## 「機器設定」画面の開きかた

「機器設定」画面は、次の方法で開くことができます。

### メニューから開く

- 1 「編集」 > 「機器」 > 「機器設定」をクリックします。



### 「機器リスト」画面から開く

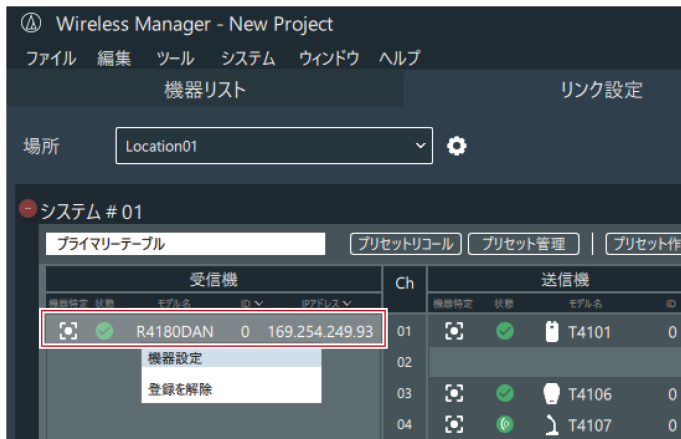
- 1 赤枠部分をクリックします。



# ワイヤレスマネージャーの機器設定

## 「リンク設定」画面から開く

- 1 赤枠部分を右クリックして、「機器設定」をクリックします。



## 「モニター」画面から開く

- 1 赤枠部分を右クリックして、各機器設定をクリックします。

# ワイヤレスマネージャーの機器設定



## ESW-R4180LK

### システム

項目名	説明
機器ID	レシーバーのID番号を設定します。複数のAudio-Technica LINK機器を同時に使用する場合は重複しない番号を設定してください。
機器名	レシーバーの名称を設定します（任意）。
場所	「リンク設定」画面で設定した場所名が表示されます。
チャンネル名	各チャンネルの名称を設定します（任意）。
RFモード	DECTの通信モードを設定します。「HDモード」では、音声の伝送レートを下げることで「スタンダード」選択時よりも多チャンネルでの同時運用ができます。
送信出力	送信出力を設定します。
LED	レシーバーのステータスインジケータ・リンクインジケータの表示のON/OFFを設定します。
プリセット呼び出し連動	プリセット呼び出しをAudio-Technica LINK機器間で連動するかどうかを設定します。ATDMシリーズのミキサーで「プリセット呼び出し連動」をONにする必要があります。
デフォルト値に戻す	「システム」の設定をデフォルト値に戻します。
バージョン情報	モデル名、DECTモード <sup>[1]</sup> 、ファームウェアバージョン、DECT ID <sup>[2]</sup> が表示されます。
AES256暗号化	AES256によって暗号化されていることを示しています。
ファクトリーリセット	レシーバーのすべての設定を工場出荷状態に戻します。
再起動	レシーバーを再起動します。

[1] 使用する国や地域に合わせて設定されたモードです。2桁の番号で表示されます。

[2] レシーバー/トランスミッターの固有識別IDです。

### オーディオ

項目名	説明
All Mute	すべてのチャンネルのミュート（赤色）/ミュート解除（色なし）を一括で設定します。
チャンネルミュート	各チャンネルのミュート（赤色）/ミュート解除（色なし）を設定します。
チャンネル音量	各チャンネルの音量を設定します。
ハイパスフィルタ	ハイパスフィルタのOFF/カットオフ周波数を設定します。
メーター設定	Pre：トランスミッターからの入力レベルをモニターに表示します。 Post：レシーバーの出力レベルをモニターに表示します。
デフォルト値に戻す	「オーディオ」の設定をデフォルト値に戻します。

## ワイヤレスマネージャーの機器設定

### ネットワーク

項目名	説明
ミキサー情報	<p>ミキサーモデル名：接続しているミキサーを識別します。クリックすると、該当するミキサーのインジケーターが点滅します。</p> <p>機器ID：ミキサーに設定している機器IDが表示されます。</p> <p>機器名：ミキサーに設定している機器名が表示されます。</p> <p>IPアドレス：IPアドレスが表示されます。</p> <p>Topology No：Audio-Technica LINK対応機器の接続状態で決定される、機器固有の識別番号です。</p> <p>ポート番号：IPコントロールポートの番号が表示されます。</p> <p>マルチキャストアドレス：マルチキャストのアドレスが表示されます。</p> <p>マルチキャストポート番号：マルチキャストのポート番号が表示されます。</p>
リモート制御	<p>レベル通知：レシーバーからのRFレベルとオーディオレベルの通知のON/OFFを設定します。</p>
Syslog	<p>ログメッセージをSyslogサーバーに転送するかを設定します。Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピューターシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。</p>
Macアドレス	<p>Macアドレスが表示されます。</p>

## ESW-R4180DAN

### システム

項目名	説明
機器ID	レシーバーのID番号を設定します。複数のレシーバーを同時に使用する場合は重複しない番号を設定してください。
機器名	レシーバーの名称を設定します（任意）。
場所	「リンク設定」画面で設定した場所名が表示されます。
チャンネル名	各チャンネルの名称を設定します（任意）。Danteチャンネルのラベルをチャンネル名に反映させることができます。
ローミング	ローミング機能のON/OFFが表示されます。
ローミングスレッシュホールド	ローミング時にレシーバーが切り替わる受信レベルのしきい値を設定します。
RFモード	DECTの通信モードを設定します。「HDモード」では、音声の伝送レートを下げることで「スタンダード」選択時よりも多チャンネルでの同時運用ができます。
送信出力	送信出力を設定します。
LED	レシーバーのステータスインジケータ・リンクインジケータの表示のON/OFFを設定します。
デフォルト値に戻す	「システム」の設定をデフォルト値に戻します。
バージョン情報	モデル名、DECTモード <sup>[1]</sup> 、ファームウェアバージョン、DECT ID <sup>[2]</sup> が表示されます。
AES256暗号化	AES256によって暗号化されていることを示しています。
ファクトリーリセット	レシーバーのすべての設定を工場出荷状態に戻します。
再起動	レシーバーを再起動します。

[1] 使用する国や地域に合わせて設定されたモードです。2桁の番号で表示されます。

[2] レシーバー/トランスミッターの固有識別IDです。

### オーディオ

項目名	説明
All Mute	すべてのチャンネルのミュート（赤色）/ミュート解除（色なし）を一括で設定します。
チャンネルミュート	各チャンネルのミュート（赤色）/ミュート解除（色なし）を設定します。
チャンネル音量	各チャンネルの音量を設定します。
ハイパスフィルタ	ハイパスフィルタのOFF/カットオフ周波数を設定します。
メーター設定	Pre：トランスミッターからの入力レベルをモニターに表示します。 Post：レシーバーの出力レベルをモニターに表示します。
デフォルト値に戻す	「オーディオ」の設定をデフォルト値に戻します。

# ワイヤレスマネージャの機器設定

## ネットワーク

項目名	説明
IP設定	モード：IPアドレスの取得方法を設定します。「Auto」に設定すると、DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当てます。「Static」に設定すると、固定IPアドレスを指定します。 IPアドレス <sup>[1]</sup> ：IPアドレスを設定します。 サブネットマスク <sup>[1]</sup> ：サブネットマスクを設定します。 ゲートウェイアドレス <sup>[1]</sup> ：ゲートウェイアドレスを設定します。 ポート番号 <sup>[1]</sup> ：IPコントロールポートの番号が表示されます。
リモート制御	レベル通知：レシーバーからのRFレベルとオーディオレベルの通知のON/OFFを設定します。 マルチキャストアドレス：マルチキャストのアドレスを設定します。 マルチキャストポート番号：マルチキャストのポート番号を設定します。 Rx同期ポート：レシーバーの同期に使用するポート番号が表示されます。この番号以外をマルチキャストポート番号に使用してください。
Syslog	ログメッセージをSyslogサーバーに転送するかを設定します。Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピューターシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。
NTP設定	有効化：ネットワークタイムプロトコルのON/OFFを設定します。 サーバーアドレス <sup>[2]</sup> ：サーバーアドレスを設定します。 ポート番号 <sup>[2]</sup> ：ポート番号を設定します。 タイムゾーン <sup>[2]</sup> ：タイムゾーンを設定します。 サマータイム <sup>[2]</sup> ：サマータイムのON/OFFおよび開始日時・終了日時を設定します。
Macアドレス	Macアドレスが表示されます。

[1] 「IP設定」の「モード」を「Static」に設定した場合に設定できます。

[2] 「NTP設定」の「有効化」を「ON」に設定した場合に設定できます。

## Dante

項目名	説明
Dante IP設定	ポートモード：Dante Controllerで設定されたポートモードが表示されます。 IPモード：Dante Controllerで設定されたIPモードが表示されます。 Dante IPアドレス：DanteのIPアドレスが表示されます。
Dante機器/チャンネル名	機器名：Dante Controllerで設定された機器名が表示されます。 チャンネルラベル：Dante Controllerで設定したチャンネル名が表示されます。
Dante情報	Danteモデル、Danteのファームウェアバージョンが表示されます。
Macアドレス (Dante)	Macアドレスが表示されます。

## ESW-T4101 / ESW-T4102

### システム

項目名	説明
機器ID	トランスミッターのID番号を設定します（任意）。
機器名	トランスミッターの名称を設定します（任意）。
場所	「リンク設定」画面で設定した場所名が表示されます。
ゲイン	音声入力の入力ゲインを設定します。ESW-T4101は「外部マイク」と「内蔵マイク」の入力ゲインを設定します。
ミュート	トランスミッターでミュート操作をしたときの動作の有効／無効を設定します。
電池残量アラート <sup>[1]</sup>	電池残量が少なくなるとステータスインジケータが点滅します。電池残量がなくなる何分前に点滅するか、おおよその時間を設定します。 <sup>[2]</sup>
デフォルト値に戻す	「システム」の設定をデフォルト値に戻します。
バージョン情報	モデル名、ファームウェアバージョン、DECT ID <sup>[3]</sup> が表示されます。
ファクトリーリセット	トランスミッターのすべての設定を工場出荷状態に戻します。

[1] 充電器に設置されている場合に表示されます。

[2] 設定値の時間は目安です。使用条件により異なります。

[3] レシーバー／トランスミッターの固有識別IDです。

## ESW-T4106 / ESW-T4107

### システム

項目名	説明
機器ID	トランスミッターのID番号を設定します（任意）。
機器名	トランスミッターの名称を設定します（任意）。
場所	「リンク設定」画面で設定した場所名が表示されます。
ゲイン	音声入力の入力ゲインを設定します。
指向特性 <sup>[1]</sup>	マイクロホンの指向特性を設定します。
デフォルト値に戻す	「システム」の設定をデフォルト値に戻します。
バージョン情報	モデル名、ファームウェアバージョン、DECT ID <sup>[2]</sup> が表示されます。
ファクトリーリセット	トランスミッターのすべての設定を工場出荷状態に戻します。

[1] ESW-T4106の設定項目です。

[2] レシーバー／トランスミッターの固有識別IDです。

## ワイヤレスマネージャの機器設定

### ミュート

項目名	説明
ミュート機能	無効：ミュート操作を無効にします。 有効：ミュート操作を有効にします。
ミュートモード <sup>[1]</sup>	トランスミッターのトークスイッチを押したときの動作を設定します。 トグル：トークスイッチを短押しするたびに、ミュート／ミュート解除が切り替わります。 タッチ・トゥ・トーク：トークスイッチを押している間ミュート解除します。 タッチ・トゥ・ミュート：トークスイッチを押している間ミュートにします。
デフォルトミュート設定（トグル） <sup>[2]</sup>	「ミュートモード」が「トグル」のとき、電源ON時のミュート機能を設定します。 ミュート解除：電源をONにしたとき、ミュート解除になります。 ミュート：電源をONにしたとき、ミュートになります。
ミュートLED色	ミュート時のトークインジケータの表示色を設定します。
ミュート解除LED色	ミュート解除時のトークインジケータの表示色を設定します。
デフォルト値に戻す	「ミュート」の設定をデフォルト値に戻します。

[1] 「ミュート機能」を「有効」に設定した場合に設定できます。

[2] 「ミュートモード」を「トグル」に設定した場合に設定できます。

## ESW-CHG4/ESW-CHG5

### システム

項目名	説明
機器ID	充電器のID番号を設定します（任意）。
機器名	充電器の名称を設定します（任意）。
場所	「リンク設定」画面で設定した場所名が表示されます。
連結した充電器	オフラインでは、連結する充電器を設定します。オンラインでは、連結した充電器が表示されます。
LED	充電器の電源インジケータ・ステータスインジケータの表示のON/OFFを設定します。
充電器リンクボタン	誤操作防止のため、リンクボタンの動作を設定します。 有効：常にロック解除された状態でリンクボタンが使用できます。 ロック：充電器の電源をONにしたとき、リンクボタンは使用できません。リンクボタンを長押し（約2秒）すると、ロックが解除されます。ロック解除した状態で約5秒間操作がないと、再度ロックされます。 無効：常にロックされた状態でリンクボタンは使用できません。ロック解除もできません。
デフォルト値に戻す	「システム」の設定をデフォルト値に戻します。
バージョン情報	モデル名、ファームウェアバージョンが表示されます。
ファクトリーリセット	充電器のすべての設定を工場出荷状態に戻します。

## ワイヤレスマネージャーの機器設定

### ネットワーク

項目名	説明
IP設定	モード：IPアドレスの取得方法を設定します。「Auto」に設定すると、DHCPサーバーなどが自動でIPアドレスを割り当てます。「Static」に設定すると、固定IPアドレスを指定します。 IPアドレス <sup>[1]</sup> ：IPアドレスを設定します。 サブネットマスク <sup>[1]</sup> ：サブネットマスクを設定します。 ゲートウェイアドレス <sup>[1]</sup> ：ゲートウェイアドレスを設定します。 ポート番号 <sup>[1]</sup> ：IPコントロールポートの番号が表示されます。
リモート制御	マルチキャストアドレス：マルチキャストのアドレスを設定します。 マルチキャストポート番号：マルチキャストのポート番号を設定します。 Rx同期ポート：レシーバーの同期に使用するポート番号が表示されます。この番号以外をマルチキャストポート番号に使用してください。
Syslog	ログメッセージをSyslogサーバーに転送するかを設定します。Syslogとは、IPネットワーク上でログメッセージを転送するための標準規格です。コンピューターシステムの管理やセキュリティ監視を目的として使用されています。
NTP設定	有効化：ネットワークタイムプロトコルのON/OFFを設定します。 サーバーアドレス <sup>[2]</sup> ：サーバーアドレスを設定します。 ポート番号 <sup>[2]</sup> ：ポート番号を設定します。 タイムゾーン <sup>[2]</sup> ：タイムゾーンを設定します。 サマータイム <sup>[2]</sup> ：サマータイムのON/OFFおよび開始日時・終了日時を設定します。
Macアドレス	Macアドレスが表示されます。

[1] 「IP設定」の「モード」を「Static」に設定した場合に設定できます。

[2] 「NTP設定」の「有効化」を「ON」に設定した場合に設定できます。

## デフォルト値一覧

### ESW-R4180LK

カテゴリ	項目名		デフォルト値
システム	機器ID		0
	機器名		BLANK
	場所		BLANK
	チャンネル名	Ch1	CH 1
		Ch2	CH 2
		Ch3	CH 3
		Ch4	CH 4
		Ch5	CH 5
		Ch6	CH 6
		Ch7	CH 7
		Ch8	CH 8
RFモード		スタンダード	
送信出力		Mid	
LED		ON	
プリセット呼び出し連動		OFF	
オーディオ	チャンネル音量		0dB
	ハイパスフィルタ		OFF
	メーター設定		Post
ネットワーク	リモート制御	レベル通知	ON
	Syslog		OFF

### ESW-R4180DAN

## ワイヤレスマネージャの機器設定

カテゴリ	項目名		デフォルト値
システム	機器ID		0
	機器名		BLANK
	場所		BLANK
	チャンネル名	Ch1	CH 1
		Ch2	CH 2
		Ch3	CH 3
		Ch4	CH 4
		Ch5	CH 5
		Ch6	CH 6
		Ch7	CH 7
		Ch8	CH 8
	ローミング		OFF
	ローミングスレッシュヨルド		-85dB <sup>[1]</sup>
RFモード		スタンダード	
送信出力		Mid	
LED		ON	
オーディオ	チャンネル音量		0dB
	ハイパスフィルタ		OFF
	メーター設定		Post
ネットワーク	IP設定	モード	Auto
		IPアドレス	192.168.0.20 <sup>[2]</sup>
		サブネットマスク	255.255.255.0 <sup>[2]</sup>
		ゲートウェイアドレス	192.168.0.1 <sup>[2]</sup>
	リモート制御	レベル通知	ON
		マルチキャストアドレス	239.0.0.100
		マルチキャストアドレス ポート番号	17000
	Syslog		OFF
	NTP設定	有効化	OFF
		サーバーアドレス	192.168.0.40 <sup>[3]</sup>
		ポート番号	123 <sup>[3]</sup>
		タイムゾーン	00:00 <sup>[3]</sup>
		サマータイム	OFF <sup>[3]</sup>
	Dante	Dante IP設定	ポートモード
IPモード			Auto

[1] 「ローミング」を「ON」に設定した場合のデフォルト値です。

[2] 「IP設定」の「モード」を「Static」に設定した場合のデフォルト値です。

[3] 「NTP設定」の「有効化」を「ON」に設定した場合のデフォルト値です。

## ワイヤレスマネージャの機器設定

### ESW-T4101

カテゴリ	項目名	デフォルト値	
システム	機器ID	0	
	機器名	BLANK	
	場所	BLANK	
	ゲイン	外部マイク	0dB
		内蔵マイク	0dB
	ミュート	有効	
電池残量アラート	OFF		

### ESW-T4102

カテゴリ	項目名	デフォルト値
システム	機器ID	0
	機器名	BLANK
	場所	BLANK
	ゲイン	0dB
	ミュート	有効
	電池残量アラート	OFF

### ESW-T4106

カテゴリ	項目名	デフォルト値
システム	機器ID	0
	機器名	BLANK
	場所	BLANK
	ゲイン	0dB
	指向特性	単一指向性
	電池残量アラート	OFF
ミュート	ミュート機能	有効
	ミュートモード	トグル
	デフォルトミュート設定 (トグル)	ミュート解除
	ミュートLED色	赤
	ミュート解除LED色	緑

## ワイヤレスマネージャの機器設定

### ESW-T4107

カテゴリ	項目名	デフォルト値
システム	機器ID	0
	機器名	BLANK
	場所	BLANK
	ゲイン	0dB
	電池残量アラート	OFF
ミュート	ミュート機能	有効
	ミュートモード	トグル
	デフォルトミュート設定 (トグル)	ミュート解除
	ミュートLED色	赤
	ミュート解除LED色	緑

### ESW-CHG4/ESW-CHG5

カテゴリ	項目名	デフォルト値	
システム	機器ID	0	
	機器名	BLANK	
	場所	BLANK	
	LED	ON	
	充電器リンクボタン	有効	
ネットワーク	IP設定	モード	Auto
		IPアドレス	192.168.0.20 <sup>[1]</sup>
		サブネットマスク	255.255.255.0 <sup>[1]</sup>
		ゲートウェイアドレス	192.168.0.1 <sup>[1]</sup>
	リモート制御	マルチキャストアドレス	239.0.0.100
		マルチキャストアドレス ポート番号	17000
	Syslog		OFF
	NTP設定	有効化	OFF
		サーバーアドレス	192.168.0.40 <sup>[2]</sup>
		ポート番号	123 <sup>[2]</sup>
		タイムゾーン	00:00 <sup>[2]</sup>
サマータイム		OFF <sup>[2]</sup>	

[1] 「IP設定」の「モード」を「Static」に設定した場合のデフォルト値です。

[2] 「NTP設定」の「有効化」を「ON」に設定した場合のデフォルト値です。

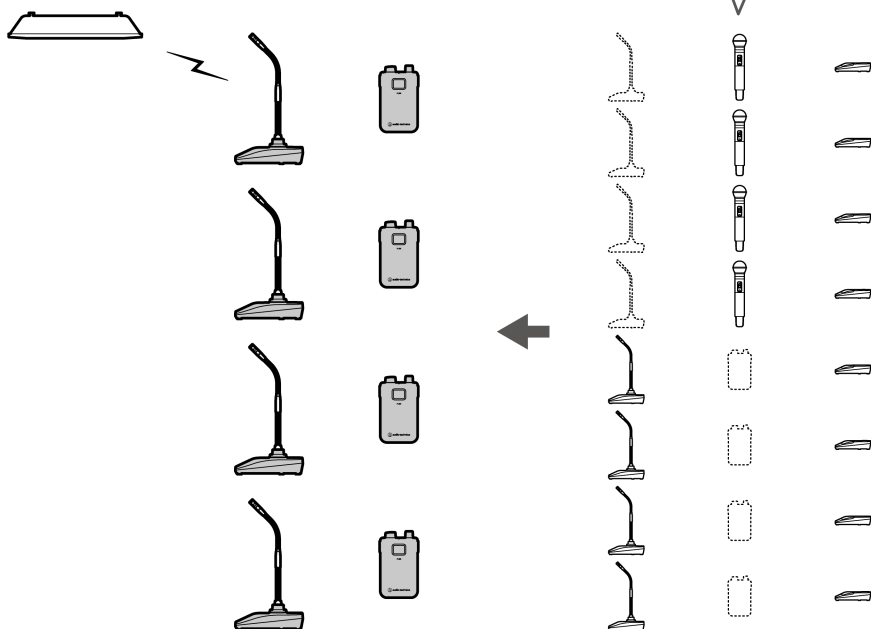
# その他の機能

## トランスミッターのマルチ登録について

マルチ登録とは、1つのチャンネルに複数のトランスミッターを登録する機能です。

- 使用中のトランスミッターの電池残量がなくなった場合などに、すぐにトランスミッターを切り替えることができ、便利に使用していただけます。

受信機				Ch	送信機				送信機				送信機				
機体番号	状態	モデル名	ID	機体番号	状態	モデル名	ID	機体番号	状態	モデル名	ID	機体番号	状態	モデル名	ID		
🔄	🟢	R4180DAN	0	169.254.39.96	01	🔄	🟢	T4107	1	🔄	🟢	T4102	9	🔄	🟡	T4106	17
					02	🔄	🟢	T4107	2	🔄	🟢	T4102	10	🔄	🟡	T4106	18
					03	🔄	🟢	T4107	3	🔄	🟢	T4102	11	🔄	🟡	T4106	19
					04	🔄	🟢	T4107	4	🔄	🟢	T4102	12	🔄	🟡	T4106	20
					05	🔄	🟢	T4107	5	🔄	🟢	T4101	13	🔄	🟡	T4106	21
					06	🔄	🟢	T4107	6	🔄	🟢	T4101	14	🔄	🟡	T4106	22
					07	🔄	🟢	T4107	7	🔄	🟢	T4101	15	🔄	🟡	T4106	23
					08	🔄	🟢	T4107	8	🔄	🟢	T4101	16	🔄	🟡	T4106	24



- マルチ登録したトランスミッターの中から、リンクするトランスミッターを指定してプリセットに保存しておくことができます。詳しくは、「プリセットについて」(p.107)を確認してください。
- すでにトランスミッターがリンクしているチャンネルに、別のトランスミッターを重複してリンクすることはできません。トランスミッターを切り替える場合は、リンクしているトランスミッターの電源を切り、リンクしたいトランスミッターの電源を入れてください。または、リンクしたいトランスミッターの組み合わせを保存したプリセットを呼び出してください(p.110)。
- マルチ登録した複数のトランスミッターを同時に接続しようとした場合、レシーバーと一番早く接続したトランスミッターがリンクします。

### トランスミッターエリアを追加する

トランスミッターをマルチ登録する場合に、トランスミッターエリアを追加します。

- 1つのシステムに、トランスミッターエリアを最大6つまで持つことができます。

1 「リンク設定」画面の赤枠部分をクリックします。

Ch	送信機			
	機器符定	状態	モデル名	ID
01	☒	✔	T4102	9
02	☒	✔	T4102	10
03	☒	✔	T4102	11
04	☒	✔	T4102	12
05	☒	✔	T4101	13
06	☒	✔	T4101	14
07	☒	✔	T4101	15
08	☒	✔	T4101	16

Tx  
+

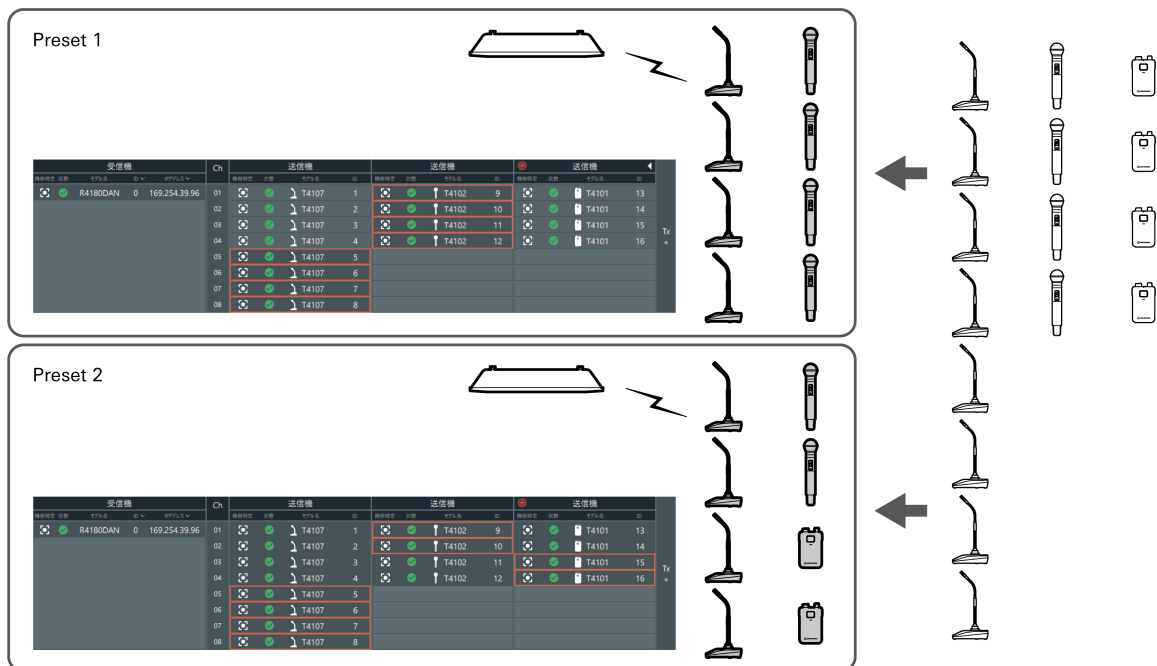
≫トランスミッターエリアが追加され、トランスミッターをマルチ登録することができます。

## プリセットについて

マルチ登録したトランスミッターの中から、リンクするトランスミッターを指定してプリセットに保存できます。

- 使用する場所やシチュエーションごとのプリセットを作成しておくと、便利に使用していただけます。
- プリセットには、ミックスアウトの設定も保存します。
- プリセットを呼び出している場合、指定していないトランスミッターはリンクできません。

## その他の機能



## プリセットを新規作成・編集する

1 「リンク設定」画面の「プリセット作成」をクリックします。

- 呼び出しているプリセットを編集する場合は、「プリセット編集」をクリックします。



2 プリセットに保存する各チャンネルのトランスミッターを選択します。

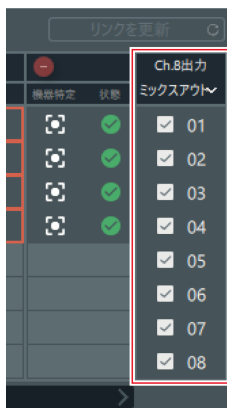
- 赤色の枠が選択しているトランスミッターです。各チャンネルに1台のトランスミッターを選択できます。
- 選択しているトランスミッターをクリックすると、選択が解除されます。

## その他の機能

Ch	送信機				送信機			
	機番指定	状態	モデル名	ID	機番指定	状態	モデル名	ID
01	🔍	✔	T4107	1	🔍	✔	T4102	9
02	🔍	✔	T4107	2	🔍	✔	T4102	10
03	🔍	✔	T4107	3	🔍	✔	T4102	11
04	🔍	✔	T4107	4	🔍	✔	T4102	12
05	🔍	✔	T4107	5				
06	🔍	✔	T4107	6				
07	🔍	✔	T4107	7				
08	🔍	✔	T4107	8				

### 3 必要に応じてミックスアウトを設定します。

- 詳しくは、「ミックスアウトを設定する」(p.83)を確認してください。



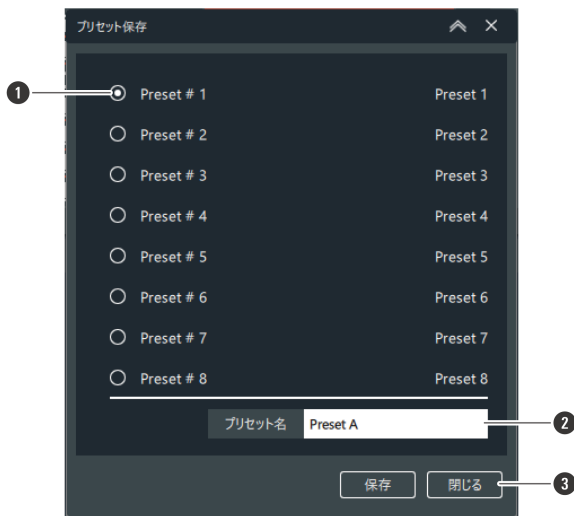
### 4 「別名保存」をクリックします。

- 呼び出しているプリセットに上書きする場合は、「保存」をクリックします。



### 5 「プリセット保存」画面でプリセット番号・プリセット名を設定します。

## その他の機能



- 1 保存したいプリセット番号を選択します。
- 2 プリセット名を入力します。
- 3 プリセットを保存しないで画面を閉じます。

### 6 「保存」をクリックします。

≫ 選択したプリセット番号にプリセットが保存されます。

## プリセットを呼び出す

保存しているプリセットを呼び出します。

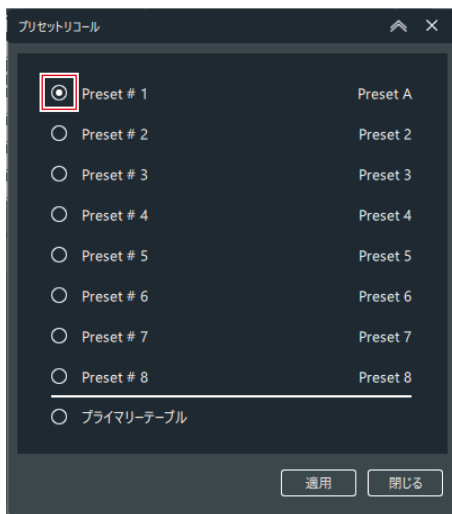
### 1 「リンク設定」画面の「プリセットリコール」をクリックします。



### 2 呼び出したいプリセットを選択します。

- プリセットを呼び出さない場合は、「プライマリーテーブル」を選択してください。

## その他の機能



3 「適用」をクリックします。

≫ 選択したプリセットが適用されます。

4 「閉じる」をクリックして、「プリセットリコール」画面を閉じます。

## プリセットを管理する

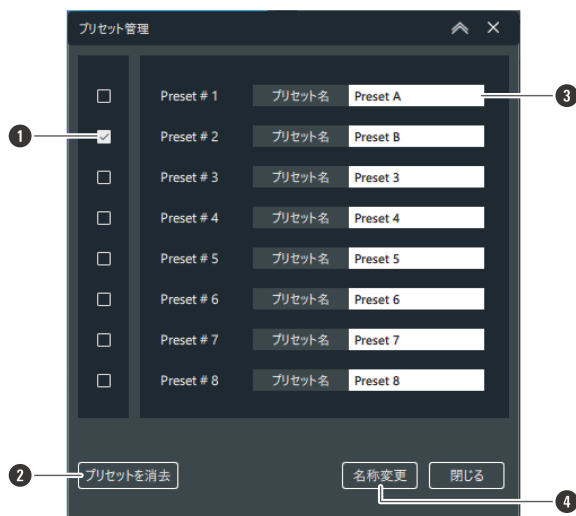
保存しているプリセットの削除やプリセット名の変更を行います。

1 「リンク設定」画面の「プリセット管理」をクリックします。



2 プリセットの削除やプリセット名の変更を行います。

- 現在、呼び出しているプリセットは削除できません。



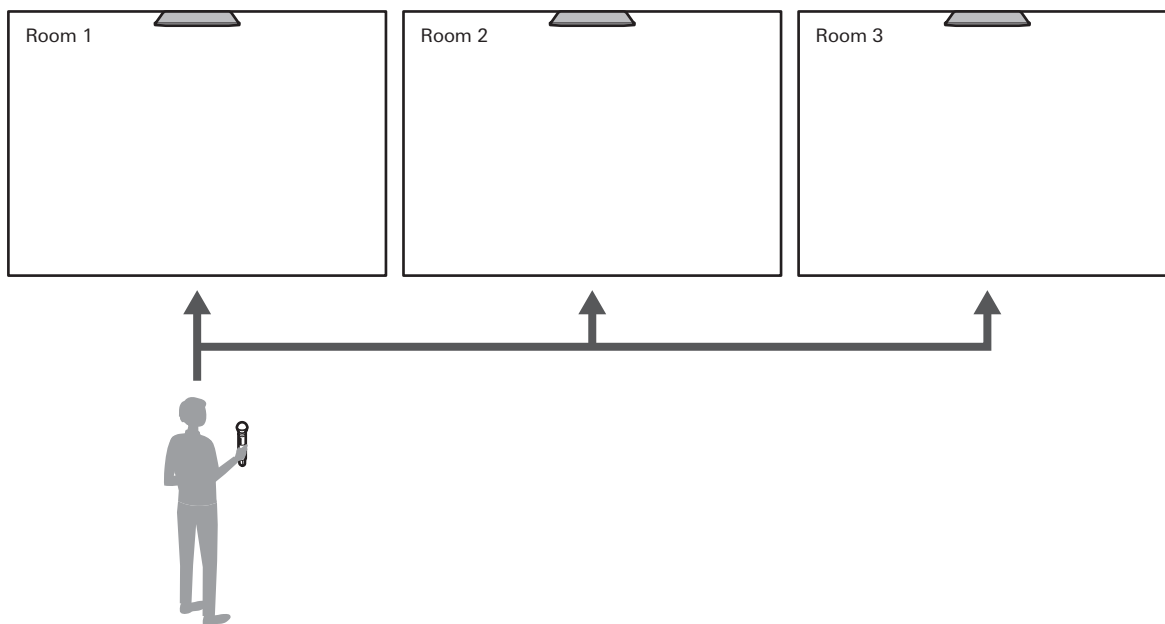
- 1 削除したいプリセットを選択します。
- 2 選択したプリセットを削除します。
- 3 プリセット名を入力します。
- 4 入力したプリセット名への変更を適用します。

3 「閉じる」をクリックして、「プリセット管理」画面を閉じます。

## ローミング使用モードについて (ESW-R4180DANのみ)

複数のレシーバーを1つのローミンググループとして登録します。

- 1台のトランスミッターを交換することなく、複数の部屋で使用することができます。
- トランスミッターを持って移動した場合に、レシーバーとの距離が離れてリンクが切断されると、ローミンググループの中から最も通信状態が良いレシーバーを自動的に探してリンクします。
- ローミングスレッシュホールドを設定することで、レシーバーが切り替わるタイミングを調整できます。
- 1つのローミンググループには、レシーバーを最大5台まで設定できます。
- トランスミッターの電源を入れ直すと、その時点で最も通信状態の良いレシーバーにリンクします。部屋を移動した場合には、トランスミッターの電源を入れ直して使用することを推奨します。



### ローミング使用モードに切り替える

- 1 「リンク設定」画面の「Roaming On」をクリックします。



- 2 確認メッセージの「OK」をクリックします。  
≫ ローミング使用モードに切り替わります。
- 3 「同期していない機器」またはインポートボタンをクリックします。
- 4 ローミングに追加するレシーバーを「受信機ローミンググループ」にドラッグ&ドロップします。
- 5 「OK」をクリックして、確認メッセージを閉じます。



- ローミング使用モードを解除する場合は、レシーバーの登録を1台のみにして「Off」をクリックしてください。

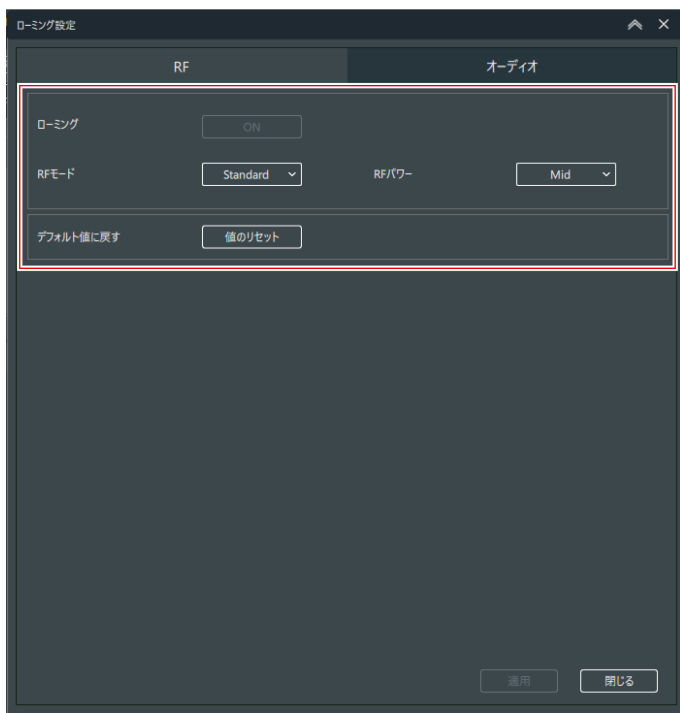
### ローミング設定をする

ローミング使用モード時のRF設定とオーディオ設定を行います。ローミング設定は、複数台のレシーバーに共通して設定されます。ローミング設定の項目は「機器設定」画面では設定できません。

- 1 ローミング使用モードに切り替えます。
- 2 「受信機ローミンググループ」の「設定」をクリックします。



- 3 RF設定を行います。

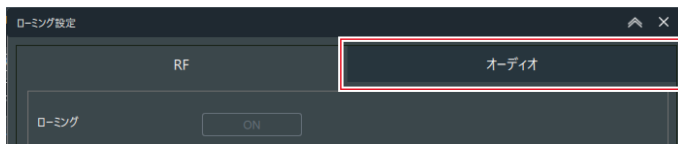


## その他の機能

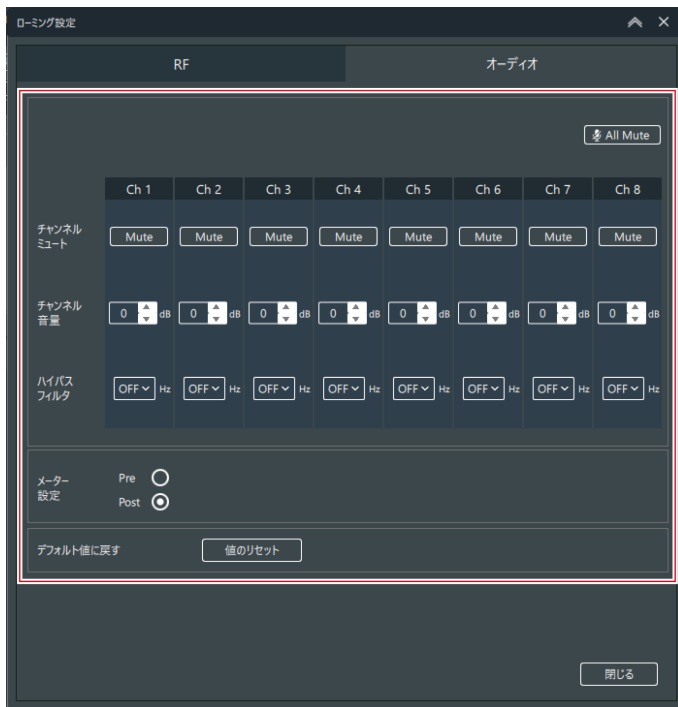
項目名	説明
ローミング	ローミング機能のON/OFFを設定します。
RFモード	DECTの通信モードを設定します。 「HD Mode」では、音声の伝送レートを下げて電波の占有帯域幅を狭くすることで「Standard」選択時よりも多チャンネルでの同時運用が可能です。
RFパワー	送信出力を設定します。
デフォルト値に戻す	RF設定をデフォルト値に戻します。

4 「適用」をクリックします。

5 「オーディオ」をクリックします。



6 オーディオ設定を行います。



## その他の機能

項目名	説明
All Mute	すべてのチャンネルのミュート（赤色）／ミュート解除（色なし）を一括で設定します。
チャンネルミュート	各チャンネルのミュート（赤色）／ミュート解除（色なし）を設定します。
チャンネル音量	各チャンネルの音量を設定します。
ハイパスフィルタ	ハイパスフィルターのOFF／カットオフ周波数を設定します。
メーター設定	Pre：トランスミッターからの入力レベルをモニターに表示します。 Post：レシーバーの出力レベルをモニターに表示します。
デフォルト値に戻す	オーディオ設定をデフォルト値に戻します。

**7** 「閉じる」をクリックして、「ローミング設定」画面を閉じます。

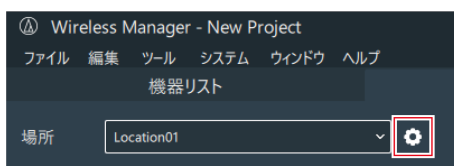
**8** レシーバーとトランスミッターの接続範囲を調整する必要がある場合は、レシーバーのローミングスレッシュホールドを設定します。

- ローミングスレッシュホールドの設定を高くすると、レシーバーとトランスミッターの接続範囲が狭くなります。
- ローミングスレッシュホールドは、レシーバーの「機器設定」画面で設定できます。詳しくは、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

## 場所名を設定する

必要に応じて、本システムを設置する場所名を設定します。

**1** 「リンク設定」画面の赤枠部分をクリックします。



**2** 場所を追加します。



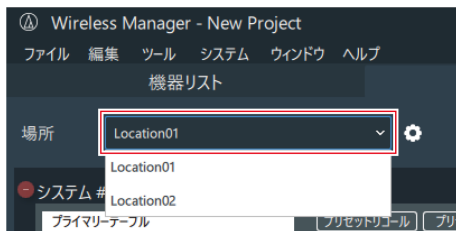
- ① ダブルクリックすると、場所名称を変更できます。
- ② 場所を追加します。
- ③ 選択している場所を削除します。

### 3 「適用」をクリックします。

≫ 場所の変更内容が適用されます。

### 4 「閉じる」をクリックして、「場所の管理」画面を閉じます。

### 5 「場所」の赤枠部分をクリックして、プルダウンから場所を選択します。



## 充電器のポートアサインを設定する

ポートアサインとは充電器の充電ポートにレシーバーのチャンネルを割り当てる設定です。トランスミッターを充電ポートに差し込み、充電器のリンクボタンを押してリンク設定を行うときに、どのチャンネルに登録するかを設定します。

- 事前に「リンク設定」画面で充電器を登録しておく必要があります。

### 1 「リンク設定」画面の「設定」をクリックします。



### 2 ポートアサインを設定します。



- 1 充電器を選択します。
- 2 選択している充電器の機器IDなどの情報が表示されます。
- 3 トランスミッターを登録させるレシーバーの機器IDなどの情報が表示されます。
- 4 ACアダプターが接続されている充電器の「Port 01」から順番にチャンネルが割り当てられます。
- 5 登録するチャンネルを選択します。

### 3 「適用」をクリックします。

### 4 「閉じる」をクリックして、「リンクボタン設定」画面を閉じます。

## リンクボタンでリンク設定する

充電器のリンクボタンを使って、トランスミッターをリンク設定することができます。トランスミッターの故障や電池切れなどでリンク設定されていない別のトランスミッターを急遽使用する場合などに、ワイヤレスマネージャーを使わずにトランスミッターのリンク設定ができます。

- ワイヤレスマネージャーで充電器のポートアサインを設定しておく必要があります。詳しくは、「充電器のポートアサインを設定する」(p.117)を確認してください。

### 1 リンク設定するトランスミッターを充電器に差し込みます。

### 2 リンクボタンを長押し（約3秒）します。

- 充電器を連結している場合は、どの充電器のリンクボタンを長押し（約3秒）しても差し込んでいるすべてのトランスミッターにリンク設定を行います。
- 電源インジケータが緑色／青色で交互に点灯したあと、充電インジケータが点滅します。

ステータスインジケータ表示	リンク設定
緑色点滅（3回）	登録成功
赤色点滅（5回）	登録失敗



- 充電器のリンクボタンでトランスミッターをリンク設定すると、通常のトランスミッターエリアとは別のトランスミッターエリアに登録されます。
- 充電器のリンクボタンでトランスミッターをリンクした場合、そのトランスミッターに元々登録されていたレシーバーの登録は削除されます。

### リンクボタンのロックについて

「機器設定」の「充電器リンクボタン」の設定により、リンクボタンをロックしたり、無効にしたりすることができます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャーの機器設定」(p.92)を確認してください。

# メニューについて

## メニュー一覧

### ファイル

項目名	説明
新規作成	新しいプロジェクトファイルを作成します。
プロジェクトを開く	プロジェクトファイルを開きます。
最近のプロジェクトを開く	最近開いたプロジェクトファイルを開きます。
保存	すでに開いているプロジェクトに現在のプロジェクトファイルを上書き保存します。
名前を付けて保存	現在のプロジェクトに名前を付けて、プロジェクトファイルとして保存します。
インポート	機器リスト：機器リストをインポートします。 モデルプロファイル：モデルプロファイルをインポートします。
エクスポート	機器リスト：機器リストをJSONまたはCSV形式でエクスポートします。 モデルプロファイル：モデルプロファイルをエクスポートします。 チャンネルリストレポート <sup>[1]</sup> ：「周波数コーディネーション」画面のチャンネルリストをPDFまたはCSV形式でエクスポートします。
プロジェクト情報	一般：アクセス制限、編集権限設定、モニター初期画面、リンク設定画面の表示設定、マルチポイント機能を設定します。 モニタ：アラートで表示される内容やログの詳細を設定します。 プロジェクト詳細：プロジェクトや会場の情報を設定します。
閉じる	ワイヤレスマネージャーを終了します。

[1] 本システムでは使用しません。

### 編集

項目名	説明
機器	追加：機器を機器リストに追加します。 削除：機器リストから機器を削除します。 機器設定：機器の設定をします。 全同期解除：すべての機器の同期をオフにします。 プロファイル <sup>[1]</sup> ：モデルプロファイルを編集します。
チャンネル <sup>[1]</sup>	機器リストよりインポート：チャンネルを機器リストからインポートします。 削除：チャンネルリストからチャンネルを削除します。

[1] 本システムでは使用しません。

## メニューについて

### ツール

項目名	説明
ウォークテスト	ウォークテストツールを起動します。詳しくは、「ウォークテストを使用する」(p.122)を確認してください。
DECT RFスキャン	レシーバー1台を使用して、周囲のDECTの運用状況をスキャンします。詳しくは、「DECT RFスキャンを使用する」(p.124)を確認してください。
ケーブル損失計算ツール <sup>[1]</sup>	ケーブル長による減衰量の簡易計算を行うことができます。
簡易チェック <sup>[1]</sup>	現在または想定の高周波数環境で、どの程度のチャンネル数が確保できるかを計算することができます。
機器ID自動割り当て	機器IDが重複しないように一括で自動的に割り当てます。詳しくは、「機器IDを自動で割り当てる」(p.126)を確認してください。
ファームウェアアップデート	ワイヤレスファームウェアアップデートツールを起動します。詳しくは、「ファームウェアをアップデートする」(p.127)を確認してください。

[1] 本システムでは使用しません。

### システム

項目名	説明
設定	「環境設定」画面が表示されます。詳しくは、「環境設定をする」(p.132)を確認してください。
言語	言語（英語/日本語）を切り替えます。言語を切り替えるには、ワイヤレスマネージャーを再起動する必要があります。
編集制限	編集制限状態から、編集可能状態へ切り替えます。

### ウィンドウ

項目名	説明
同期していない機器	オンラインで認識できる接続機器のうち、機器リストに同期されていない機器が表示されます。

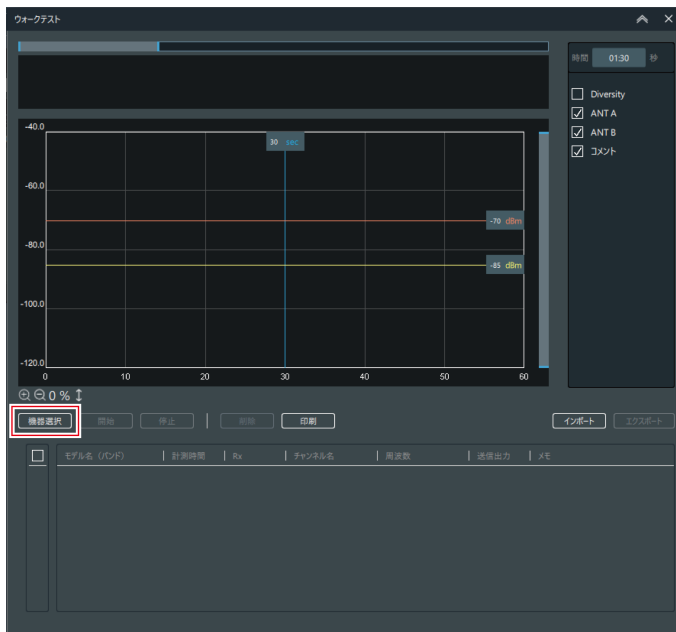
### ヘルプ

項目名	説明
ヘルプ	ワイヤレスマネージャーの取扱説明書が表示されます。
アプリのアップデート	ワイヤレスマネージャーのアップデートを確認します。
このアプリについて	ワイヤレスマネージャーの情報が表示されます。

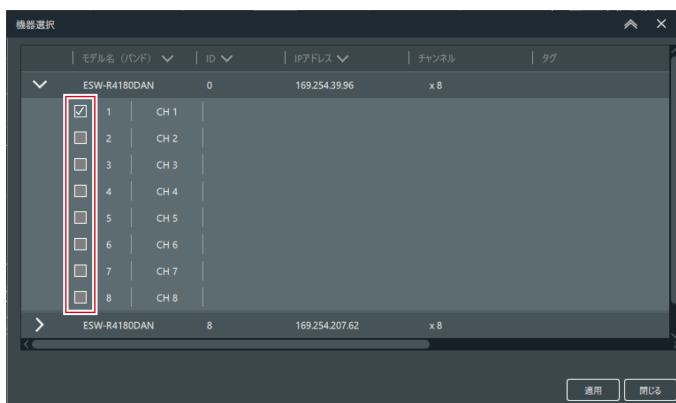
## ウォークテストを使用する

ウォークテスト機能を使用すると、選択したレシーバーのRFレベルを記録します。

- 1 メニューの「ツール」 > 「ウォークテスト」をクリックします。
- 2 「機器選択」をクリックします。



- 3 ウォークテストに使用する機器・チャンネルを選択します。

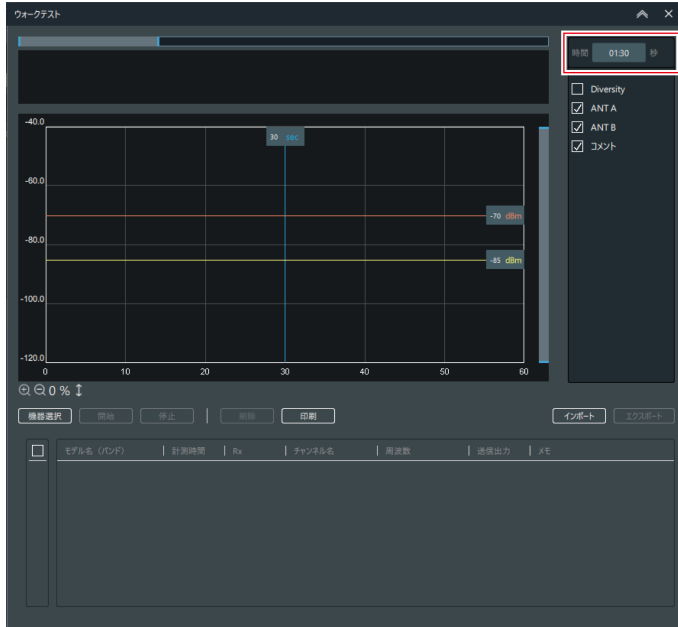


- 4 「適用」をクリックします。

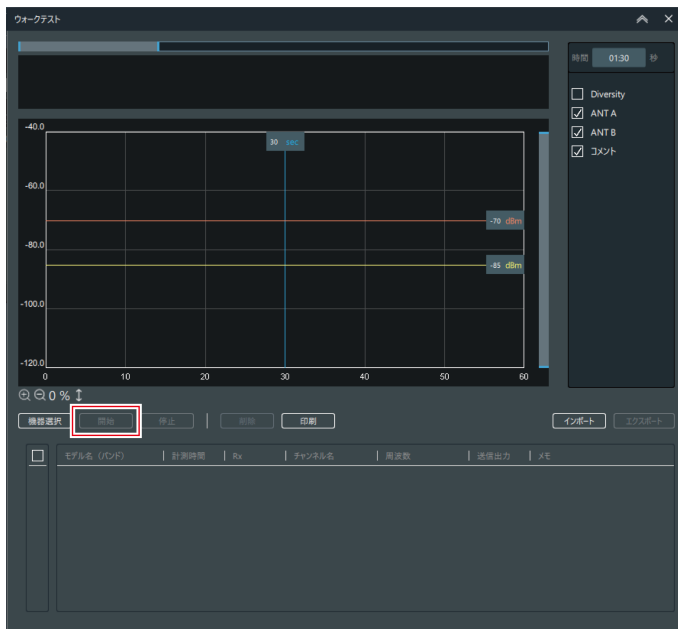
## メニューについて

### 5 ウォークテストの時間を設定します。

- 設定可能時間は最大10分です。



### 6 すべての設定が完了したあと、「開始」をクリックします。



≫ ウォークテストが開始されます。



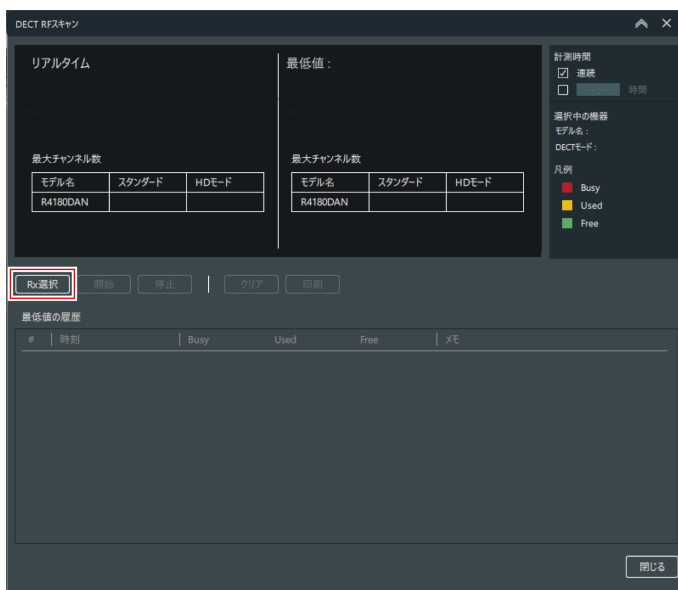
- 本機能は、レシーバーで取得しているRFレベル（1秒ごと）にもとづいた値を表示しています。

# DECT RFスキャンを使用する

レシーバー1台を使用して周囲のDECTの運用状況をスキャンし、トランスミッターの使用可能なチャンネル数の目安を割り出します。

1 メニューの「ツール」 > 「DECT RFスキャン」をクリックします。

2 「Rx選択」をクリックします。



3 DECT RFスキャンに使用する機器を選択します。

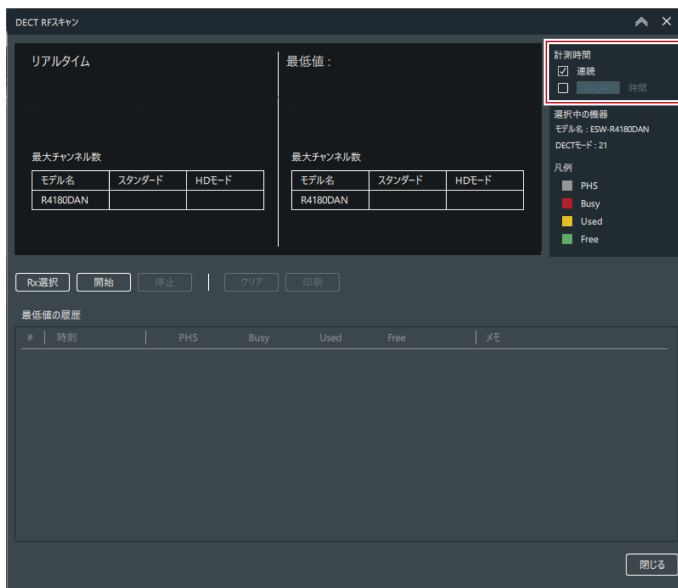


4 「選択」をクリックします。

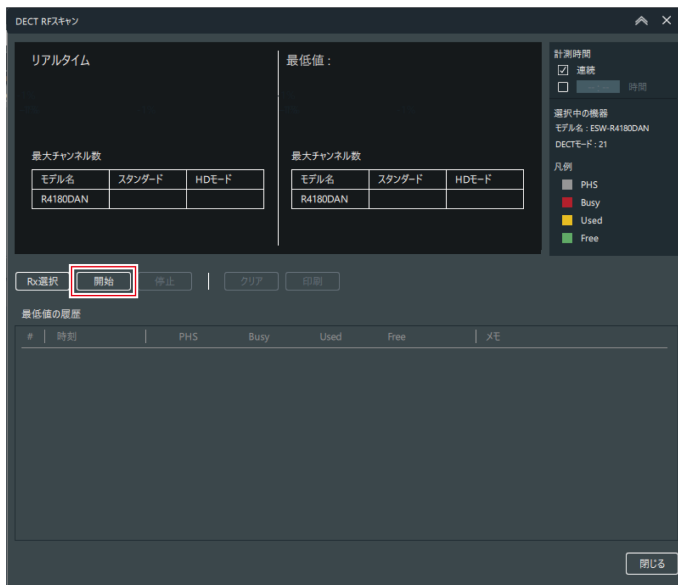
5 「計測時間」の設定をします。

- 時間を設定しない場合は、「連続」にチェックを入れます。
- 時間を設定する場合は、「時間」にチェックを入れて時間を入力します。設定可能時間は最大99時間です。

## メニューについて



6 すべての設定が完了したあと、「開始」をクリックします。



» DECT RFスキャンが開始されます。



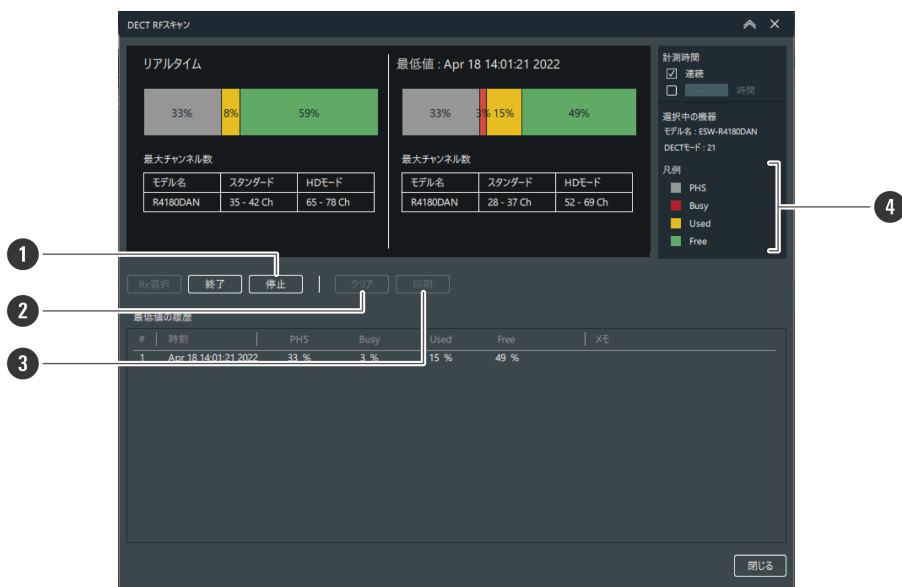
- スキャン中にワイヤレスマネージャーを閉じると、復帰できなくなる場合があります。その際は、レシーバーの電源を入れ直してください。

## DECT RFスキャン結果の見かた

DECT RFスキャンが完了すると、周囲のDECTの運用状況が割合で表示されます。

## メニューについて

- リアルタイムの測定値と最低値（計測期間内でFreeが一番少ないときの値）が表示されます。
- 「RFモード」が「スタンダード」と「HDモード」両方の場合で、チャンネル数の目安が表示されます。



### 1 停止

DECT RFスキャンを一時停止します。

### 2 クリア

記録を削除します。

### 3 印刷

最低値のグラフをPDFに出力できます。

### 4 凡例

PHS：PHSを検知したので使用できません。

Busy：他の機器が運用中のため、使用できません。

Used：低いレベルの干渉を検知しています。使用本数が足りないときに使用されます。

Free：使用できます。

## 機器IDを自動で割り当てる

1 メニューの「ツール」>「機器ID自動割り当て」をクリックします。

2 機器IDの割り当てかたを設定します。

## メニューについて



- ① すべての機器に通し番号で機器IDを割り当てます。
- ② 機器のモデルごとに通し番号で機器IDを割り当てます。
- ③ 機器IDが「0」の機器のみに機器IDを割り当てます。
- ④ Audio-Technica LINK対応の機器を割り当ての対象外とします。

### 3 「実行」をクリックします。

≫ 機器IDが割り当てられます。

### 4 「閉じる」をクリックして、「機器ID自動割り当て」画面を閉じます。

## ファームウェアをアップデートする

レシーバー、充電器、トランスミッターのファームウェアを最新バージョンにアップデートすることができます。

### 1 メニューの「ツール」 > 「ファームウェアアップデート」をクリックします。

≫ ワイヤレスファームウェアアップデートツールが起動します。



- ファームウェアのダウンロードを行うには、インターネットに接続している必要があります。
- ESW-R4180DANには「ESW-R4180DAN」と「ESW-R4180DAN (S-1)」の2つの種別があります。この2つはそれぞれファームウェアが異なります。間違った組み合わせでファームウェアがインストールされることはありませんが、アップデートの際は、ご使用のレシーバーを確認してください。ご使用のレシーバーの種別はレシーバー本体背面の定格ラベルで確認できます。「ESW-R4180DAN (S-1)」の場合には「S-1」と記載があります。また、Wireless Managerの「機器設定」画面の「バージョン情報」でも確認できます。

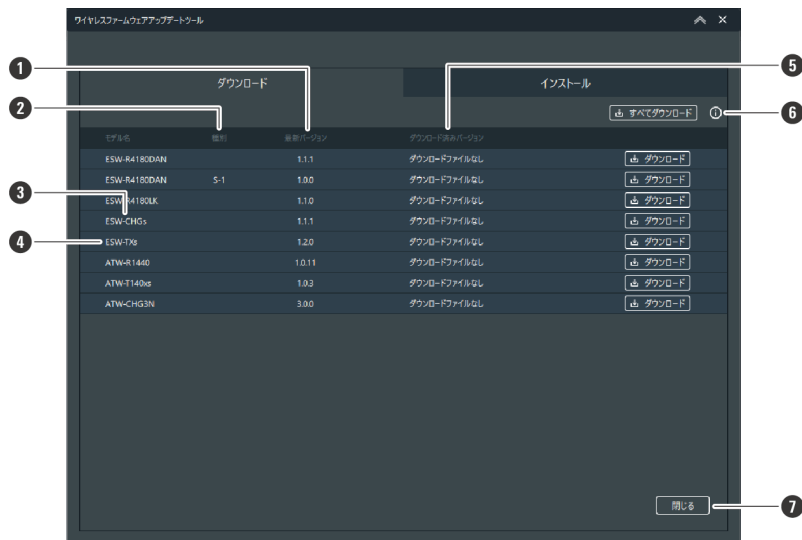
## ファームウェアをダウンロードする

各機器のファームウェア最新バージョンの有無を確認してダウンロードします。

# メニューについて

## 1 現在のダウンロード状況が表示されます。

- 「ダウンロード／インストール」をクリックして表示を切り替えられます。
- 各機器のファームウェア最新バージョンが表示されます。



- 1 最新のファームウェアバージョンが表示されます。
- 2 該当機種に種別違いがある場合、判別のために表示されます。ご使用の機器の種別をご確認ください。
- 3 充電器共通のファームウェアです。
- 4 トランスミッター共通のファームウェアです。
- 5 過去にダウンロードしたファームウェアバージョンが表示されます。
- 6 クリックすると、当社ホームページに接続し、最新のファームウェアに関する情報が表示されます。
- 7 クリックすると、「ワイヤレスファームウェアアップデートツール」画面が閉じます。

## 2 「すべてダウンロード」または「ダウンロード」をクリックします。

- 最新バージョンがある場合にクリックできます。
- 「すべてダウンロード」は、すべての機器のファームウェアを一括でダウンロードできます。
- 「ダウンロード」は、機器ごとにファームウェアをダウンロードできます。



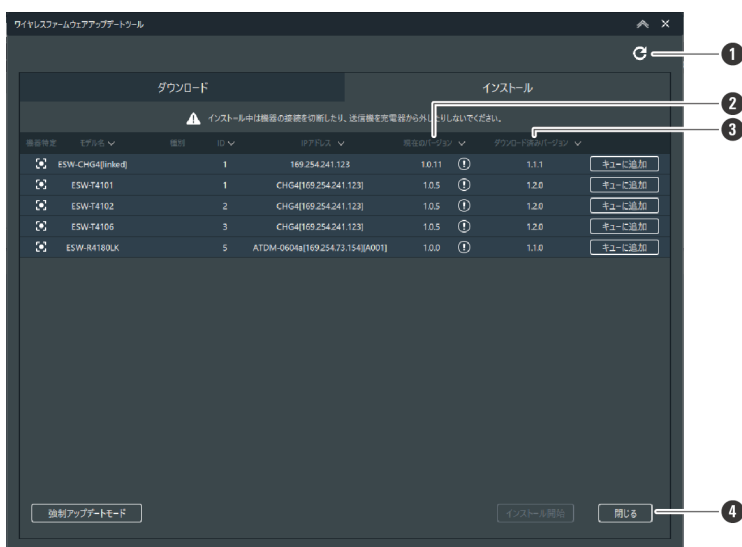
≫ ファームウェアのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するまでお待ちください。

## ファームウェアをインストールする

ダウンロードしたファームウェアを機器にインストールします。

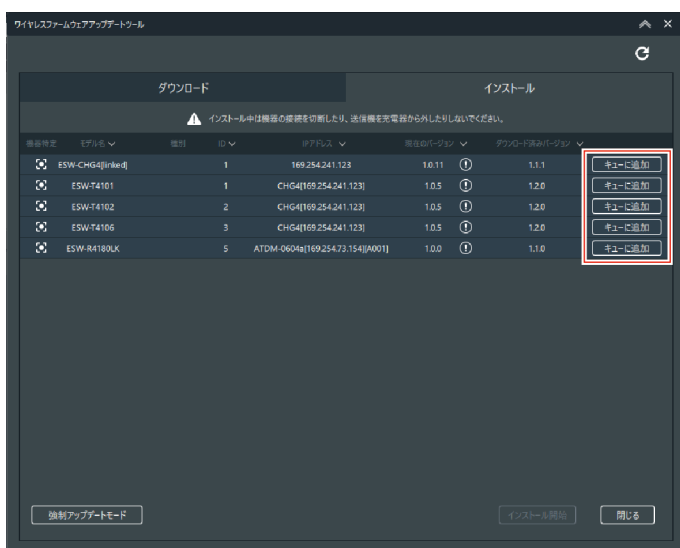
### 1 現在のインストール状況が表示されます。

- 「ダウンロード/インストール」をクリックして表示を切り替えられます。



- 1 クリックすると、表示が更新されます。
- 2 機器の現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- 3 ダウンロードしたファームウェアバージョンが表示されます。
- 4 クリックすると、「ワイヤレスファームウェアアップデートツール」画面が閉じます。

### 2 「キューに追加」をクリックして、ファームウェアをインストールする機器を選択します。



## メニューについて

**3** 「インストール開始」をクリックします。

**4** 「OK」をクリックします。

≫ ファームウェアのインストールが開始されます。表示される画面に従って操作してください。

**5** インストールが終了すると、インストール結果が表示されます。

- 「エラー」と表示された場合は、インストール失敗です。「再試行」がクリックできる場合は、ファームウェアのインストールを再度開始してください。「再試行」がクリックできない場合は、故障の可能性があります。その場合は、プロフェッショナルSS課までお問い合わせください。
- 「見つかりません」と表示された場合は、インストール失敗です。ネットワークが正しく接続されているか確認してください。また、トランスミッターが正しく充電器に差し込まれているか確認してください。「見つかりません」の横にinfoアイコンがある場合には、そちらも確認してください。すべての確認を行ったあと、右上の更新ボタンをクリックし、再度インストールを行ってください。機器が検出されない場合は、強制アップデートを行ってください。トランスミッターの場合は、モデル名が「Unknown Tx」と表示されますが正常ですので、そのまま再度インストールを行ってください。



- ファームウェアのインストールは、トランスミッターを充電器に差し込んだ状態で行ってください。
- インストール中は、トランスミッターを充電器から外さないでください。
- トランスミッター・充電器の充電端子は汚れが付着しやすい部分です。汚れが付着したまま使用するとファームウェアのアップデート操作で失敗する場合があります。充電端子が汚れた場合は、力を加えずに注意して綿棒などで汚れを拭いてください。
- トランスミッターは、ファームウェアのインストールに失敗した状態では電池を消費し続けています。そのまま放置すると電池残量が極端に少なくなり、ファームウェアのインストールができない状態になりますので、すぐに再度インストールを行ってください。
- 極端に電池残量が少なくなったトランスミッターは、充電器に差し込んで予備充電を行うことで再びインストールできる状態に戻すことができます。予備充電中は充電器のステータスインジケータは「一つが赤色点滅」している状態になります。

### ファームウェアのインストールに失敗して機器が検出されなくなった場合（強制アップデートモード）

ファームウェアのインストールが失敗すると、ワイヤレスマネージャーで機器を検出できなくなる場合があります。その場合は、強制アップデートモードを実行することで、機器を検出できるようになります。

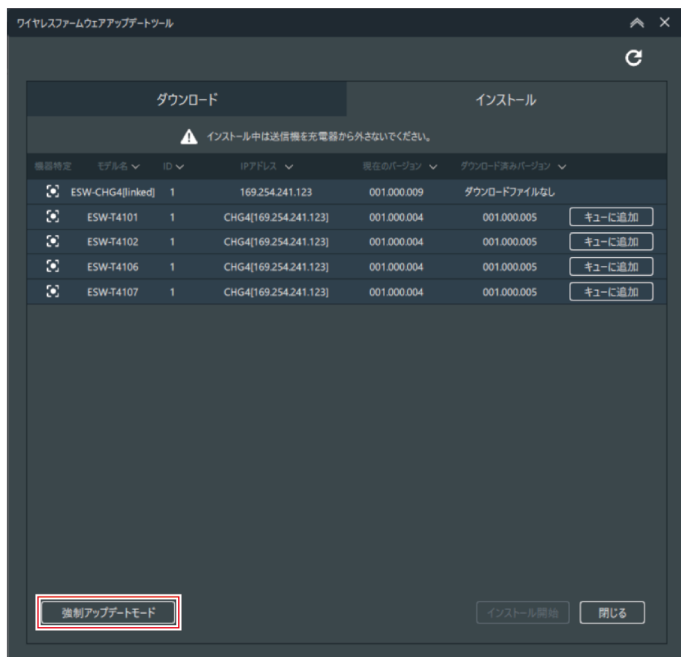
**1** パソコンのIPアドレスを「192.168.0.20/24」以外の同一セグメントに設定します。

- ファームウェアのインストールが失敗すると、失敗した機器が「192.168.0.20/24」で起動します。そのため、パソコン側は「192.168.0.20/24」以外の同一セグメントに設定する必要があります。

## メニューについて

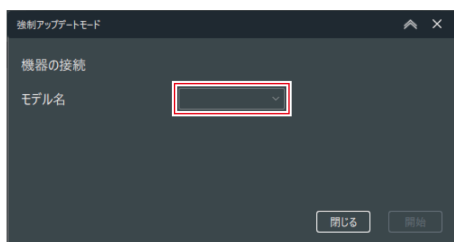
- 充電器の場合は手動で強制アップデートモードに移行する必要があります。電源がOFFの状態から充電器のリセットボタンを押したまま電源をONにします。そのままリセットボタンを長押し（約10秒）し、電源インジケータが青色点滅したら、リセットボタンから指を離してください。強制アップデートモードに切り替わります。

### 2 「ワイヤレスファームウェアアップデートツール」画面の「強制アップデートモード」をクリックします。



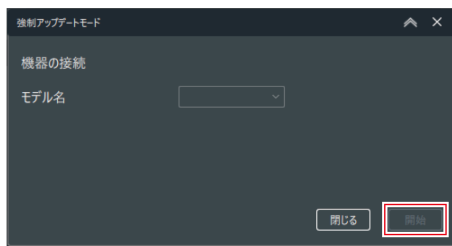
### 3 機器を選択します。

- 機器との接続が確立されていると、「機器の接続」に「Established」と表示されます。



### 4 「開始」をクリックします。

## メニューについて



≫ 強制アップデートモードが開始されます。

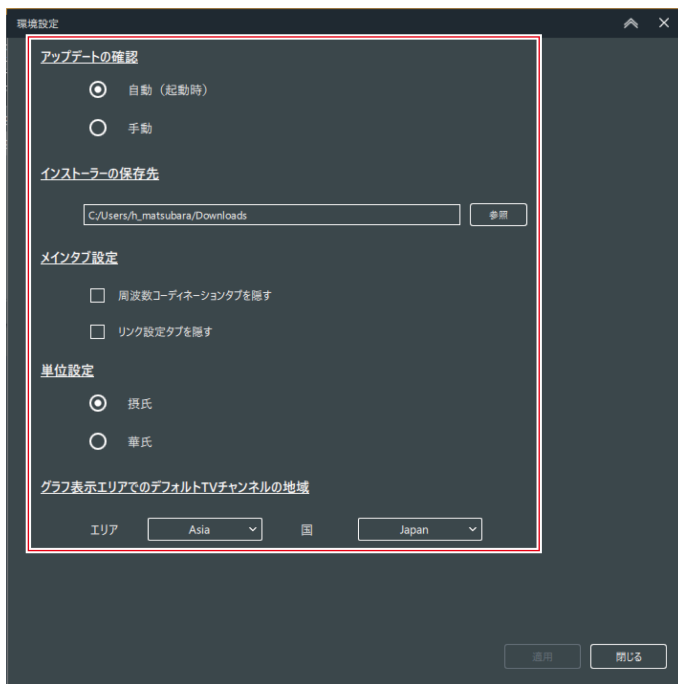
- 5** 強制アップデートモードが終了したら、「閉じる」をクリックします。
  - エラーになった場合は、強制アップデートモードを再度開始してください。
- 6** ファームウェアのインストールを再度開始してください。
  - 詳しくは、「ファームウェアをインストールする」(p.129)を確認してください。

## 環境設定をする

ワイヤレスマネージャーの設定を行います。

- 1** メニューの「システム」>「設定」をクリックします。
- 2** 各項目を設定します。

## メニューについて



項目名	説明
アップデートの確認	ワイヤレスマネージャーのアップデートの確認方法を設定します。
インストーラーの保存先	ワイヤレスマネージャーのアップデート時にインストーラーファイルを保存するフォルダを設定します。
メインタブ設定	タブの「周波数同期」・「リンク設定」の表示／非表示を設定します。
単位設定	温度の単位を設定します。
グラフ表示エリアでのデフォルトTVチャンネルの地域 <sup>[1]</sup>	「周波数同期」画面のTVチャンネル設定のエリアのデフォルトを設定します。

[1] 本システムでは使用しません。

### 3 「適用」をクリックします。

≫ 設定が適用されます。

### 4 「閉じる」をクリックして、「環境設定」画面を閉じます。

# Audio-Technica LINKについて

ESW-R4180LKは機器間の音声信号の伝送と電源供給に、独自フォーマット「Audio-Technica LINK」を採用しています。

- デイジーチェーン接続でマルチチャンネル伝送が可能です。
- 低レイテンシーの高速信号伝送により、安定した制御とマルチチャンネルの非圧縮音声信号の伝達が可能です。
- ESW-R4180LKからのマルチチャンネル音声信号をミキサーの入力チャンネルへ個別にアサインが可能です。
- イーサネット規格に準拠し、汎用的なLANケーブルによる接続が可能のため、高い施工性を実現しています。



- LANケーブルはCat5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを必ず使用してください。



- ATUC-50シリーズ、ATUC-IRシリーズとは接続できません。

# Dante Controllerについて

ESW-R4180DANはDanteネットワークオーディオに対応しています。

Dante Controller（audinate提供のアプリケーション）を使用してDante機器への入出力設定ができます。Dante Controllerについてはaudinateホームページ（<https://www.audinate.com/>）を確認してください。

# インジケータ表示について

## レシーバー

### ステータスインジケータ

インジケータ表示	状態
緑色点灯	電源がONになっている状態です。
赤色点灯	「Dante IP設定」 > 「ポートモード」が「Split」に設定されているのに、ネットワークB端子に何も接続されていない状態です。 ESW-R4180DAN：ネットワーク通信ができていません。 ESW-R4180LK：ミキサーと通信ができていません。
赤色点滅	起動中または複数台のレシーバー間で再同期を行っています。
遅い緑色点滅（ESW-R4180DANのみ）	IPアドレスが競合しています。

### リンクインジケータ

インジケータ表示	状態
緑色点灯	リンクが確立しています。
赤色点灯	トランスミッターがリンク設定されていません。

### ステータスインジケータ・リンクインジケータ

インジケータ表示	状態
緑色点滅（ステータス） 赤色点滅（リンク）	DECT RFスキャンまたはウォークテスト中です。
赤色点滅（ステータス） 赤色点滅（リンク）	レシーバーが正常に動作していません。

## トランスミッター

### ステータスインジケータ

インジケータ表示	状態
赤色点灯	リンクが確立していて、ミュートの状態です。
緑色点灯	リンクが確立していて、ミュート解除の状態です。
速い赤色点滅	トランスミッターがリンク設定されていません。
赤色点滅	リンクするレシーバーを探しています。
橙色または黄色点滅	電池残量がありません。30分以内に電源がOFFになります。 <sup>[1]</sup>
ミュート/ミュート解除の点灯色で点滅	電池残量が少なくなっています。60/90/120分以内に電源がOFFになります。 <sup>[1][2]</sup>

[1] 時間は目安です。使用条件により異なります。

[2] 工場出荷時、この機能はOFFになっています。「機器設定」の「電池残量アラート」で60/90/120分の時間を設定できます。「機器設定」については、「ワイヤレスマネージャの機器設定」(p.92)を確認してください。

## 充電器

### 電源インジケータ

インジケータ表示	状態
緑色点灯	電源がONになっている状態です（ネットワーク接続あり）。
青色点灯	電源がONになっている状態です（ネットワーク接続なし）。
緑色/青色で交互点灯	連結できる充電器の台数を超えています。
遅い緑色点滅	IPアドレスが競合しています。

### ステータスインジケータ

インジケータ表示	状態
4つが順番に赤色点滅	充電準備中です。
1つが赤色点灯	充電中です（0%～25%未満）。
2つが赤色点灯	充電中です（25%～50%未満）。
3つが赤色点灯	充電中です（50%～75%未満）。
4つすべてが赤色点灯	充電中です（75%～100%未満）。
4つすべてが緑色点灯	満充電の状態です。
1つが赤色点滅	通信不良 <sup>[1]</sup> /予備充電 <sup>[2]</sup> の状態です。
4つすべてが赤色点滅	充電異常が発生し、充電できない状態です。
4つすべてが緑色点滅	接点不良 <sup>[3]</sup> のため、充電が完了していません。

[1] 約30分間通信不良状態が続くと充電異常状態になります。

## インジケータ表示について

[2] 完全放電後に充電を開始した場合や充電式電池が低温の状態での充電を開始した場合は予備充電状態になります。数分後に通常充電状態に戻ります。

[3] トランスミッター・充電器の充電端子は汚れが付着しやすい部分です。汚れが付着したまま使用すると充電できない場合、充電が途中で完了してしまう場合やワイヤレスマネージャーでの電池残量の表示が正しく表示されない場合があります。充電端子が汚れた場合は、力を加えずに注意して綿棒などで汚れを拭いてください。

# 充電式電池の交換について

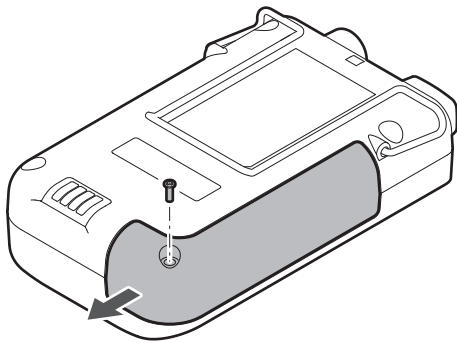
トランスミッターの充電式電池はサービスパーツとして購入できます。次の手順に従って、充電式電池を交換してください。

- 当社指定の充電式電池と交換してください。

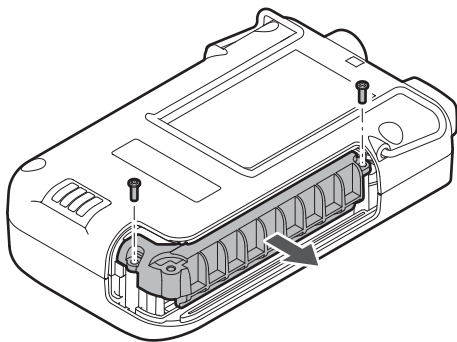
トランスミッター	充電式電池
ESW-T4101/ESW-T4106/ESW-T4107	リチウムイオン電池 LI-220
ESW-T4102/C510	リチウムイオン電池 LI-320

## ESW-T4101

- 1 裏面のねじを取り外し、バッテリーカバーを取り外します。

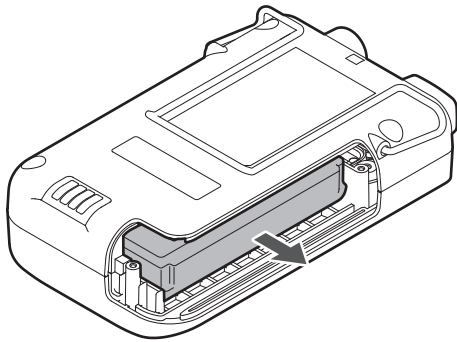


- 2 ねじを取り外し、バッテリーホルダーを取り外します。



- 3 充電式電池を取り出して交換します。

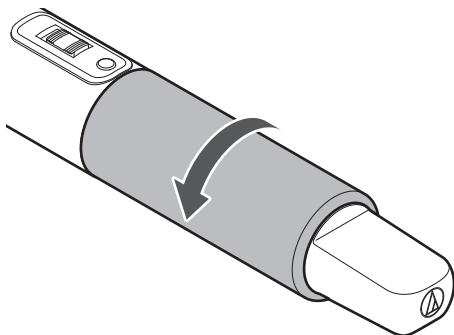
## 充電式電池の交換について



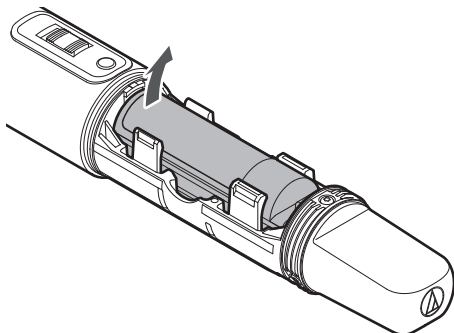
- トランスミッターの電源がOFFになっていることを確認してから、充電式電池の交換作業を行ってください。

## ESW-T4102/C510

- 1 グリップを回して取り外します。



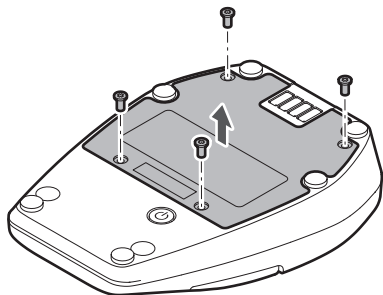
- 2 充電式電池を取り出して交換します。



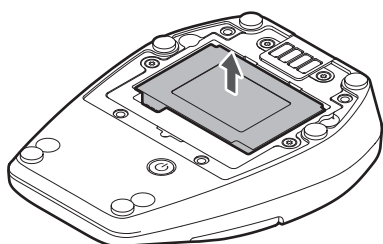
- トランスミッターの電源がOFFになっていることを確認してから、充電式電池の交換作業を行ってください。

## ESW-T4106/ESW-T4107

- 1** 底面のねじを取り外し、バッテリーカバーを取り外します。



- 2** 充電式電池を取り出して交換します。



- トランスミッターの電源がOFFになっていることを確認してから、充電式電池の交換作業を行ってください。

# トラブルシューティング

機器のリンク設定、ミュート、ボリュームなどのステータスはワイヤレスマネージャーを使って確認してください。

## レシーバー／トランスミッター

### ① レシーバーの電源が入らない (ESW-R4180LKの場合)

- レシーバー背面のネットワークA端子とミキサー／エクステンダーを、LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用）で接続しているか確認してください。
- ミキサーまたはエクステンダーが正しく動作しているか確認してください。

### ② レシーバーの電源が入らない (ESW-R4180DANの場合)

- レシーバー背面のネットワークA端子とPoE対応スイッチングハブを、LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用）で接続しているか確認してください。
- PoE対応スイッチングハブが正しく動作しているか確認してください。

### ③ トランスミッターの電源が入らない

- 充電式電池が入っているか確認してください。
- 充電式電池の残量を確認してください。

### ④ レシーバーをDante Controllerで認識できない (ESW-R4180DANのみ)

- ワイヤレスマネージャーの「機器設定」 > 「Dante」 > 「Dante IP設定」 > 「IPモード」の設定が正しいか確認してください。
- レシーバー背面のネットワークA端子に接続しているDanteオーディオと接続先のDante機器を、同じネットワークに接続しているか確認してください。

### ⑤ レシーバーとトランスミッターがリンクできない

- ワイヤレスマネージャーの「リンク設定」画面で、トランスミッターをレシーバーと同じシステムに登録しているか確認してください。登録していてもリンクされない場合は、「リンクを更新」をクリックすると改善される場合があります。
- ワイヤレスマネージャーの「ツール」 > 「DECT RFスキャン」で使用できる数量以上のトランスミッターを使っていないか確認してください。

## トラブルシューティング

### ② リンク設定しているのにレシーバーとトランスミッターが繋がらない／接続と切断を繰り返している

- リンク設定が不正規に行われ、レシーバーとトランスミッター間の暗号化キーが一致していない可能性があります。レシーバーに登録されたトランスミッターをすべて充電器に設置し、レシーバーとすべてのトランスミッターをワイヤレスマネージャーに同期させ、リンク設定で「リンクを更新」をクリックしてください。再登録が行われます。暗号化キーの不一致は次のようなときに発生する場合があります。
  - (1) リンク済みのトランスミッターをオンライン状態の充電器に置かずに、リンク設定の編集を行った場合。
  - (2) 新規のリンク設定に同じレシーバーとトランスミッターを再登録した場合。

### ② 音が出ない／音が小さい

- トランスミッターの電源がONになっているか確認してください。
- トランスミッターがミュートになっていないか確認してください。
- トランスミッターとマイクロホンが正しく接続されているか確認してください。
- レシーバーがミュートになっていないか確認してください。
- レシーバー、トランスミッターの登録チャンネルが異なっていないか確認してください。
- トランスミッターのゲインが小さ過ぎないか確認してください。
- レシーバーのボリュームが小さ過ぎないか確認してください。
- ミックスアウトを使用している場合は、ミックスアサインが正しく設定されているか確認してください。
- レシーバー背面のネットワークA端子とミキサー／エクステンダーを、LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用）で接続しているか確認してください（ESW-R4180LKの場合）。
- レシーバー背面のネットワークA端子とPoE対応スイッチングハブを、LANケーブル（CAT5e以上、導体サイズ24AWGの径以上、シールド付きを使用）で接続しているか確認してください（ESW-R4180DANの場合）。
- Dante Controllerでレシーバー出力（Danteトランスミッター）が、出力先機器のDanteレシーバーに正しくルーティングされているか確認してください（ESW-R4180DANのみ）。

### ② 音がひずむ

- トランスミッターのゲインが大き過ぎないか確認してください。
- レシーバーのボリュームが大き過ぎないか確認してください。
- 外部接続の機器のボリュームが大き過ぎないか確認してください。

### ② 音が途切れる

- トランスミッターとマイクロホンが正しく接続されているか確認してください。

## トラブルシューティング

- RFパワーが小さ過ぎないか確認してください。
- ワイヤレスマネージャーの「ツール」 > 「DECT RFスキャン」で使用できる数量以上のトランスミッターを使っていないか確認してください。

### ① ノイズが出る

- トランスミッターとマイクロホンが正しく接続されているか確認してください。
- RFパワーが小さ過ぎないか確認してください。
- 接続している外部マイクロホンがトランスミッターのアンテナに近づき過ぎていないか確認してください。

### ② レシーバーのインジケーターが点灯しない

- ワイヤレスマネージャーの「機器設定」 > 「システム」 > 「LED」がOFFになっていないか確認してください。

### ③ トランスミッターのインジケーターが点灯しない

- ワイヤレスマネージャーの「機器設定」 > 「ミュート」 > 「ミュートLED」・「ミュート解除LED色」がOFFになっていないか確認してください（ESW-T4106/ESW-T4107のみ）。

### ④ ステータスインジケーターが点滅している

- エラー表示などの状態をインジケーターの色と点滅で表示します。詳しくは、「インジケーター表示について」(p.136)を確認してください。

### ⑤ レシーバーのステータスインジケーターが橙色に点灯している

- レシーバーが強制アップデートモード中です。強制アップデートモードを終了してください。
- トランスミッターが正しく起動していません。再度電源を入れ直してください。それでもステータスインジケーターが橙色点滅している場合は、異常状態のためプロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

### ⑥ トランスミッターの電源をONにしたとき、ステータスインジケーターが橙色に点滅し、動作しない

- トランスミッターが正しく起動していません。再度電源を入れ直してください。それでもステータスインジケーターが橙色点滅している場合は、異常状態のためプロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

# 充電器

### ① 電源が入らない

- ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。

### ② 充電されない

- 充電端子が汚れていないか確認し、清掃してください。
- トランスミッターが充電器に正しく差し込まれているか確認し、差し直してください。

### ③ ネットワークにつながらない

- 充電器を連結しているとき、ACアダプターを接続している充電器のネットワーク端子にLANケーブルが接続されているか確認してください。

### ④ リンクボタンでのリンク設定ができない

- リンクボタンがロックされていないか確認してください。
- LANケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
- レシーバーと同一ネットワーク上にあるか確認してください。
- ワイヤレスマネージャーの「リンク設定」画面で、充電器がレシーバーと同じシステムに登録されているか確認してください。
- リンクボタンでのリンク設定は、IPマルチキャストを使用します。レシーバーと充電器が同一のマルチキャストIPアドレスを使用しているか確認してください。

### ⑤ インジケーターが点灯しない

- ワイヤレスマネージャーの「機器設定」 > 「システム」 > 「LED」がOFFになっていないか確認してください。

### ⑥ ステータスインジケーターが点滅している

- エラー表示などの状態をインジケーターの色と点滅で表示します。詳しくは、「インジケーター表示について」(p.136)を確認してください。

# ワイヤレスマネージャー

### ② ワイヤレスマネージャーで機器が検出されない

- LANケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
- ミキサーまたはエクステンダーが正しく動作しているか確認してください（ESW-R4180LKの場合）。
- PoE対応スイッチングハブが正しく動作しているか確認してください（ESW-R4180DANの場合）。
- パソコンのファイアウォール設定を確認してください。
- パソコンのネットワーク設定が適切であるか確認してください。
- ネットワーク設定やIPアドレスを変更したときは、各機器の再起動を完了させてください。通常は、設定変更後に再起動を行うメッセージが表示されます。
- ワイヤレスマネージャーを再起動してください。
- トランスミッターが検出されない場合、トランスミッターが充電器に正しく差し込まれているか確認し、差し直してください。
- Windowsの場合、ネットワーク設定変更時にイーサネットアダプターを再起動してください。それでもIPアドレスが更新されない場合は、Windowsを再起動すると改善される場合があります。
- コマンドプロンプト（Windowsの場合）などで機器のIPアドレスへのpingコマンドを実行し、通信できることを確認してください。通信できているのに機器が検出されない場合は、ファイアウォール設定、マルチキャストアドレスに関する設定に問題がある可能性があります。

### ② ワイヤレスマネージャーに機器の状態が反映されない

- ワイヤレスマネージャーは、IPマルチキャストを使用します。お使いのネットワーク環境で、機器に設定したマルチキャストIPアドレス・ポートを使用した通信が禁止されていないか確認してください。IGMP対応スイッチを使用している場合は、IGMP設定などに注意してください。
- ワイヤレスマネージャーと同じパソコンで当社製アプリケーションのウェブリモートマネージャー（バージョン1.2.4以前）またはLocateを使用している場合、本システムのマルチキャストアドレスポートをデフォルトの「17000」から変更してください(p.98)。ウェブリモートマネージャーまたはLocateでは「17000」のポートを使用します。「17001」／「17100」／「17200」／「17300」はワイヤレスマネージャーのTCP／UDP通信で使用するため、使用できません。
- 同じネットワーク内にある別の機器やアプリケーションが、本機器で使用しているポート番号を使用していないか確認してください。

### ② 設定を機器へ反映させようとしたときに、エラーメッセージ「反映に失敗した機器があります。」が表示される

- ネットワークが切断されている機器がないか確認してください。
- 他のパソコンが機器をコントロールしていないか確認してください。

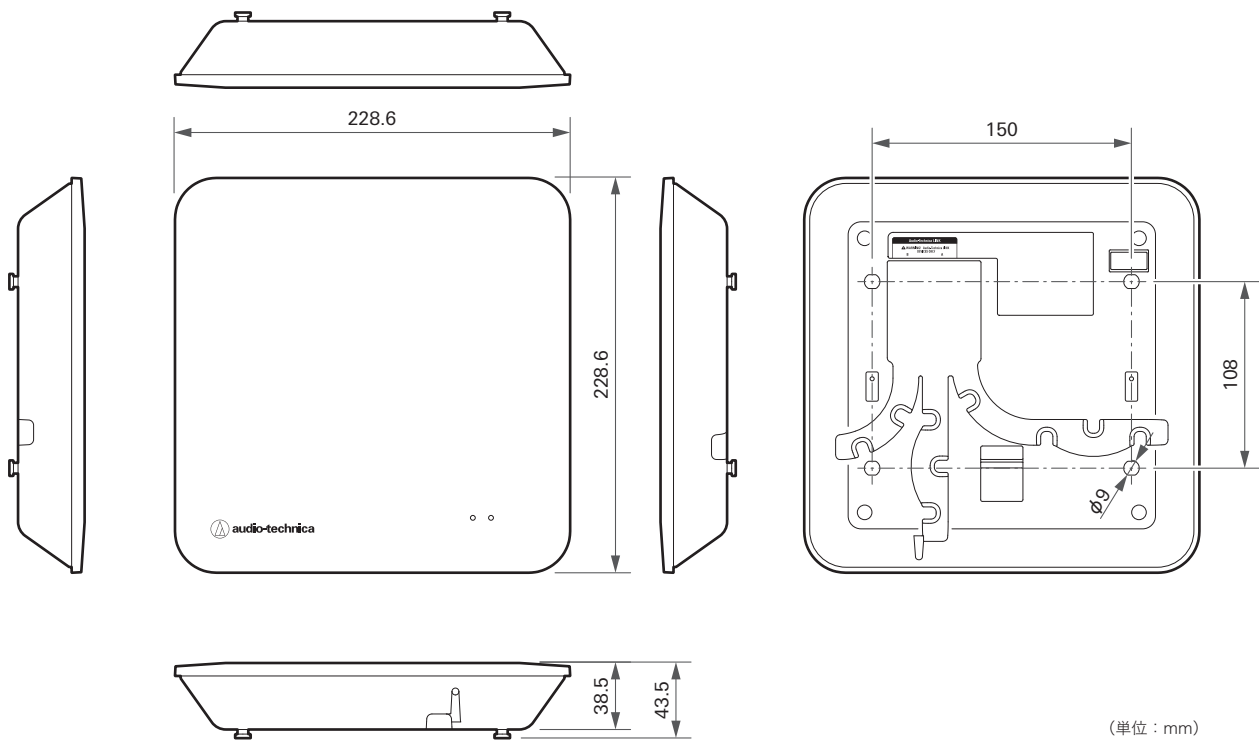


オンラインの状態ではIPアドレスを変更後、機器を再起動すると、機器が再検出されない (Macのみ)

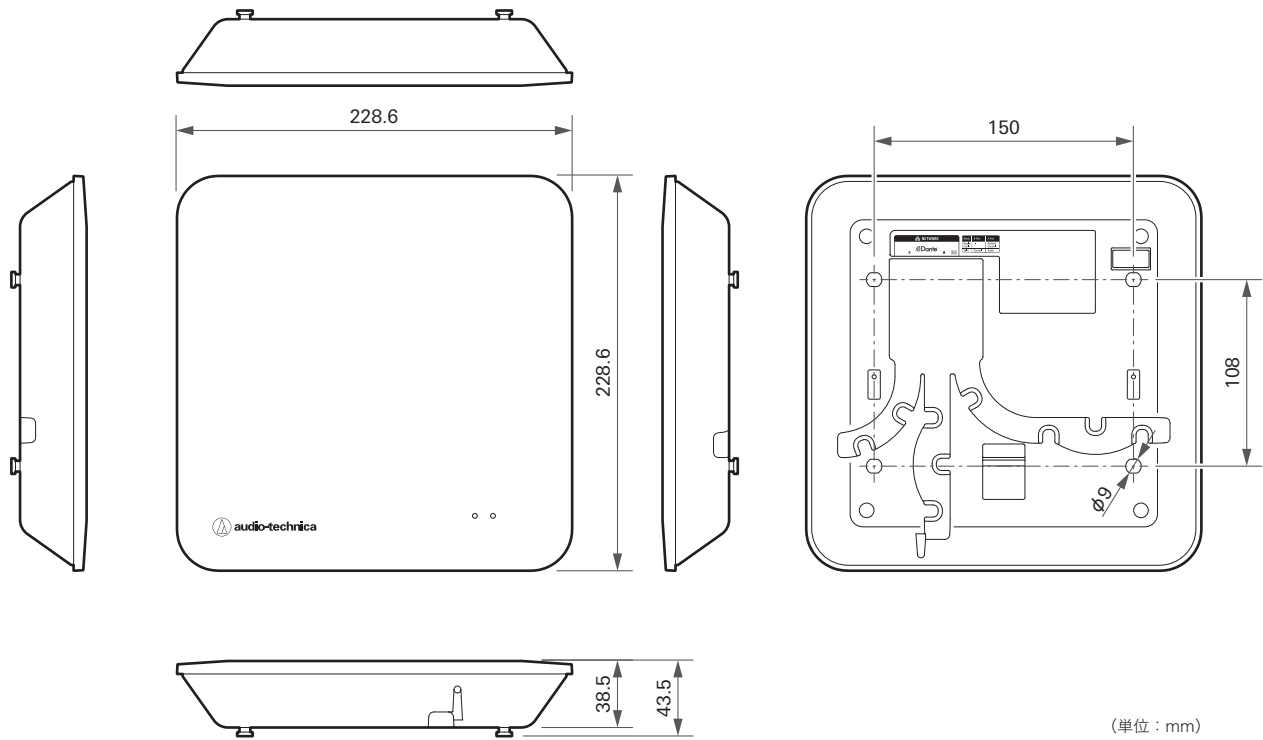
- プロジェクトを保存後、ワイヤレスマネージャーを再起動してください。
- 機器の電源を切り、1~2分待ってから電源を入れてください。

# 外形寸法図

## ESW-R4180LK

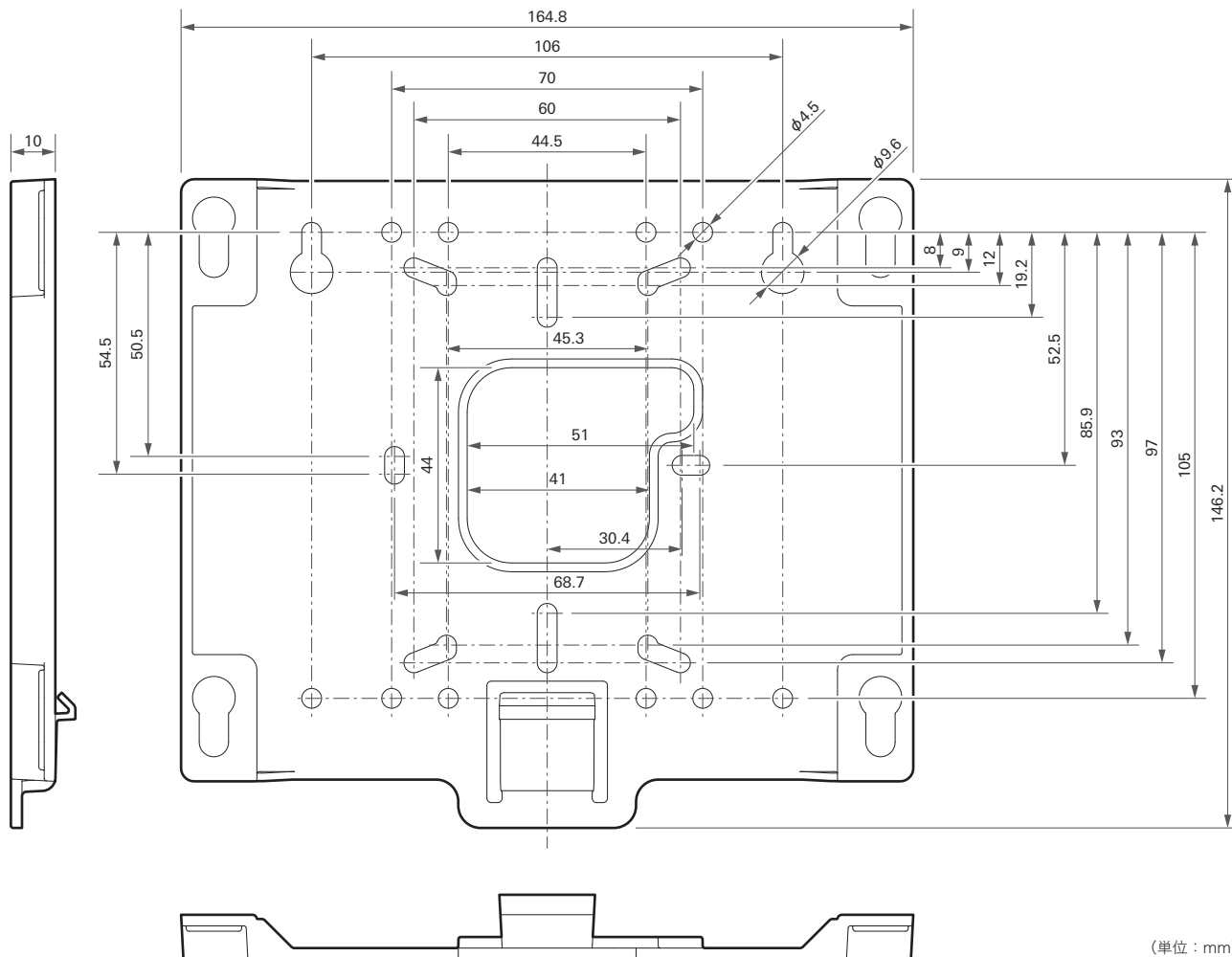


# ESW-R4180DAN

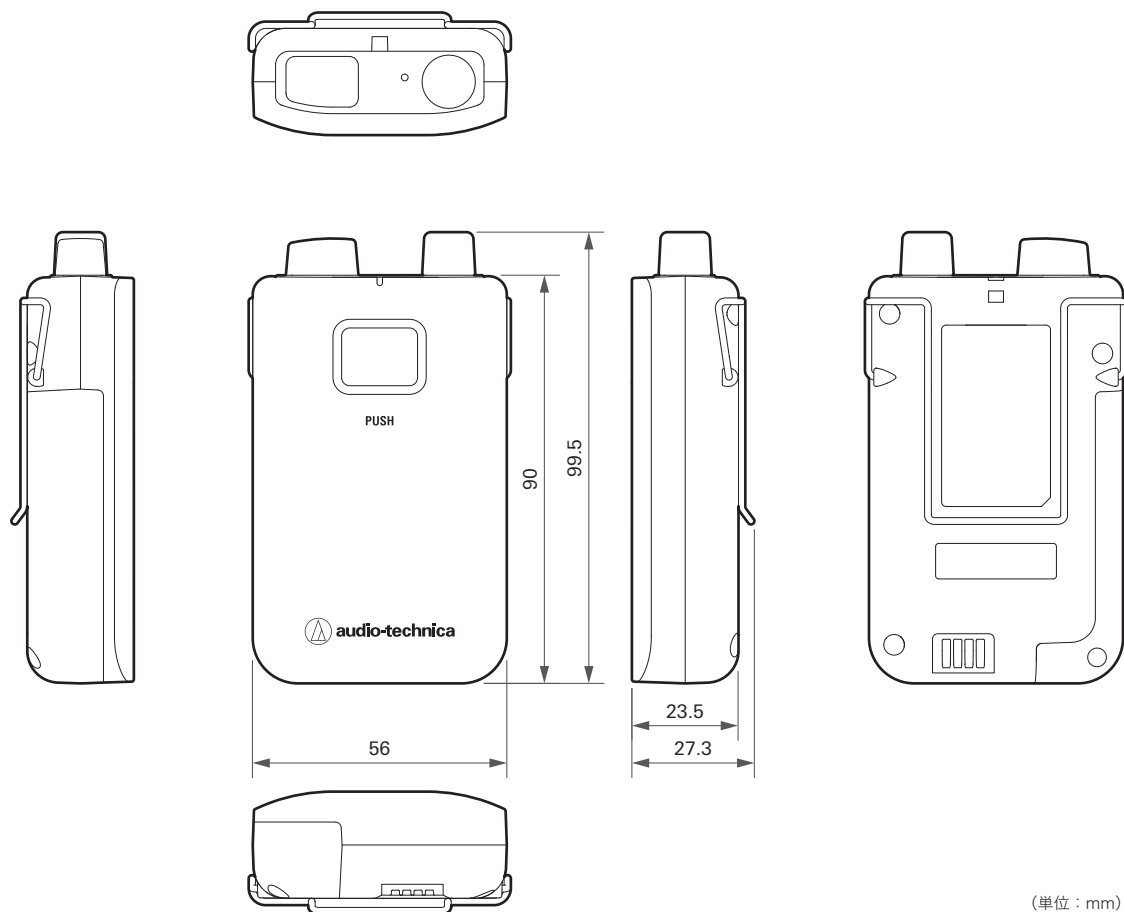


(単位 : mm)

# ブラケット

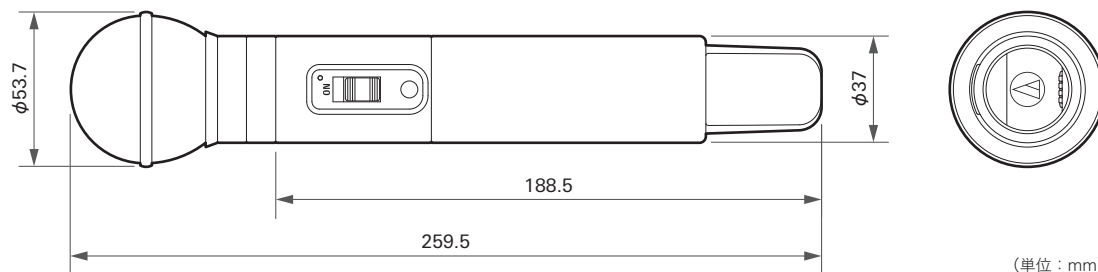


# ESW-T4101



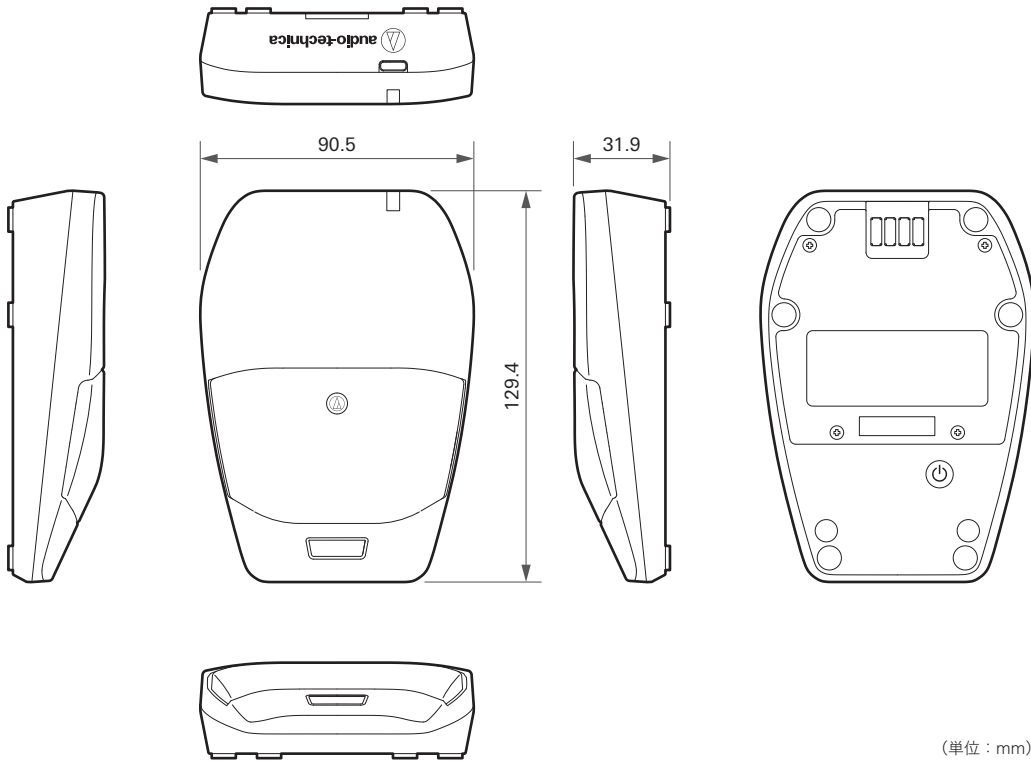
(単位 : mm)

# ESW-T4102/C510

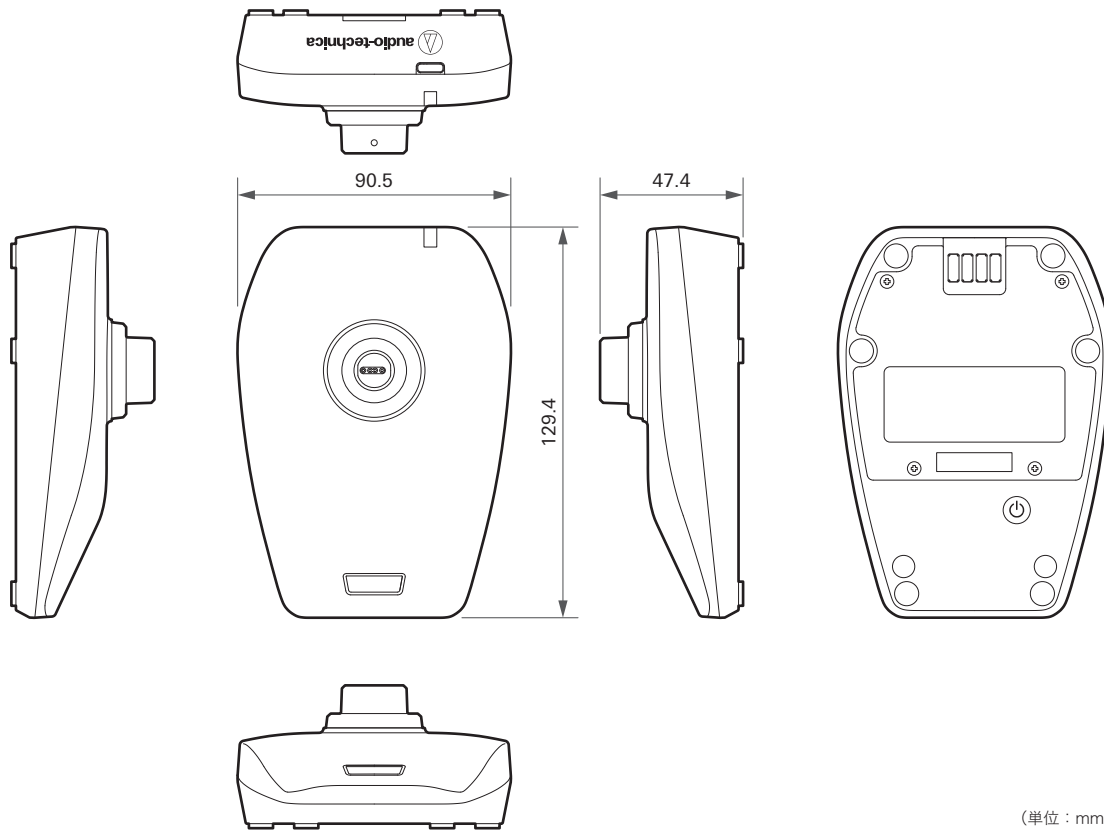


(単位 : mm)

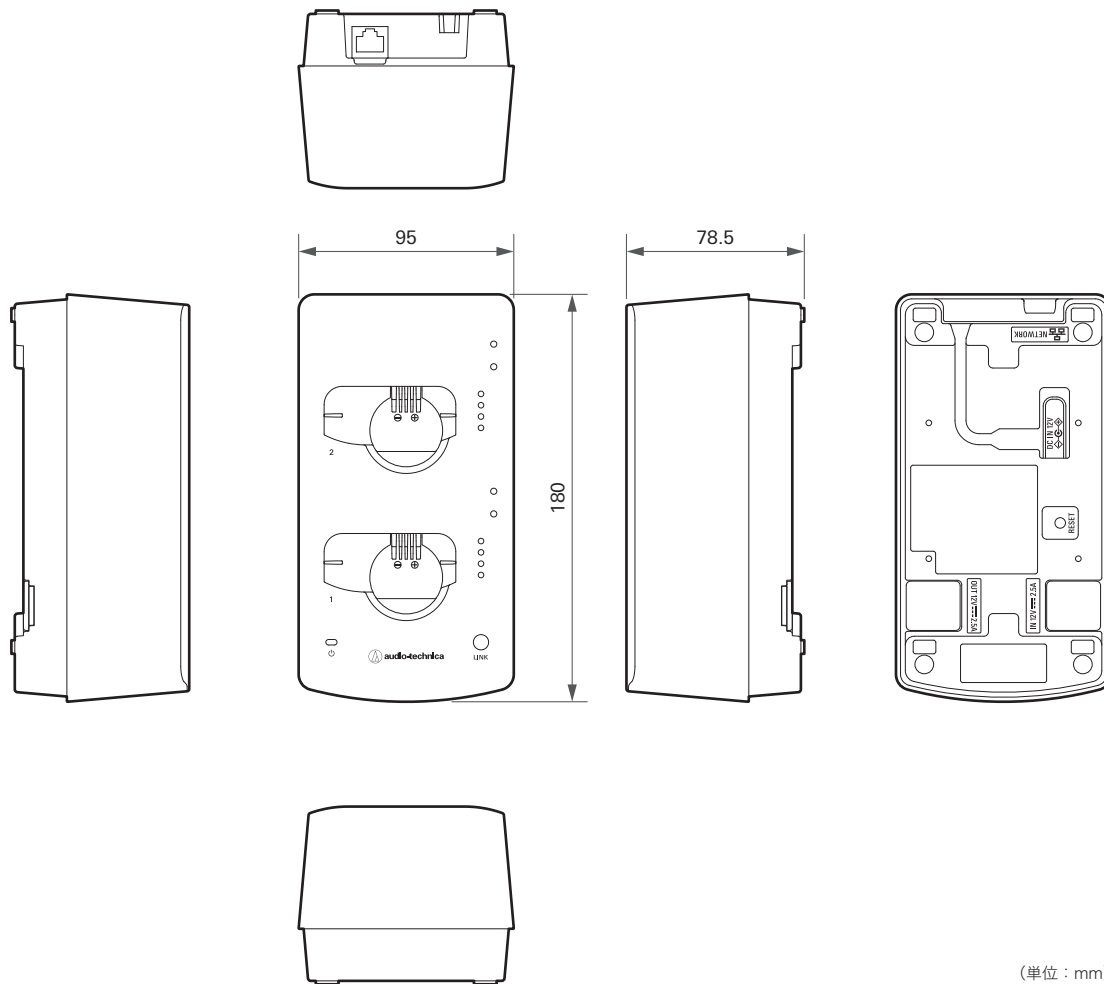
# ESW-T4106



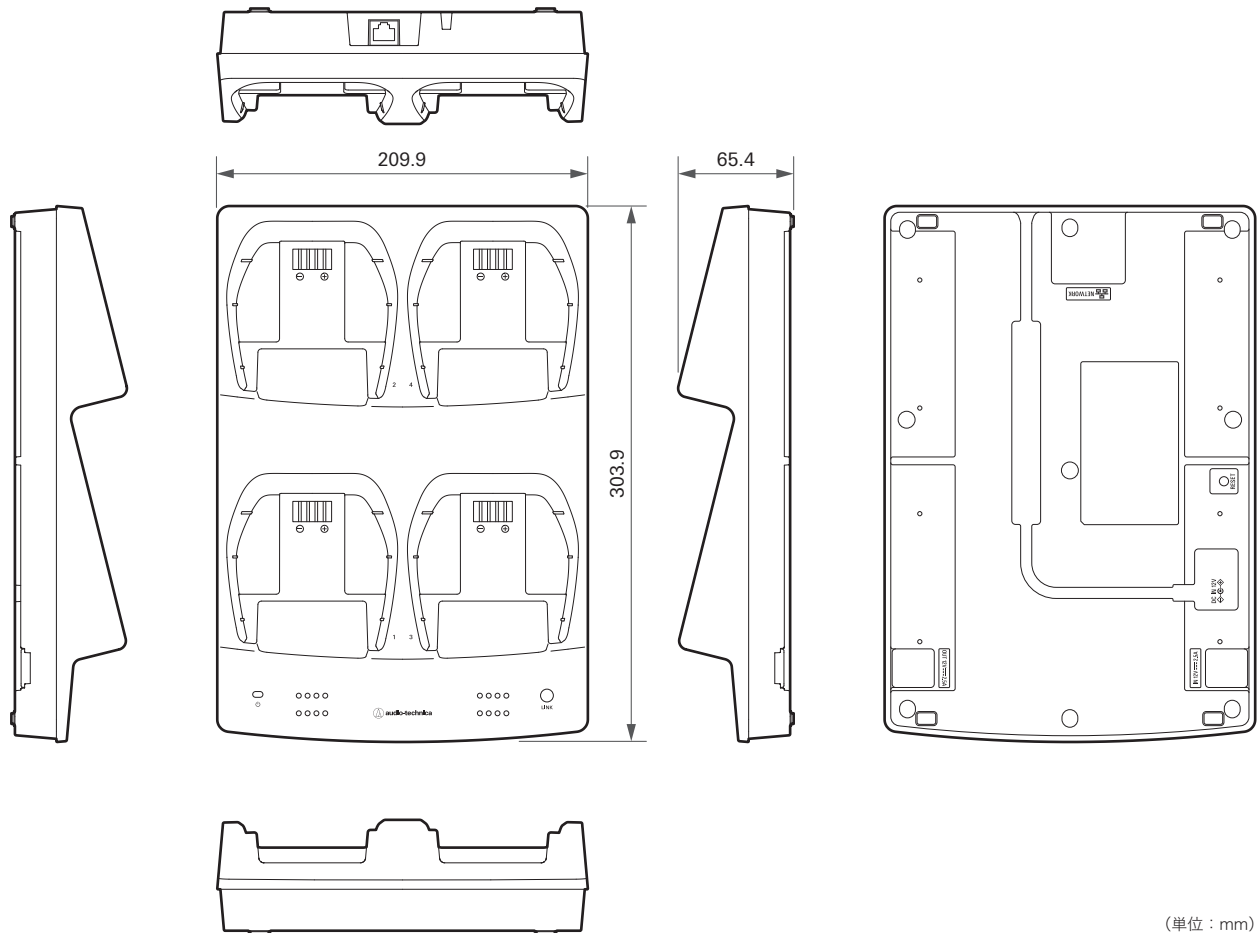
# ESW-T4107



# ESW-CHG4



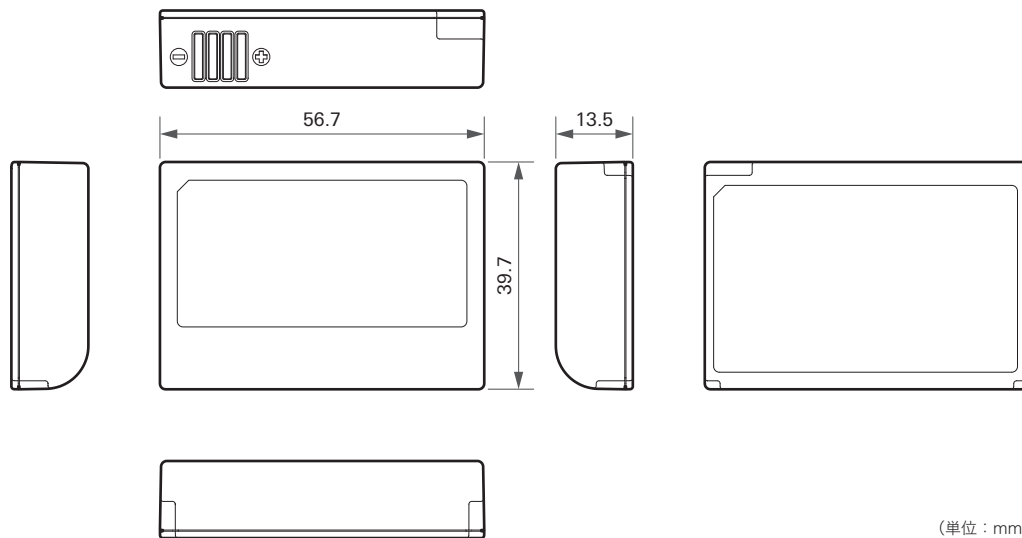
# ESW-CHG5



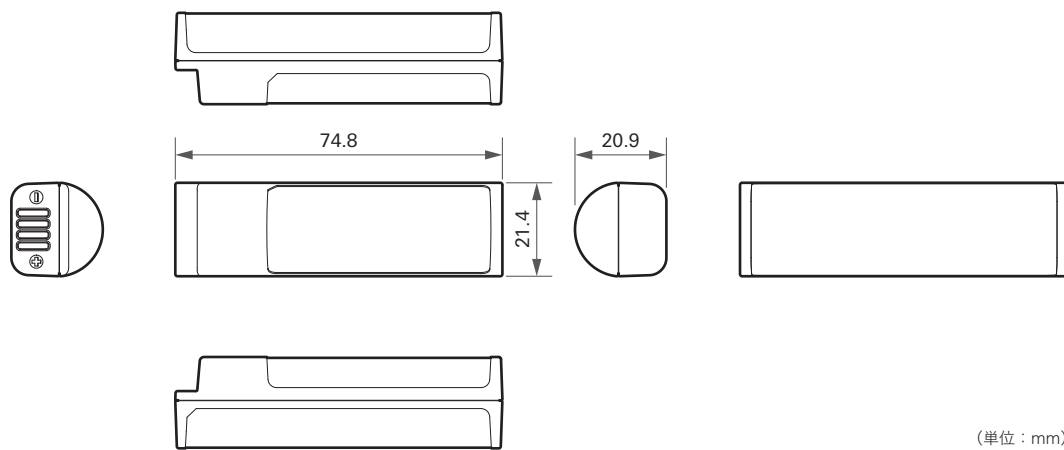
(単位 : mm)

# 外形寸法図

## LI-220



## LI-320



# テクニカルデータ

## システム仕様

通信周波数帯 <sup>[1]</sup>	DECT Mode 00 (ヨーロッパ、アジア) : 1,880~1,900MHz DECT Mode 01 (アメリカ) : 1,920~1,930MHz DECT Mode 03 (台湾) : 1,880~1,895MHz DECT Mode 21 (日本) : 1,894~1,906MHz DECT Mode 24 (オーストラリア) : 1,880~1,900MHz
ダイナミックレンジ	>105dB (A-weighted) 、 typical
全高調波歪率	<1.0%
動作範囲 <sup>[2]</sup>	最大100m (RFモードの送信出力: Mid時)
システム周波数特性 <sup>[3]</sup>	Standard : 20~20,000Hz HD mode : 20~20,000Hz
受信方式	ダイバーシティ
遅延 (ESW-R4180LK)	Standard : 16.3ms typ. HD mode : 23.6ms typ.
遅延 (ESW-R4180DAN)	Standard : 16.7ms typ. HD mode : 24.0ms typ.
オーディオサンプリング周波数	Standard : 24bit、48kHz HD mode : 24bit、48kHz
暗号化方式	AES256
RF出力 <sup>[4]</sup>	MAX : 250mW、High : 100mW、Mid : 30mW、Low : 10mW、 Min : 2mW (switchable)
最大同時使用 <sup>[5] [6]</sup>	Standard : 96チャンネル HD mode : 192チャンネル

[1] 国の法令に合わせたDECT Modeに設定されています。

[2] 干渉信号のない開けた環境。

[3] 取り付けるマイクロホンにより異なります。

[4] 地域の規制による送信電力にご注意ください。

[5] DECT Mode 00/24の場合。

[6] 使用する国や環境、実際の運用状況により、使用可能なチャンネル数は異なります。詳しくはプロフェッショナルSS課までお問い合わせください。

## ESW-R4180LK

変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/8$ -8PSK
受信感度	<-90dBm
ネットワーク	Audio-Technica LINK : 100Mbps
I/Oコネクタ	Audio-Technica LINK : RJ-45
消費電力	2.4W
電源	DC+48V (Audio-Technica LINK)
動作温度範囲	-10°C~+50°C
外形寸法	228.6mm×228.6mm×43.5mm (W×D×H)
質量 (付属品除く)	620g
付属品	ブラケット、ブラケット用ねじセット

## ESW-R4180DAN

変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/8$ -8PSK
受信感度	< -90dBm
ネットワーク	Dante : 1Gbps IPコントロール : 100Mbps
I/Oコネクタ	ネットワーク/Dante : RJ-45
消費電力	5.5W
電源	PoE (IEEE 802.3af Class 0)
動作温度範囲	-10°C~+50°C
外形寸法	228.6mm×228.6mm×43.5mm (W×D×H)
質量 (付属品除く)	620g
付属品	ブラケット、ブラケット用ねじセット

## ESW-T4101

周波数特性 (内蔵マイクロホン)	20~20,000Hz
変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/4$ -QPSK
入力端子	4ピンロッキングコネクタ ピン1 : GND ピン2 : MIC DETECTION ピン3 : MIC INPUT ピン4 : DC BIAS +5V
電池	Li-220リチウムイオン電池 (付属)
動作温度範囲	-5°C~+45°C
電池寿命	25時間 <sup>[1]</sup>
外形寸法	56mm×23.5mm×90mm (W×D×H)
質量 (電池含む)	112.3g
付属品	ネックストラップ

[1] 使用条件によって異なります。

## ESW-T4102

変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/4$ -QPSK
マイクロホンカプセル	インターチェンジャブルマイクロホンカプセル対応
電池	LI-320リチウムイオン電池 (付属)
動作温度範囲	-5°C~+45°C
電池寿命	35時間 <sup>[1]</sup>
外形寸法	ESW-T4102 (マイクロホンカプセル除く) : 188.5mm× $\phi$ 37mm ESW-T4102/C510 : 259.5mm× $\phi$ 53.7mm
質量 (電池含む)	ESW-T4102 (マイクロホンカプセル除く) : 205g ESW-T4102/C510 : 334g
付属品	AT8456aマイクホルダー (ねじ径5/8インチ)、AT8456aマイクホルダー用ねじ

[1] 使用条件によって異なります。

## ESW-T4106

周波数特性	無指向性 : 20~18,000Hz カーディオイド : 20~18,000Hz
変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/4$ -QPSK
マイクロホン指向特性	カーディオイド、無指向性 (selectable)
電池	LI-220リチウムイオン電池 (付属)
充電時間 (USB)	約2時間40分 <sup>[1]</sup>
動作温度範囲	-5°C~+45°C
電池寿命	22時間 <sup>[1]</sup>
USB充電コネクタ	USB Type-C (USB 3.0)
外形寸法	90.5mm×129.4mm×31.9mm (W×D×H)
質量 (電池含む)	500g

[1] 使用条件によって異なります。

## ESW-T4107

変調方式	A-field : $\pi/2$ -BPSK B-field : $\pi/4$ -QPSK
マイクロホン	ESシリーズモジュラーグースネックマイクロホン対応
電池	LI-220リチウムイオン電池 (付属)
充電時間 (USB)	約2時間40分 <sup>[1]</sup>
動作温度範囲	-5°C~+45°C
電池寿命	17時間 <sup>[1]</sup>
USB充電コネクタ	USB Type-C (USB 3.0)
外形寸法	90.5mm×129.4mm×47.4mm (W×D×H)
質量 (電池含む)	535g

[1] 使用条件によって異なります。

## ESW-CHG4

電源	DC12V 3.0A
充電出力	トランスミッター1~4個充電時 : DC4.2V 1.5A トランスミッター5~6個充電時 : DC4.2V 1.1A トランスミッター7~8個充電時 : DC4.2V 0.7A
消費電力	トランスミッター2個充電時 : 15.6W 4台連結してトランスミッター8個充電時 : 30.6W
充電時間 (ESW-T4101) <sup>[1]</sup>	トランスミッター1~4個充電時 : 約50分 (50%充電)、約2時間 (100%充電) トランスミッター5~6個充電時 : 約1時間10分 (50%充電)、約2時間50分 (100%充電) トランスミッター7~8個充電時 : 約1時間40分 (50%充電)、約3時間40分 (100%充電)
充電時間 (ESW-T4102) <sup>[1]</sup>	トランスミッター1~4個充電時 : 約1時間20分 (50%充電)、約3時間 (100%充電) トランスミッター5~6個充電時 : 約1時間40分 (50%充電)、約4時間10分 (100%充電) トランスミッター7~8個充電時 : 約2時間20分 (50%充電)、約5時間20分 (100%充電)
ネットワーク	IPコントロール : 100Mbps
動作温度範囲	0°C~40°C
外形寸法	95mm×180mm×78.5mm (W×D×H)
質量	532g
付属品	リンクケーブル、リンクプレート、リンクプレート用ねじ、マイクホルダー
付属品 <sup>[2]</sup>	ACアダプター (AD-SA1230XA)、ACコード

[1] 使用条件によって異なります。

[2] ESW-CHG4/A (J) の場合。

## ESW-CHG5

電源	DC12V 3.0A
充電出力	トランスミッター1～4個充電時：DC4.2V 1.5A トランスミッター5～6個充電時：DC4.2V 1.1A トランスミッター7～8個充電時：DC4.2V 0.7A
消費電力	トランスミッター4個充電時：30.6W
充電時間 (ESW-T4106/ESW-T4107) [1]	トランスミッター1～4個充電時： 約50分（50%充電）、約2時間（100%充電） トランスミッター5～6個充電時： 約1時間10分（50%充電）、約2時間50分（100%充電） トランスミッター7～8個充電時： 約1時間40分（50%充電）、約3時間40分（100%充電）
ネットワーク	IPコントロール：100Mbps
動作温度範囲	0°C～40°C
外形寸法	209.9mm×303.9mm×65.4mm (W×D×H)
質量	866g
付属品	リンクケーブル、リンクプレート、リンクプレート用ねじ
付属品 <sup>[2]</sup>	ACアダプター（AD-SA1230XA）、ACコード

[1] 使用条件によって異なります。

[2] ESW-CHG5/A (J) の場合。

## LI-220

形式	リチウムイオン
出力電圧	DC3.6V
電気容量	2,200mAh
外形寸法	39.7mm×56.7mm×13.5mm (W×D×H)
質量	49g

## LI-320

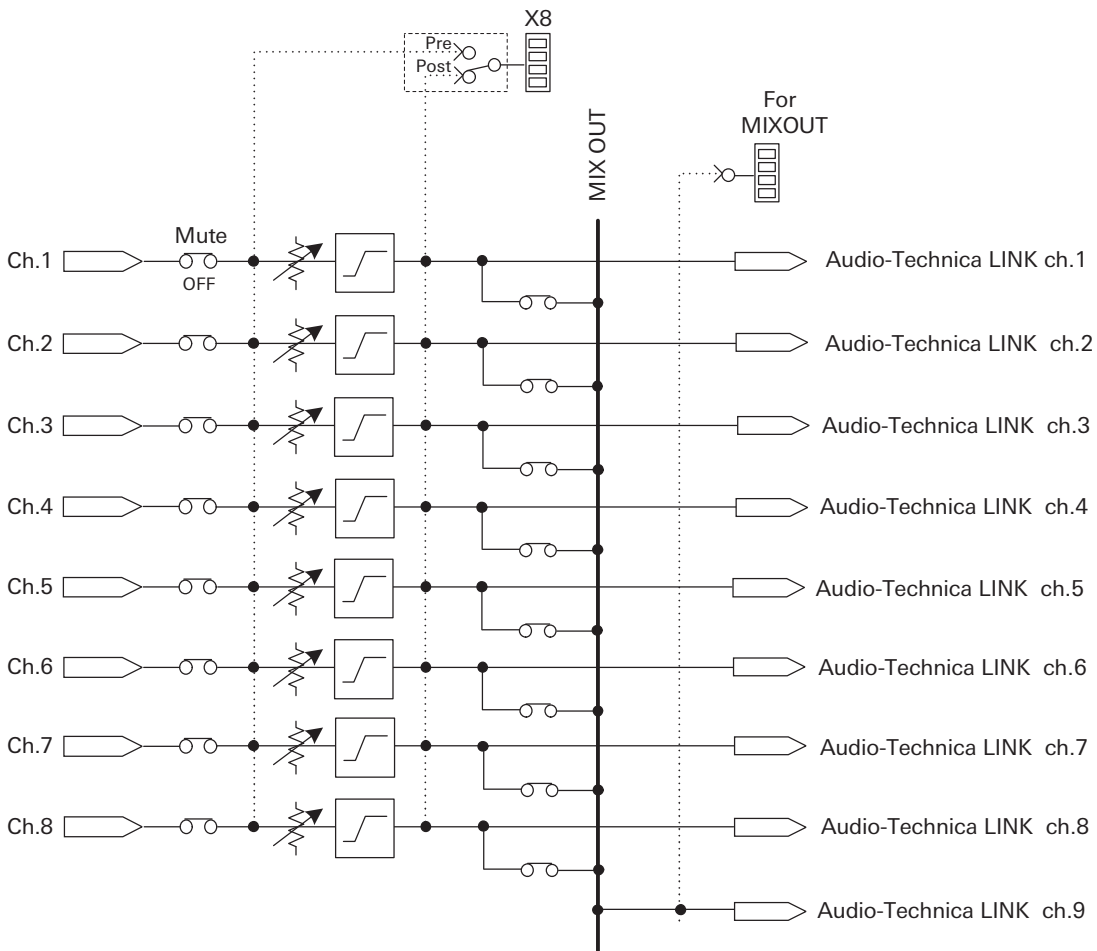
形式	リチウムイオン
出力電圧	DC3.6V
電気容量	3,200mAh
外形寸法	21.4mm×74.8mm×20.9mm (W×D×H)
質量	56g

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

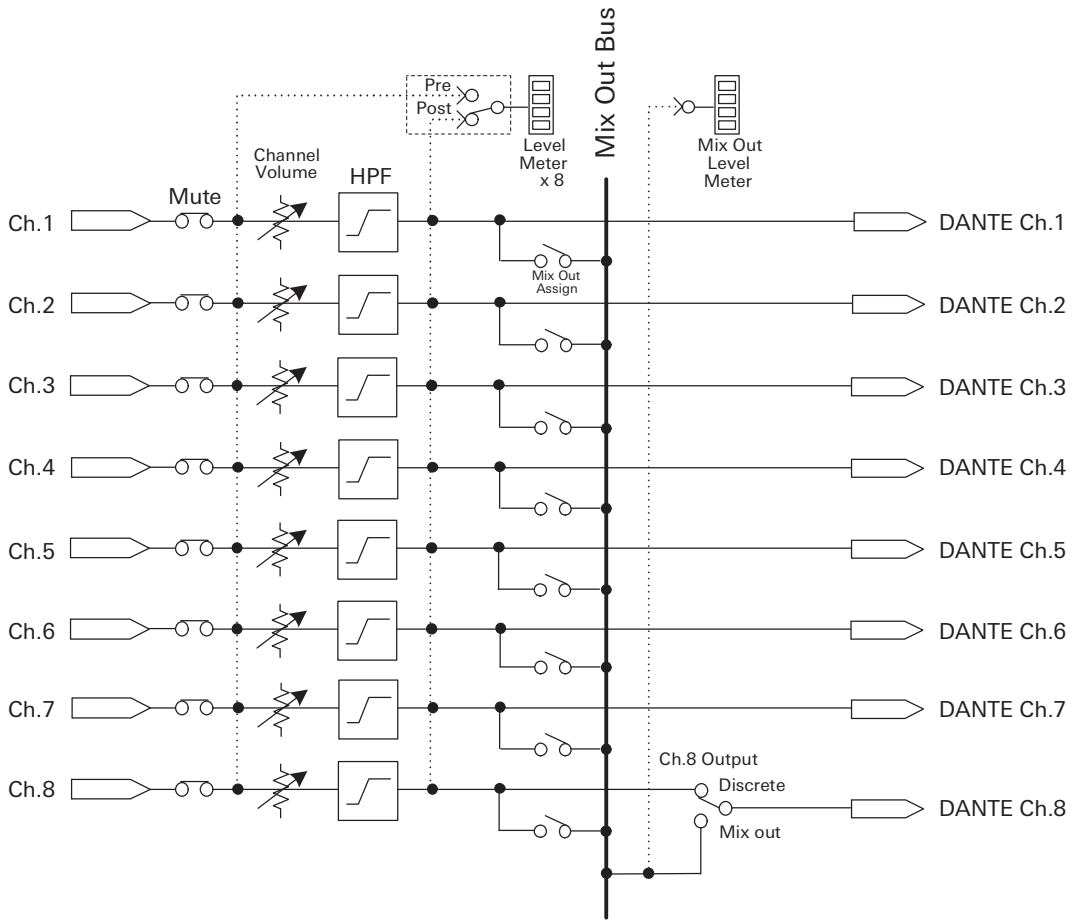
# 商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- USB Type-C™ はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## ESW-R4180LK



# ESW-R4180DAN



**株式会社オーディオテクニカ**

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1  
[www.audio-technica.co.jp](http://www.audio-technica.co.jp)

**Audio-Technica Corporation**

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan  
[www.audio-technica.com](http://www.audio-technica.com)  
©2025 Audio-Technica Corporation  
Global Support Contact: [www.at-globalsupport.com](http://www.at-globalsupport.com)

232700650-01-05 ver.1 2022.12.01  
ver.5 2025.11.15